

平成 23 年度 県民健康管理調査

「こころの健康度・生活習慣に関する調査」

結果報告書

【 目 次 】

平成 23 年度 県民健康管理調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」
調査票別結果

子ども用①	1
子ども用②	4
子ども用③	8
一 般 用	13

平成 23 年度 県民健康管理調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」
調査票別資料

子ども用①	25
子ども用②	26
子ども用③	27
一 般 用	28

平成 23 年度 県民健康管理調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」
電話等による支援結果（第 10 回検討委員会資料「資料 4」抜粋）

共 通	31
こ ころ	35
生 活 習 慣	41

平成 23 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（子ども用①）」結果

8. 食生活について（問 8）

こころの健康度・生活習慣に関する調査（子ども用①）の対象 11,717 人のうち、有効回答は 7,818 人（66.7%）であった。内訳は、男児 3,969 人（50.8%）、女児 3,849 人（49.2%）で、平均年齢は 3.1 歳であった。

現住所は、県内 5,083 人（65.0%）、県外 2,735 人（35.0%）であった。

1. お子様の健康状態について（問 1）

健康状態は、「きわめて良好」が 1,612 人（20.7%）、「良好」が 2,789 人（35.9%）、「普通」が 3,210 人（41.2%）、「悪い」が 152 人（2.0%）、「きわめて悪い」が 13 人（0.2%）であった。

2. お子様が発災で経験したことについて ※ 複数回答（問 2）

震災にて経験したことは、「地震」が 7,757 人、「津波」が 670 人、「原子力発電所事故」が 2,633 人、「いずれもなし」が 26 人であった。

3. 治療中の病気について（問 3）

治療中の病気は、「ない」が 6,472 人（83.3%）、「ある」が 1,297 人（16.7%）であった。

4. 入院の経験について（問 4）

入院の経験は、「ない」が 5,930 人（76.2%）、「ある」が 1,852 人（23.8%）であった。

5. 検査の経験について（問 5）

- 1) CT 検査の経験は、「ない」が 7,100 人（91.3%）、「ある」が 514 人（6.6%）、「わからない」が 162 人（2.1%）であった。
- 2) その他、X 線を使った検査の経験は、「ない」が 6,124 人（78.9%）、「ある」が 1,201 人（15.5%）、「わからない」が 437 人（5.6%）であった。
「ある」と回答した人のうち、「透視検査」が 1,071 人、「血管造影」が 58 人、「核医学検査」が 19 人であった。

6. 病気の治療のための放射線療法の経験について（問 6）

病気の治療のための放射線療法の経験は、「ない」が 7,609 人（97.9%）、「ある」が 14 人（0.2%）、「わからない」が 147 人（1.9%）であった。

7. 睡眠時間と昼寝の有無について（問 7）

- 1) 就寝時刻は、平均で午後 9 時 16 分であり、起床時刻は午前 7 時 00 分であった。睡眠時間は、平均で 9 時間 43 分であった。
- 2) 昼寝の有無（お子様はお昼寝をしますか）は、「いいえ」が 3,639 人（46.6%）、「はい」が 4,166 人（53.4%）であった。昼寝時間は、平均で 1 時間 47 分であった。

- 1) 母乳（お子様は母乳を飲んでますか）は、「はい」が 424 人（5.6%）、「いいえ」が 7,130 人（94.4%）であった。
- 2) 食品（飲料）を食べる（飲む）頻度（平成 24 年 2 月 1 日時点で 1 歳以上）は、表 1 のとおりであった。

表 1 子ども用①の食品（飲料）を食べる（飲む）頻度（上段人数／下段割合）

		食べ ない	週に 1 回未満	週に 1-2 回	週に 3-4 回	週に 5-6 回	毎日	計
ごはん		5 (0.1%)	1 (0.0%)	15 (0.2%)	119 (1.6%)	445 (5.8%)	7,051 (92.3%)	7,636
パン		92 (1.2%)	1,044 (13.7%)	2,818 (37.1%)	2,026 (26.6%)	739 (9.7%)	889 (11.7%)	7,608
魚料理		107 (1.4%)	931 (12.3%)	3,625 (47.8%)	2,438 (32.1%)	367 (4.8%)	125 (1.6%)	7,593
肉類	とり肉	161 (2.1%)	1,525 (20.1%)	4,157 (54.8%)	1,538 (20.3%)	168 (2.2%)	41 (0.5%)	7,590
	牛肉、豚肉	216 (2.8%)	701 (9.2%)	3,420 (45.1%)	2,760 (36.3%)	414 (5.5%)	85 (1.1%)	7,596
	ハム、ソーセージ	252 (3.3%)	1,154 (15.3%)	3,153 (41.6%)	2,270 (30.0%)	543 (7.2%)	193 (2.6%)	7,565
野菜	緑の葉の野菜	489 (6.4%)	1,183 (15.6%)	2,591 (34.1%)	2,124 (27.9%)	701 (9.2%)	519 (6.8%)	7,607
	赤や黄色の野菜	111 (1.5%)	646 (8.5%)	2,194 (28.8%)	2,685 (35.2%)	1,181 (15.5%)	803 (10.5%)	7,620
	淡色野菜	161 (2.1%)	517 (6.8%)	1,868 (24.5%)	2,912 (38.3%)	1,303 (17.1%)	854 (11.2%)	7,615
	野菜ジュース	2,801 (36.7%)	2,337 (30.7%)	1,163 (15.3%)	676 (8.9%)	302 (4.0%)	334 (4.4%)	7,613
果物	くだもの	190 (2.5%)	774 (10.2%)	1,685 (22.1%)	2,150 (28.2%)	1,160 (15.2%)	1,659 (21.8%)	7,618
	果物ジュース	1,181 (15.5%)	1,902 (25.0%)	1,769 (23.3%)	1,319 (17.4%)	654 (8.6%)	772 (10.2%)	7,597
大豆	納豆	868 (11.4%)	1,756 (23.1%)	2,684 (35.2%)	1,478 (19.4%)	542 (7.1%)	290 (3.8%)	7,618
	味噌汁	167 (2.2%)	421 (5.5%)	1,011 (13.3%)	1,542 (20.2%)	1,503 (19.7%)	2,978 (39.1%)	7,622
	とうふ料理	278 (3.6%)	1,356 (17.8%)	2,895 (38.0%)	2,053 (26.9%)	715 (9.4%)	330 (4.3%)	7,627
	煮豆料理	3,126 (41.1%)	3,122 (41.1%)	1,015 (13.4%)	249 (3.3%)	59 (0.8%)	26 (0.3%)	7,597
牛乳		791 (10.4%)	549 (7.2%)	831 (10.9%)	1,009 (13.2%)	1,213 (15.9%)	3,224 (42.4%)	7,617
豆乳		6,161 (81.1%)	940 (12.4%)	279 (3.7%)	102 (1.3%)	63 (0.8%)	55 (0.7%)	7,600
ヨーグルト、乳酸菌飲料		211 (2.8%)	863 (11.3%)	1,882 (24.6%)	2,024 (26.5%)	1,203 (15.8%)	1,454 (19.0%)	7,637

9. 子どもの情緒と行動について（問9）

子どもの情緒と行動（子どもの情緒と行動に関するアンケート(SDQ 日本語版)）は、震災時4歳以上の回答を集計した。有効回答3,427人のうち、16点※1以上が836人(24.4%)、20点※2以上が386人(11.3%)であった(図1)。平均総合得点は11.7点であった。

男児では有効回答1,755人のうち、16点以上が476人(27.1%)、20点以上が223人(12.7%)であり、女児では有効回答1,672人のうち、16点以上が360人(21.5%)、20点以上が163人(9.7%)であった(図2)。平均総合得点は男児では12.1点、女児では11.2点であった。

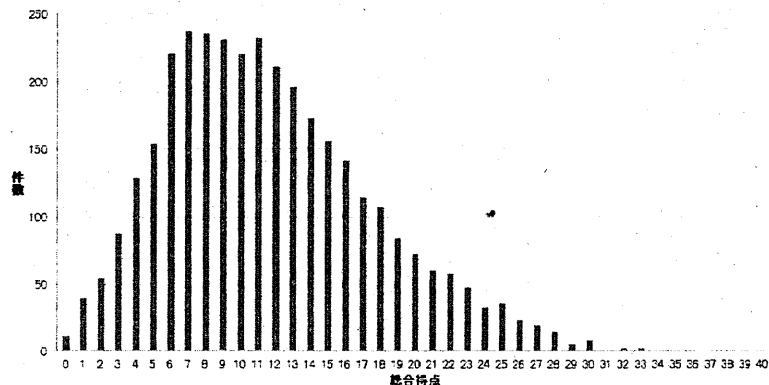


図1 子ども用①の子どもの情緒と行動(SDQ):全体

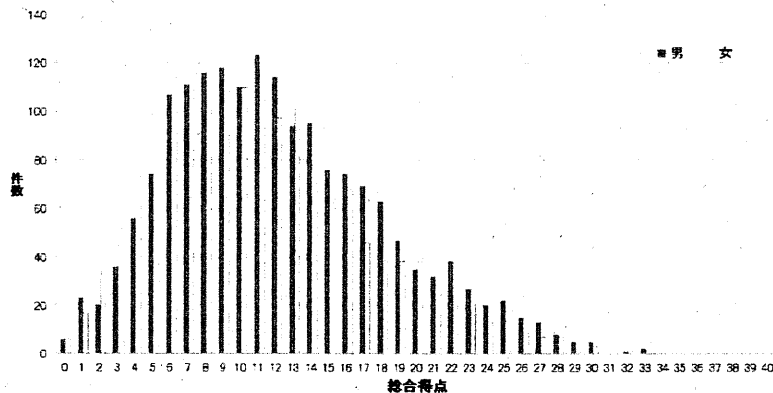


図2 子ども用①の子どもの情緒と行動(SDQ):男女別

※1 16点:先行研究で示されている基準
 ※2 20点:支援を行うために設けた基準

平成23年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査(子ども用②)」結果

こころの健康度・生活習慣に関する調査(子ども用②)の対象11,791人のうち、有効回答は7,464人(63.3%)であった。内訳は、男児3,815人(51.1%)、女児3,649人(48.9%)で、平均年齢は9.5歳であった。

現住所は、県内5,404人(72.4%)、県外2,060人(27.6%)であった。

1. お子様の健康状態について（問1）

健康状態は、「きわめて良好」が1,387人(18.7%)、「良好」が2,592人(34.9%)、「普通」が3,228人(43.5%)、「悪い」が190人(2.6%)、「きわめて悪い」が25人(0.3%)であった。

2. お子様が発災で経験したことについて ※複数回答（問2）

震災にて経験したことは、「地震」が7,387人、「津波」が873人、「原子力発電所事故」が2,953人、「いずれもなし」が25人であった。

3. 治療中の病気について（問3）

治療中の病気は、「ない」が6,303人(85.0%)、「ある」が1,116人(15.0%)であった。

4. 入院の経験について（問4）

入院の経験は、「ない」が5,454人(73.5%)、「ある」が1,971人(26.5%)であった。

5. 検査の経験について（問5）

- 1) CT検査の経験は、「ない」が6,046人(81.5%)、「ある」が1,029人(13.9%)、「わからない」が343人(4.6%)であった。
- 2) その他、X線を使った検査の経験は、「ない」が5,605人(76.2%)、「ある」が1,194人(16.2%)、「わからない」が563人(7.6%)であった。
 「ある」と回答した人のうち、「透視検査」が1,072人、「血管造影」が68人、「核医学検査」が30人であった。

6. 病気の治療のための放射線療法の経験について（問6）

病気の治療のための放射線療法の経験は、「ない」が7,211人(97.1%)、「ある」が19人(0.3%)、「わからない」が195人(2.6%)であった。

7. 睡眠時間について（問7）

就寝時刻は、平均で午後9時46分であり、起床時刻は午前6時23分であった。睡眠時間は、平均で8時間36分であった。

8. 普段の運動量について (問 8)

運動(普段、体育の授業以外に運動をどのくらいしていますか)は、「ほとんど毎日している」が 932 人(12.5%)、「週に 2~4 回している」が 1,495 人(20.1%)、「週 1 回程度している」が 1,075 人(14.4%)、「ほとんどしていない」が 3,950 人(53.0%)であった。

9. 食生活について (問 9)

食品(飲料)を食べる(飲む)頻度は、表 2 のとおりであった。

表 2 子ども用②の食品(飲料)を食べる(飲む)頻度(上段人数/下段割合)

		食べ ない	週に 1 回未満	週に 1-2 回	週に 3-4 回	週に 5-6 回	毎日	計
ごはん		2 (0.0%)	2 (0.0%)	14 (0.2%)	138 (1.9%)	553 (7.4%)	6,750 (90.5%)	7,459
パン		91 (1.2%)	1,204 (16.2%)	2,968 (40.1%)	1,764 (23.8%)	639 (8.6%)	752 (10.1%)	7,418
魚料理		85 (1.1%)	912 (12.3%)	3,794 (51.2%)	2,258 (30.4%)	288 (3.9%)	81 (1.1%)	7,418
肉類	とり肉	63 (0.9%)	1,517 (20.5%)	4,091 (55.3%)	1,535 (20.7%)	166 (2.2%)	33 (0.4%)	7,405
	牛肉、豚肉	35 (0.5%)	395 (5.3%)	3,036 (40.8%)	3,260 (43.9%)	579 (7.8%)	129 (1.7%)	7,434
	ハム、ソーセージ	94 (1.3%)	1,435 (19.4%)	3,244 (43.9%)	2,020 (27.4%)	417 (5.7%)	169 (2.3%)	7,379
野菜	緑の葉の野菜	255 (3.4%)	1,175 (15.8%)	2,643 (35.5%)	2,096 (28.2%)	724 (9.7%)	550 (7.4%)	7,443
	赤や黄色の野菜	133 (1.8%)	920 (12.4%)	2,501 (33.6%)	2,452 (32.9%)	881 (11.8%)	559 (7.5%)	7,446
	淡色野菜	102 (1.4%)	448 (6.0%)	1,773 (23.8%)	2,914 (39.2%)	1,300 (17.5%)	901 (12.1%)	7,438
	野菜ジュース	3,591 (48.5%)	2,075 (28.0%)	849 (11.4%)	476 (6.4%)	179 (2.4%)	248 (3.3%)	7,418
果物	くだもの	203 (2.7%)	1,232 (16.6%)	2,242 (30.1%)	1,902 (25.6%)	817 (11.0%)	1,039 (14.0%)	7,435
	果物ジュース	1,901 (25.7%)	2,333 (31.5%)	1,587 (21.4%)	927 (12.5%)	338 (4.6%)	322 (4.3%)	7,408
大豆	納豆	939 (12.6%)	2,371 (31.9%)	2,640 (35.4%)	1,035 (13.9%)	287 (3.9%)	169 (2.3%)	7,441
	味噌汁	120 (1.6%)	356 (4.8%)	893 (12.0%)	1,531 (20.6%)	1,345 (18.1%)	3,202 (42.9%)	7,447
	とうふ料理	209 (2.8%)	1,426 (19.2%)	3,150 (42.2%)	1,866 (25.1%)	558 (7.5%)	236 (3.2%)	7,445
	煮豆料理	3,284 (44.3%)	3,058 (41.3%)	853 (11.5%)	166 (2.2%)	34 (0.5%)	13 (0.2%)	7,408
牛乳		212 (2.9%)	248 (3.3%)	326 (4.4%)	455 (6.1%)	1,587 (21.4%)	4,592 (61.9%)	7,420
豆乳		6,236 (84.2%)	843 (11.4%)	170 (2.3%)	89 (1.2%)	33 (0.4%)	39 (0.5%)	7,410
ヨーグルト、乳酸菌飲料		279 (3.7%)	1,107 (14.9%)	2,151 (28.8%)	1,867 (25.1%)	862 (11.6%)	1,184 (15.9%)	7,450

10. 子どもの情緒と行動について（問 10）

子どもの情緒と行動(子どもの情緒と行動に関するアンケート(SDQ 日本語版))は、有効回答 7,450 人のうち、16 点※1 以上が 1,637 人(22.0%)、20 点※2 以上が 809 人(10.9%)であった(図 3)。平均総合得点は 11.0 点であった。

男児では有効回答 3,808 人のうち、16 点以上が 935 人(24.6%)、20 点以上が 479 人(12.6%)であり、女児では有効回答 3,642 人のうち、16 点以上が 702 人(19.3%)、20 点以上が 330 人(9.1%)であった(図 4)。平均総合得点は男児では 11.5 点、女児では 10.4 点であった。

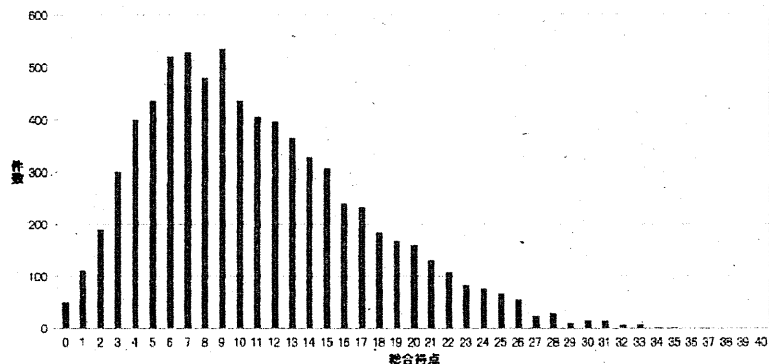


図 3 子ども用②の子どもの情緒と行動(SDQ):全体

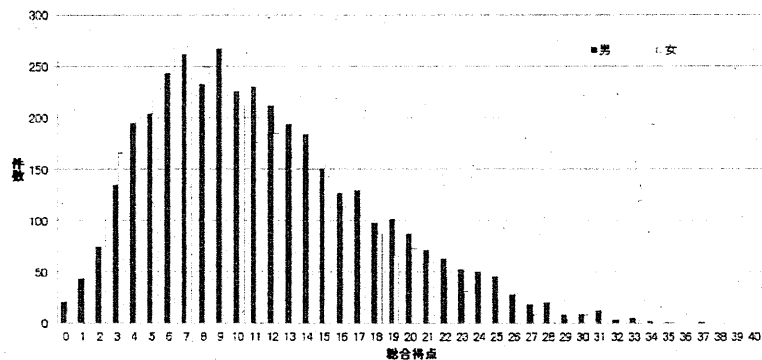


図 4 子ども用②の子どもの情緒と行動(SDQ):男女別

※1 16 点: 先行研究で示されている基準

※2 20 点: 支援を行うために設けた基準

平成 23 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査(子ども用③)」結果

こころの健康度・生活習慣に関する調査(子ども用③)の対象 6,077 人のうち、有効回答は 3,411 人(56.1%)であった。内訳は、男子 1,717 人(50.3%)、女子 1,694 人(49.7%)で、平均年齢は 14.0 歳であった。

現住所は、県内 2,734 人(80.2%)、県外 677 人(19.8%)であった。

1. お子様の健康状態について（問 1）

健康状態は、「きわめて良好」が 557 人(22.4%)、「良好」が 679 人(27.3%)、「普通」が 1,139 人(45.7%)、「悪い」が 98 人(3.9%)、「きわめて悪い」が 18 人(0.7%)であった。

2. 自覚症状について（問 2）

自覚症状(ここ数日、病気やけがなどで体の具合の悪いところがありますか)は、「はい」が 983 人(39.6%)、「いいえ」が 1,499 人(60.4%)であった。

どのような症状がみられているかについては表 3、また災害後悪化した症状については表 4 のとおりであった。

表 3 子ども用③の自覚症状の内容(複数回答)

	人数		人数	人数	
いらいらしやすい	432	手足の関節が痛む	116	動悸	33
頭痛	376	かゆみ (湿疹・水虫など)	106	歯ぐきのはれ・出血	33
腹痛・胃痛	327	足のむくみやだるさ	88	痔による痛み・ 出血など	19
せきやたんが出る	228	切り傷・ やけどなどのけが	85	かみにくい	9
月経不順・月経痛	166	食欲不振	73	尿失禁(尿がもれる)	6
便秘	151	歯が痛い	70	尿が出にくい・ 排尿時痛い	2
腰痛	151	骨折・ねんざ・脱臼	60	その他	119
めまい	143	息切れ	38		
下痢	134	ゼイゼイする	36		

表4 子ども用③の災害後悪化した症状(複数回答)

	人数		人数		人数
いらいらしやすい	97	せきやたんが出る	14	骨折・ねんざ・脱臼	5
腹痛・胃痛	57	腰痛	13	切り傷・やけどなどのけが	3
頭痛	47	動悸	12	かみにくい	2
月経不順・月経痛	33	手足の関節が痛む	11	歯ぐきのはれ・出血	2
便秘	27	息切れ	10	尿失禁(尿がもれる)	1
めまい	27	歯が痛い	6	尿が出にくい・排尿時痛い	0
下痢	23	足のむくみやだるさ	6	その他	16
かゆみ(湿疹・水虫など)	16	ゼイゼイする	6		
食欲不振	14	痺による痛み・出血など	5		

3. 睡眠について(問3)

睡眠時間は、平均で6時間53分であった。

4. 運動について(問4)

運動(普段、体育の授業以外に運動をどのくらいしていますか)は、「ほとんど毎日している」が755人(30.2%)、「週に2~4回している」が349人(14.0%)、「週1回程度している」が221人(8.8%)、「ほとんどしていない」が1,176人(47.0%)、であった。

5. 食生活について(問5)

食品(飲料)を食べる(飲む)頻度は、表5のとおりであった。

表5 子ども用③の食品(飲料)を食べる(飲む)頻度(上段人数/下段割合)

	食べない	週に1回未満	週に1-2回	週に3-4回	週に5-6回	毎日	計	
ごはん	0 (0.0%)	5 (0.2%)	16 (0.6%)	53 (2.1%)	200 (8.0%)	2,224 (89.1%)	2,498	
パン	80 (3.2%)	443 (17.8%)	926 (37.2%)	529 (21.3%)	223 (9.0%)	286 (11.5%)	2,487	
魚料理	52 (2.1%)	353 (14.2%)	1,195 (48.1%)	748 (30.1%)	81 (3.3%)	54 (2.2%)	2,483	
肉類	とり肉	29 (1.2%)	471 (19.0%)	1,271 (51.3%)	579 (23.4%)	100 (4.0%)	27 (1.1%)	2,477
	牛肉、豚肉	23 (0.9%)	184 (7.4%)	975 (39.1%)	975 (39.1%)	260 (10.5%)	76 (3.0%)	2,493
	ハム、ソーセージ	81 (3.3%)	553 (22.3%)	955 (38.5%)	589 (23.8%)	192 (7.7%)	110 (4.4%)	2,480
野菜	緑の葉の野菜	89 (3.6%)	359 (14.4%)	745 (29.9%)	679 (27.2%)	314 (12.6%)	308 (12.3%)	2,494
	赤や黄色の野菜	61 (2.4%)	275 (11.0%)	747 (30.0%)	766 (30.8%)	362 (14.5%)	283 (11.3%)	2,494
	淡色野菜	30 (1.2%)	132 (5.3%)	517 (20.8%)	865 (34.7%)	503 (20.2%)	444 (17.8%)	2,491
	野菜ジュース	1,281 (51.5%)	552 (22.2%)	289 (11.6%)	154 (6.2%)	99 (4.0%)	113 (4.5%)	2,488
果物	くだもの	167 (6.7%)	542 (21.8%)	722 (29.0%)	529 (21.2%)	262 (10.5%)	269 (10.8%)	2,491
	果物ジュース	631 (25.4%)	650 (26.2%)	556 (22.4%)	319 (12.8%)	168 (6.8%)	160 (6.4%)	2,484
大豆	納豆	617 (24.8%)	835 (33.5%)	633 (25.4%)	249 (10.0%)	90 (3.6%)	66 (2.7%)	2,490
	味噌汁	83 (3.3%)	184 (7.4%)	294 (11.8%)	426 (17.1%)	441 (17.7%)	1,067 (42.7%)	2,495
	とうふ料理	142 (5.7%)	550 (22.0%)	826 (33.1%)	636 (25.5%)	216 (8.7%)	125 (5.0%)	2,495
	煮豆料理	1,177 (47.4%)	883 (35.5%)	317 (12.8%)	69 (2.8%)	26 (1.0%)	13 (0.5%)	2,485
牛乳	322 (12.9%)	238 (9.6%)	238 (9.6%)	229 (9.2%)	472 (19.0%)	990 (39.7%)	2,489	
豆乳	2,085 (83.0%)	257 (10.3%)	62 (2.5%)	42 (1.7%)	29 (1.2%)	32 (1.3%)	2,487	
ヨーグルト、乳酸菌飲料	232 (9.3%)	473 (18.9%)	677 (27.1%)	482 (19.3%)	244 (9.8%)	390 (15.6%)	2,498	

6. お子様震災で経験したことについて ※ 複数回答 (問 6)

震災にて経験したことは、「地震」が2,355人、「津波」が305人、「原子力発電所事故」が1,018人、「いずれもなし」が6人であった。

7. 治療中の病気について (問 7)

治療中の病気は、「ない」が2,838人(85.2%)、「ある」が492人(14.8%)であった。

8. 入院の経験について (問 8)

入院の経験は、「ない」が2,621人(78.8%)、「ある」が704人(21.2%)であった。

9. 検査の経験について (問 9)

- 1) CT検査の経験は、「ない」が2,597人(78.0%)、「ある」が605人(18.2%)、「わからない」が126人(3.8%)であった。
- 2) その他、X線を使った検査の経験は、「ない」が2,524人(76.7%)、「ある」が544人(16.5%)、「わからない」が223人(6.8%)であった。
「ある」と回答した人のうち、「透視検査」が469人、「血管造影」が34人、「核医学検査」が12人であった。

10. 病気の治療のための放射線療法の経験について (問 10)

病気の治療のための放射線療法の経験は、「ない」が3,253人(97.4%)、「ある」が7人(0.2%)、「わからない」が79人(2.4%)であった。

11. 子どもの情緒と行動について (問 11)

子どもの情緒と行動(子どもの情緒と行動に関するアンケート(SDQ 日本語版))は、有効回答3,332人のうち、16点以上が539人(16.2%)、20点以上が256人(7.7%)であった(図5)。平均総合得点は9.7点であった。

男子では有効回答1,681人のうち、16点以上が266人(15.8%)、20点以上が123人(7.3%)であり、女子では有効回答1,651人のうち、16点以上が273人(16.5%)、20点以上が133人(8.1%)であった(図6)。平均総合得点は男子では9.5点、女子では9.8点であった。

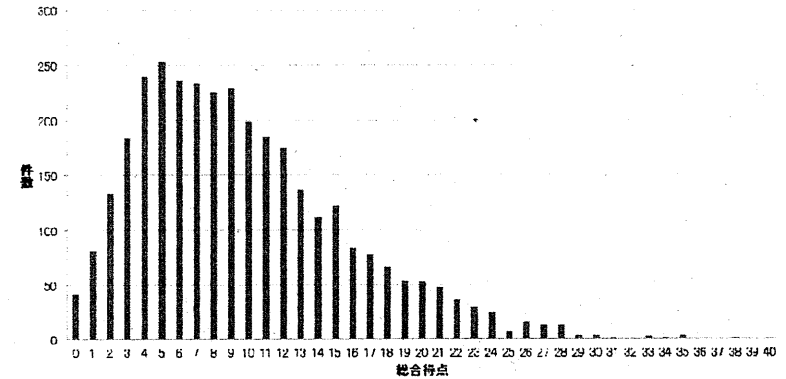


図5 子ども用③の子どもの情緒と行動(SDQ):全体

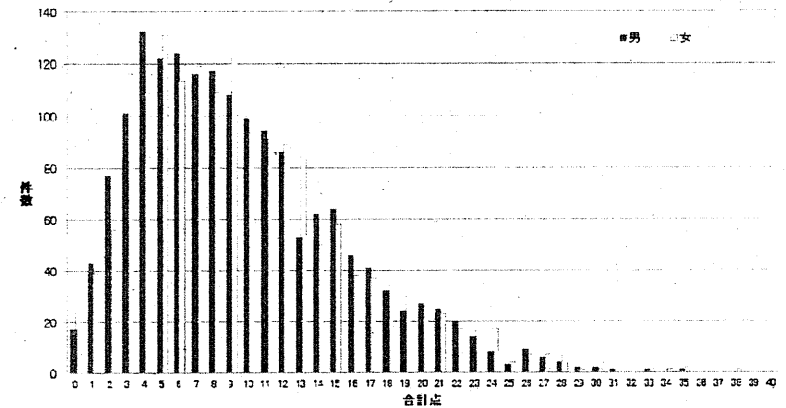


図6 子ども用③の子どもの情緒と行動(SDQ):男女別

※1 16点: 先行研究で示されている基準

※2 20点: 支援を行うために設けた基準

平成 23 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（一般用）」結果

こころの健康度・生活習慣に関する調査（一般用）の対象 180,604 人のうち、有効回答は 73,433 人（40.7%）であった。内訳は、男性 32,301 人（44.0%）、女性 41,132 人（56.0%）で、平均年齢は 55.5 歳であった。

現住所は、県内 59,435 人（80.9%）、県外 13,998 人（19.1%）であった。

1. 健康状態について（問 1）

健康状態は、「きわめて良好」が 2,667 人（4.2%）、「良好」が 8,533 人（13.6%）、「普通」が 39,972 人（63.7%）、「悪い」が 10,499 人（16.7%）、「きわめて悪い」が 1,116 人（1.8%）であった。

2. 既往歴について（問 2）

既往歴（今まで、次のような病気にかかっていると医師に診断されたことがありますか）は、表 6 のとおりであった。

表 6 一般用の傷病別の診断経験および通院状況（上段人数／下段割合）

傷病名	有効 回答数	診断された経験		現在の通院状況	
		ない	ある	はい	いいえ
高血圧 （または、血圧が高い）	71,984	41,405 (57.5%)	30,579 (42.5%)	23,560 (78.4%)	6,479 (21.6%)
糖尿病 （または、血糖が高い）	70,722	56,725 (80.2%)	13,997 (19.8%)	6,657 (48.4%)	7,092 (51.6%)
高脂血症 （または、コレステロールや中性脂肪が高い）	70,881	46,097 (65.0%)	24,784 (35.0%)	12,119 (50.3%)	11,980 (49.7%)
がん （白血病やリンパ腫を含む）	70,303	66,863 (95.1%)	3,440 (4.9%)		
脳卒中	70,743	66,889 (94.6%)	3,854 (5.4%)		
（脳卒中の種類）複数回答					
脳こうそく			2,278		
脳出血			457		
くも膜下出血			338		
その他			314		
わからない			600		
心臓病	70,859	63,584 (89.7%)	7,275 (10.3%)		
（心臓病の種類）複数回答					
心筋梗塞			1,096		
狭心症			2,398		
その他			2,928		
わからない			1,122		
慢性肝炎	70,473	68,856 (97.7%)	1,617 (2.3%)		
（慢性肝炎の種類）複数回答					
B 型肝炎			377		
C 型肝炎			518		
その他			687		
肺炎 （この 10 年くらいの間で）	70,554	68,122 (96.6%)	2,432 (3.4%)		
50 歳以後の骨折 （震災時 50 歳以上の回答を集計）	45,969	40,705 (88.5%)	5,264 (11.5%)		
甲状腺疾患	70,431	68,084 (96.7%)	2,347 (3.3%)		
（甲状腺疾患種類）					
甲状腺機能亢進症（バセドウ病）			588		
甲状腺機能低下症			674		
その他			877		
精神疾患	69,978	65,822 (94.1%)	4,156 (5.9%)		

3. 検査の経験について（問3）

- 1) CT検査の経験は、「ない」が37,849人(52.4%)、「ある」が31,566人(43.8%)、「わからない」が2,729人(3.8%)であった。
- 2) 透視検査の経験は、「ない」が26,293人(36.5%)、「ある」が44,300人(61.6%)、「わからない」が1,383人(1.9%)であった。
- 3) その他、血管造影検査、核医学検査、PET検査のいずれか経験は、「ない」が59,471人(83.6%)、「ある」が8,289人(11.6%)、「わからない」が3,428人(4.8%)であった。「ある」と回答した人のうち、「血管造影検査」が5,801人、「核医学検査」が669人、「PET検査」が1,481人であった。

4. 病気の治療のための放射線療法の経験について（問4）

病気の治療のための放射線療法の経験は、「ない」が68,089人(94.9%)、「ある」が1,293人(1.8%)、「わからない」が2,393人(3.3%)であった。

5. 自覚症状について（問5）

自覚症状(ここ数日、病気やけがなどで体の具合の悪いところがありますか)は、「はい」が37,878人(59.8%)、「いいえ」が25,468人(40.2%)であった。

「はい」と回答した人のうち、症状の内訳は表7、また災害後悪化した症状は表8のとおりであった。

表7 一般用の自覚症状の内容(複数回答)

	人数		人数		人数
腰痛	16,103	足のむくみやだるさ	6,504	痔による痛み・出血など	2,398
いらいらしやすい	15,032	動悸	5,504	ゼイゼイする	2,071
頭痛	12,192	歯が痛い	4,729	かみにくい	1,986
手足の関節が痛む	10,116	歯ぐきのはれ・出血	4,723	尿が出にくい・排尿時痛い	1,601
便秘	8,749	息切れ	4,679	切り傷・やけどなどのけが	1,507
せきやたんが出る	7,925	下痢	3,821	骨折・ねんざ・脱臼	1,352
かゆみ(湿疹・水虫など)	7,456	尿失禁(尿がもれる)	3,504	その他	3,706
腹痛・胃痛	7,386	食欲不振	2,869		
めまい	7,371	月経不順・月経痛	2,736		

表8 一般用の災害後悪化した症状(複数回答)

	人数		人数		人数
いらいらしやすい	3,524	かゆみ(湿疹・水虫など)	874	尿失禁(尿がもれる)	364
腰痛	2,283	せきやたんが出る	798	ゼイゼイする	225
頭痛	1,741	月経不順・月経痛	670	かみにくい	199
手足の関節が痛む	1,546	歯ぐきのはれ・出血	630	尿が出にくい・排尿時痛い	172
腹痛・胃痛	1,166	歯が痛い	587	骨折・ねんざ・脱臼	147
便秘	1,135	息切れ	529	切り傷・やけどなどのけが	57
めまい	1,123	食欲不振	473	その他	680
動悸	975	下痢	441		
足のむくみやだるさ	888	痔による痛み・出血など	371		

6. 日常生活機能について（問6）

- 1) 日常生活機能(それぞれの行為について、ひとりでできるかどうかをお答えください)は、表9のとおりであった。

表9 一般用の日常生活機能(人数(割合))

日常生活での行為	ひとりでできる	ひとりではできない	有効回答数
1. 介助なしに食事をする(食事のしたくは含まない)	70,950(98.7%)	952(1.3%)	71,902
2. 介助なしに衣服の着替えをする	70,314(97.9%)	1,537(2.1%)	71,851
3. 介助なしにトイレで用をたす	70,615(98.3%)	1,219(1.7%)	71,834
4. 日用品の買い物をする	67,390(93.9%)	4,358(6.1%)	71,748

- 2) レクリエーション活動(レクリエーション活動(カラオケやゲートボール等)や地域の仕事(お祭り等)へ参加することがありますか)は、「ない、めったにない」が46,291人(64.8%)、「ときどき参加する」が19,424人(27.2%)、「よく参加する」が5,678人(8.0%)であった。

7. 睡眠について（問7）

- 睡眠満足度は、「満足している」が17,587人(33.3%)、「少し不満」が24,675人(46.8%)、「かなり不満」が8,180人(15.5%)、「非常に不満か、全く眠れなかった」が2,312人(4.4%)であった。
- 睡眠に関する経験(以下の経験が少なくとも週3回以上ありましたか)は、表10のとおりであった。

表10 一般用の睡眠に関する経験(人数(割合))

	ある	ない	有効回答数
1. 夜、床に入ってから寝つくまでの時間がかかる	27,001 (44.9%)	33,078 (55.1%)	60,079
2. 夜間、睡眠途中で目が覚める	38,655 (63.9%)	21,865 (36.1%)	60,520
3. 希望する起床時刻より早く目覚め、それ以上眠れない	22,633 (38.6%)	35,927 (61.4%)	58,560
4. 総睡眠時間が不足する	23,393 (40.5%)	34,312 (59.5%)	57,705
5. 日中の気分がめいる	17,941 (31.6%)	38,913(68.4%)	56,854
6. 日中の身体的および精神的な活動が低下する	19,409 (33.7%)	38,164 (66.3%)	57,573
7. 日中の眠気	29,583 (50.6%)	28,864 (49.4%)	58,447

8. 喫煙について（問8）

- 喫煙(タバコ(紙巻きタバコ)を吸いますか?葉巻やパイプは除きます。)は、「吸ったことがない」が40,375人(57.0%)、「やめた」が15,827人(22.3%)、「吸っている」が14,643人(20.7%)であった。
「吸っている」と回答した人のうち、平均1日本数は16.0本、平均喫煙年数は25.8年であった。
- 受動喫煙(この10年ほどの間に、家庭や職場などで人が吸ったタバコの煙を吸わされることがありましたか?)は、「毎日」が16,190人(25.3%)、「週4-5日程度」が6,101人(9.5%)、「ときどき」が21,940人(34.2%)、「めったにない」が19,880人(31.0%)であった。
- 震災以前の喫煙(平成23年3月11日の震災以前に、タバコを吸っていましたか?)は、「吸っていなかった」が50,588人(75.6%)、「吸っていた」が16,290人(24.4%)であった。

9. 飲酒について（問9）

- 飲酒(お酒(アルコール飲料)を飲みますか)は、「飲まない、または、ほとんど飲まない」が37,286人(52.1%)、「やめた」が2,720人(3.8%)、「飲む(月に1回以上)」が31,532人(44.1%)であった。
「飲む(月に1回以上)」と回答した人のうち、種類別に飲む頻度は表11のとおりであった。1日あたりの平均飲酒量は、エタノール重量に換算すると26.3gであり、ビール大瓶1本(25.3g)と同程度であった。多量飲酒者(1日にエタノール重量43.2g(日本酒2合)以上)は、飲酒(問9)の有効回答者71,538人のうち6,853人(9.6%)であった。
- 震災以前の飲酒は、「飲んでいなかった、またはほとんど飲んでいなかった(月に1回未満)」が39,847人(58.0%)、「飲んでいった(月に1回以上)」が28,858人(42.0%)であった。

表11 一般用の種類別の飲酒頻度(上段人数/下段割合)

お酒の種類	飲まない	飲む頻度(当てはまるもの1つに✓)					計	
		週に1回未満	週に1-2回	週に3-4回	週に5-6回	毎日		
ビール	大瓶 (69.0%)	7,587 (10.1%)	1,108 (15.3%)	603 (12.8%)	364 (9.0%)	272 (5.7%)	1,058 (9.6%)	10,992
	中瓶・中缶 (39.7%)	5,776 (35.4%)	2,219 (20.1%)	1,868 (14.2%)	1,311 (9.3%)	824 (5.5%)	2,552 (15.5%)	14,550
	小瓶・小缶 (35.4%)	5,388 (20.1%)	3,052 (14.2%)	2,163 (9.3%)	1,413 (5.5%)	829 (15.5%)	2,355 (15.5%)	15,200
日本酒	7,798 (46.2%)	2,935 (17.4%)	1,757 (10.4%)	1,170 (6.9%)	768 (4.6%)	2,447 (14.5%)	16,875	
焼酎	5,893 (30.7%)	3,180 (16.5%)	2,258 (11.7%)	1,739 (9.0%)	1,362 (7.1%)	4,814 (25.0%)	19,246	
ワイン	8,323 (64.1%)	2,851 (22.0%)	979 (7.6%)	384 (3.0%)	147 (1.1%)	280 (2.2%)	12,964	
洋酒※	シングル (85.6%)	9,956 (85.6%)	846 (7.3%)	333 (2.9%)	165 (1.4%)	73 (0.6%)	254 (2.2%)	11,627
	ダブル (89.7%)	10,242 (89.7%)	475 (4.2%)	232 (2.0%)	103 (0.9%)	83 (0.7%)	282 (2.5%)	11,417

※ ウイスキーやブランデー等

10. 食生活について (問 10)

食品(飲料)を食べる(飲む)頻度は、表 12 のとおりであった。

表 12 一般用の食品(飲料)を食べる(飲む)頻度(上段人数/下段割合)

	食べ ない	週に 1回未満	週に 1-2回	週に 3-4回	週に 5-6回	毎日	計	
ごはん	272 (0.4%)	216 (0.3%)	719 (1.0%)	2,522 (3.5%)	5,155 (7.1%)	63,730 (87.7%)	72,614	
パン	7,485 (11.0%)	19,724 (29.1%)	19,086 (28.1%)	9,702 (14.3%)	3,675 (5.4%)	8,224 (12.1%)	67,896	
魚料理	1,144 (1.6%)	8,318 (11.6%)	23,601 (32.9%)	24,993 (34.8%)	6,611 (9.2%)	7,086 (9.9%)	71,753	
肉類	とり肉	4,473 (6.5%)	20,517 (29.8%)	30,380 (44.1%)	11,378 (16.5%)	1,383 (2.0%)	756 (1.1%)	68,887
	牛肉、豚肉	2,635 (3.7%)	13,022 (18.4%)	30,601 (43.2%)	20,286 (28.6%)	3,117 (4.4%)	1,183 (1.7%)	70,844
	ハム、ソーセージ	6,334 (9.2%)	24,127 (34.9%)	24,604 (35.6%)	10,512 (15.2%)	2,063 (3.0%)	1,416 (2.1%)	69,056
野菜	緑の葉の野菜	1,659 (2.3%)	9,178 (12.8%)	19,273 (26.8%)	20,193 (28.2%)	9,087 (12.6%)	12,464 (17.3%)	71,854
	赤や黄色の野菜	1,414 (2.0%)	9,672 (13.5%)	21,047 (29.3%)	21,329 (29.7%)	8,920 (12.4%)	9,374 (13.1%)	71,756
	淡色野菜	610 (0.8%)	4,467 (6.2%)	14,257 (19.9%)	23,693 (33.0%)	13,223 (18.4%)	15,556 (21.7%)	71,806
	野菜ジュース	32,234 (46.7%)	18,246 (26.4%)	8,699 (12.6%)	4,457 (6.5%)	1,885 (2.7%)	3,485 (5.1%)	69,006
果物	くだもの	5,629 (7.9%)	14,394 (20.1%)	16,236 (22.7%)	13,653 (19.1%)	7,158 (10.0%)	14,453 (20.2%)	71,523
	果物ジュース	28,103 (41.5%)	20,659 (30.4%)	10,556 (15.5%)	4,853 (7.1%)	1,594 (2.3%)	2,179 (3.2%)	67,944
大豆	納豆	7,142 (10.0%)	14,271 (20.0%)	19,723 (27.7%)	14,654 (20.5%)	6,195 (8.7%)	9,368 (13.1%)	71,353
	味噌汁	1,998 (2.8%)	4,327 (6.0%)	7,423 (10.3%)	11,059 (15.3%)	9,881 (13.7%)	37,502 (51.9%)	72,190
	とうふ料理	2,189 (3.1%)	11,749 (16.4%)	22,202 (31.0%)	20,182 (28.2%)	8,465 (11.8%)	6,811 (9.5%)	71,598
	煮豆料理	21,302 (30.6%)	27,841 (39.9%)	12,308 (17.7%)	5,022 (7.2%)	1,649 (2.4%)	1,545 (2.2%)	69,667
牛乳	19,590 (27.9%)	12,385 (17.6%)	10,166 (14.5%)	8,360 (11.9%)	4,495 (6.4%)	15,255 (21.7%)	70,251	
豆乳	50,550 (74.4%)	9,864 (14.5%)	3,196 (4.7%)	1,812 (2.7%)	806 (1.2%)	1,702 (2.5%)	67,930	
ヨーグルト、乳酸菌飲料	11,552 (16.2%)	14,626 (20.5%)	13,721 (19.2%)	10,969 (15.4%)	5,646 (7.9%)	14,783 (20.8%)	71,297	

11. 運動について (問 11)

運動は、「ほとんど毎日している」が10,581人(14.9%)、「週に2~4回している」が14,402人(20.3%)、「週1回程度している」が9,905人(13.9%)、「ほとんどしていない」が36,229人(50.9%)であった。

12. 全般的な精神健康状態について (問 12)

全般的な精神健康状態(K6)は、有効回答59,807人のうち、13点^{※1}以上が8,717人(14.6%)、20点^{※2}以上が1,954人(3.3%)であった(図7)。平均点は6.3点であった。

男性では有効回答26,321人のうち、13点以上が3,133人(11.9%)、20点以上が670人(2.5%)であり、女性では有効回答33,486人のうち、13点以上が5,584人(16.7%)、20点以上が1,284人(3.8%)であった(図8)。男性の平均点は5.5点、女性の平均点は6.8点であった。

年齢階級別は、表13のとおりである。

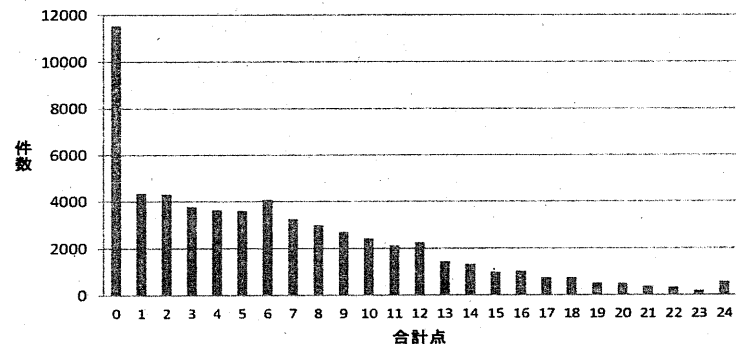


図7 一般用 全般的な精神健康状態(K6):全体

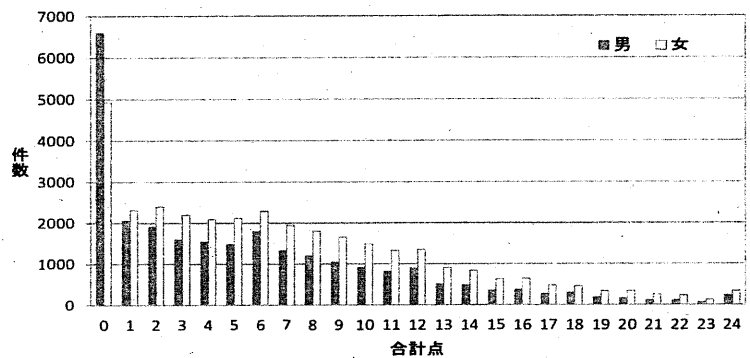


図8 一般用 全般的な精神健康状態(K6):男女別

表 13 一般用の全般的な精神健康状態(K6):年齢階級別 (人数(割合))

	13 点以上	20 点以上	有効回答数
10 代	197 (9.8%)	38 (1.9%)	2,020
20 代	720 (14.4%)	155 (3.1%)	5,004
30 代	1,176 (14.0%)	261 (3.1%)	8,423
40 代	1,135 (14.6%)	265 (3.4%)	7,756
50 代	1,727 (14.9%)	337 (2.9%)	11,557
60 代	1,969 (14.6%)	442 (3.3%)	13,494
70 代以上	1,793 (15.5%)	456 (3.9%)	11,553

※1 13 点: 先行研究で示されている基準

※2 20 点: 支援を行うために設けた基準

13. ト라우マ反応について (問 13)

トラウマ反応(PCL)は、有効回答 60,704 人のうち、44 点^{※3}以上が 13,111 人(21.6%)、65 点^{※4}以上が 2,791 人(4.6%)であった(図 9)。平均点は 33.0 点であった。

男性では有効回答 26,752 人のうち、44 点以上が 4,864 人(18.2%)、65 点以上が 1,041 人(3.9%)であり、女性では有効回答 33,952 人のうち、44 点以上が 8,247 人(24.3%)、65 点以上が 1,750 人(5.2%)であった(図 10)。男性の平均点は 31.2 点、女性の平均点は 34.4 点であった。

年齢階級別は、表 14 のとおりである。

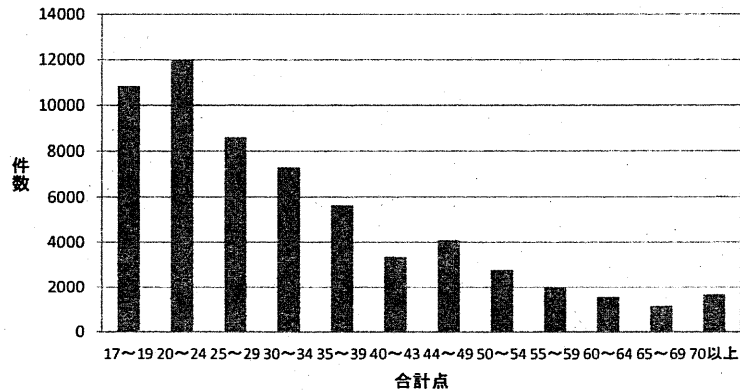


図 9 一般用のトラウマ反応(PCL): 全体

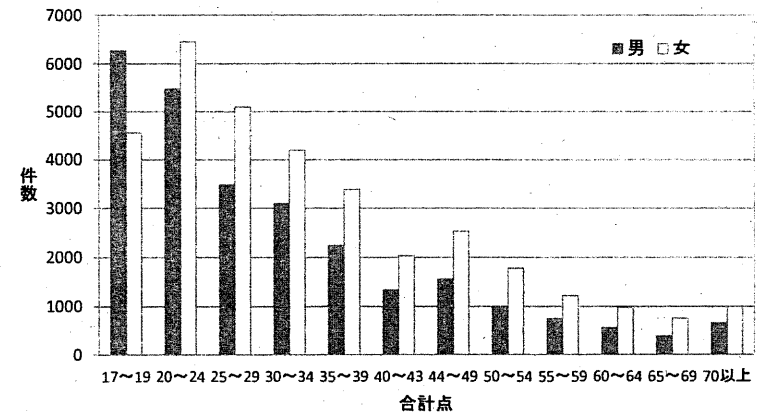


図 10 一般用のトラウマ反応(PCL): 男女別

表 14 一般用のトラウマ反応(PCL):年齢階級別 (人数(割合))

	44 点以上	65 点以上	有効回答数
10 代	201 (9.9%)	25 (1.2%)	2,029
20 代	904 (18.0%)	182 (3.6%)	5,031
30 代	1,579 (18.6%)	282 (3.3%)	8,476
40 代	1,477 (18.9%)	322 (4.1%)	7,803
50 代	2,317 (19.9%)	443 (3.8%)	11,653
60 代	3,228 (23.3%)	666 (4.8%)	13,835
70 代以上	3,405 (28.7%)	871 (7.3%)	11,877

※3 44 点: 先行研究で示されている基準

※4 65 点: 支援を行うために設けた基準

14. 震災で経験したことについて（問 14）

- 1) 震災にて経験したこと(複数回答)は、「地震」が 69,700 人、「津波」が 14,757 人、「原子力発電所事故」が 38,392 人、「いずれもなし」が 1,095 人であった。
- 2) 震災による行政の家屋被害認定結果は、「被害なし」が 18,551 人(27.3%)、「一部損壊」が 38,485 人(56.5%)、「半壊」が 5,225 人(7.7%)、「大規模半壊」が 1,963 人(2.9%)、「全壊」が 3,832 人(5.6%)であった。
- 3) 震災による死別体験(今回の震災で、身近な人を亡くされましたか。)は、「はい」が 14,091 人(19.9%)、「いいえ」が 56,670 人(80.1%)であった。
「はい」と回答した人の死別人数は、「1～3 人」が 10,272 人(79.2%)、「4～6 人」が 1,802 人(13.9%)、「7～9 人」が 391 人(3.0%)、「10 人以上」が 511 人(3.9%)であった。
- 4) 現在の住まい(震災によってお住まいはどのように変わりましたか)は、複数回答 717 人を除外すると、「避難所」が 734 人(1.3%)、「仮設住宅」が 6,896 人(12.0%)、「借家・アパート」が 22,947 人(40.0%)、「親戚宅」が 2,460 人(4.3%)、「持家」が 21,459 人(37.5%)、「その他」が 2,778 人(4.9%)であった。
- 5) 仕事の状況(震災や原発事故によってお仕事の状況は変わりましたか)は、「変わった」が 36,507 人(54.0%)、「変わらない」が 31,133 人(46.0%)であった。
「変わった」と回答した人のうち、どのように変わったか(複数回答)については、「無職だったが新しく仕事を始めた」が 1,261 人、「失業した」が 14,241 人、「転職した」が 2,807 人、「稼ぎが増えた」が 869 人、「稼ぎが減った」が 12,952 人、「その他」が 12,090 人であった。

15. 放射線の健康影響についての認識について（問 15）

放射線の健康影響についての認識は、表 15 のとおりであった。

表 15 一般用の放射線の健康影響についての認識

		可能性は 極めて低い	←	→	可能性は 非常に高い
1	現在の放射線被ばくで、急性の健康障害(例えば、1ヶ月以内に死亡するなど)がどのくらい起こると思いますか？	39,687 (66.0%)	11,774 (19.6%)	4,707 (7.8%)	3,964 (6.6%)
2	現在の放射線被ばくで、後年に生じる健康障害(例えば、がんの発症など)がどのくらい起こると思いますか？	13,345 (22.1%)	17,958 (29.8%)	13,906 (23.1%)	15,094 (25.0%)
3	現在の放射線被ばくで、次世代以降の人(将来生まれてくる自分の子や孫など)への健康影響がどのくらい起こると思いますか？	9,174 (15.2%)	14,827 (24.6%)	15,241 (25.3%)	20,978 (34.9%)

平成 23 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（子ども用①）」資料

平成 23 年度 県民健康管理調査

「こころの健康度・生活習慣に関する調査」

資 料

			人数	割合
性別	(回答者数 7,818人)	・男児	3,969	50.8%
(平均年齢 3.1歳)		・女児	3,849	49.2%
住所別	(回答者数 7,818人)	・県内	5,083	65.0%
		・県外	2,735	35.0%
問1 健康状態	(有効回答 7,776人)	・きわめて良好	1,612	20.7%
		・良好	2,789	35.9%
		・普通	3,210	41.2%
		・悪い	152	2.0%
		・きわめて悪い	13	0.2%
問2 震災での経験	※複数回答	・地震	7,757	—
		・津波	670	—
		・原子力発電所事故(爆発音を聞いた)	2,633	—
		・いずれもなし	26	—
問3 治療中の病気	(有効回答 7,769人)	・ない	6,472	83.3%
		・ある	1,297	16.7%
問4 入院の経験	(有効回答 7,782人)	・ない	5,930	76.2%
		・ある	1,852	23.8%
問5 検査の経験				
1)CT検査	(有効回答 7,776人)	・ない	7,100	91.3%
		・ある	514	6.6%
		・わからない	162	2.1%
2)その他、X線を使った検査	(有効回答 7,762人)	・ない	6,124	78.9%
		・ある(※ある場合の検査内容)	1,201	15.5%
		(透視検査)	(1,071)	—
		(血管造影)	(58)	—
		(核医学検査)	(19)	—
		・わからない	437	5.6%
問6 放射線療法の経験	(有効回答 7,770人)	・ない	7,609	97.9%
		・ある	14	0.2%
		・わからない	147	1.9%
問7 睡眠時間と昼寝の有無				
1)睡眠時間	(有効回答 7,803人)	・平均睡眠時間 9時間43分		
		・平均就寝時間 午後9時16分		
		・平均起床時間 午前7時00分		
2)昼寝の有無	(有効回答 7,805人)	・いいえ	3,639	46.6%
		・はい	4,166	53.4%
		(平均昼寝時間 1時間47分)		
問8 食生活				
1)母乳による授乳	(有効回答 7,554人)	・はい	424	5.6%
		・いいえ	7,130	94.4%
2)食品等を食べる頻度	—	・本文中に掲載	—	—
問9 SDQ(4歳以上)	(有効回答 3,427人)	・平均総合得点 11.7点		
	(有効回答 1,755人)	・平均総合得点 男 12.1点		
	(有効回答 1,672人)	・平均総合得点 女 11.2点		
		・16点以上	836	24.4%
		(男)	(476)	—
		(女)	(360)	—
		・20点以上	386	11.3%
		(男)	(223)	—
		(女)	(163)	—

※0は内数

平成 23 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（子ども用②）」資料

		人数	割合
性別	(回答者数 7,464人)	3,815	51.1%
(平均年齢 9.5歳)		3,649	48.9%
住所別	(回答者数 7,464人)	5,404	72.4%
		2,060	27.6%
問1 健康状態	(有効回答 7,422人)	1,387	18.7%
		2,592	34.9%
		3,228	43.5%
		190	2.6%
		25	0.3%
問2 震災での経験	※複数回答	7,387	—
		873	—
		2,953	—
		25	—
問3 治療中の病気	(有効回答 7,419人)	6,303	85.0%
		1,116	15.0%
問4 入院の経験	(有効回答 7,425人)	5,454	73.5%
		1,971	26.5%
問5 検査の経験			
1) CT検査	(有効回答 7,418人)	6,046	81.5%
		1,029	13.9%
		343	4.6%
2) その他、X線を使った検査	(有効回答 7,362人)	5,605	76.2%
		1,194	16.2%
		(1,072)	—
		(68)	—
		(30)	—
		563	7.6%
問6 放射線療法	(有効回答 7,425人)	7,211	97.1%
		19	0.3%
		195	2.6%
問7 睡眠時間	(有効回答 7,430人)		
問8 普段の運動量	(有効回答 7,452人)	932	12.5%
		1,495	20.1%
		1,075	14.4%
		3,950	53.0%
問9 食生活	—	—	—
問10 SDQ	(有効回答 7,450人)		
	(有効回答 3,808人)		
	(有効回答 3,642人)		
		11.0点	
		男 11.5点	
		女 10.4点	
		16点以上	22.0%
		(男)	—
		(935)	—
		(女)	—
		(702)	—
		20点以上	10.9%
		809	—
		(男)	—
		(479)	—
		(女)	—
		(330)	—

※()は内数

平成 23 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（子ども用③）」資料

		人数	割合
性別	(回答者数 3,411人)	1,717	50.3%
(平均年齢 14.0歳)		1,694	49.7%
住所別	(回答者数 3,411人)	2,734	80.2%
		677	19.8%
問1 健康状態	(有効回答 2,491人)	557	22.4%
		679	27.3%
		1,139	45.7%
		98	3.9%
		18	0.7%
問2 自覚症状	(有効回答 2,482人)	983	39.6%
		—	—
	※複数回答	—	—
		1,499	60.4%
問3 睡眠時間	(有効回答 2,501人)		
問4 運動	(有効回答 2,501人)	755	30.2%
		349	14.0%
		221	8.8%
		1,176	47.0%
問5 食生活	—	—	—
問6 震災での経験	※複数回答	2,355	—
		305	—
		1,018	—
		6	—
問7 治療中の病気	(有効回答 3,330人)	2,838	85.2%
		492	14.8%
問8 入院の経験	(有効回答 3,325人)	2,621	78.8%
		704	21.2%
問9 検査の経験			
1) CT検査	(有効回答 3,328人)	2,597	78.0%
		605	18.2%
		126	3.8%
2) その他、X線を使った検査	(有効回答 3,291人)	2,524	76.7%
		544	16.5%
		(469)	—
		(34)	—
		(12)	—
		223	6.8%
問10 放射線療法	(有効回答 3,339人)	3,253	97.4%
		7	0.2%
		79	2.4%
問11 SDQ	(有効回答 3,332人)		
	(有効回答 1,681人)		
	(有効回答 1,651人)		
		9.7点	
		男 9.5点	
		女 9.8点	
		16点以上	18.2%
		(男)	—
		(539)	—
		(女)	—
		(273)	—
		20点以上	7.7%
		256	—
		(男)	—
		(123)	—
		(女)	—
		(133)	—

※()は内数

平成23年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（一般用）」資料

	人数	割合
性別 (回答者数 73,433人)	32,301	44.0%
(平均年齢 55.5歳)	41,132	56.0%
住所別 (回答者数 73,433人)	59,435	80.9%
	13,998	19.1%
問1 健康状態 (有効回答 62,787人)	2,667	4.2%
	8,533	13.6%
	39,972	63.7%
	10,499	16.7%
	1,116	1.8%
問2 既往歴	—	—
問3 検査の受診	—	—
1) CT検査 (有効回答 72,144人)	37,849	52.5%
	31,566	43.7%
	2,729	3.8%
2) 透視検査 (有効回答 71,976人)	26,293	36.5%
	44,300	61.6%
	1,383	1.9%
2) その他検査 (有効回答 71,188人)	59,471	83.6%
	8,289	11.6%
	(5,801)	—
	(669)	—
	(1,481)	—
	3,428	4.8%
問4 放射線療法 (有効回答 71,775人)	68,089	94.9%
	1,293	1.8%
	2,393	3.3%
問5 自覚症状 (有効回答 63,346人)	37,878	59.8%
※複数回答	—	—
	25,468	40.2%
問6 1) 日常生活機能	—	—
問6 2) レクリエーション参加 (有効回答 71,393人)	46,291	64.8%
	19,424	27.2%
	5,678	8.0%
問7 睡眠	—	—
1) 睡眠(最近1カ月間) (有効回答 52,754人)	17,587	33.3%
	24,675	46.8%
	8,180	15.5%
	2,312	4.4%
2) 睡眠に関する経験	—	—
問8 喫煙	—	—
1) たばこ (有効回答 70,845人)	40,375	57.0%
	15,827	22.3%
	14,643	20.7%
	—	—
	—	—
2) 受動喫煙 (有効回答 64,111人)	16,190	25.3%
	6,101	9.5%
	21,940	34.2%
	19,880	31.0%
3) 喫煙(震災以前) (有効回答 66,878人)	50,588	75.6%
	16,290	24.4%

※()は内数

	人数	割合
問9 お酒	—	—
1) アルコール飲料の飲酒 (有効回答 71,538人)	37,286	52.1%
	2,720	3.8%
	31,532	44.1%
2) アルコール飲料の飲酒 (有効回答 68,705人)	39,847	58.0%
(震災以前)	28,858	42.0%
問10 食生活 ※複数回答	—	—
問11 運動 (有効回答 71,117人)	10,581	14.9%
	14,402	20.3%
	9,905	13.9%
	36,229	50.9%
問12 精神健康状態(K6) (有効回答 59,807人)	—	—
(※男の有効回答 28,321人)	—	—
(※女の有効回答 33,486人)	—	—
	8,717	14.6%
	(3,133)	11.9%
	(5,584)	16.7%
	—	—
	1,954	3.3%
	(670)	2.5%
	(1,284)	3.8%
問13 トラウマ反応(PCL) (有効回答 60,704人)	—	—
(※男の有効回答 26,752人)	—	—
(※女の有効回答 33,952人)	—	—
	13,111	21.6%
	(4,864)	18.2%
	(8,247)	24.3%
	—	—
	2,791	4.6%
	(1,041)	3.9%
	(1,750)	5.2%
問14 東日本大震災について	—	—
1) 震災での経験 ※複数回答	69,700	—
	14,757	—
	38,392	—
	1,095	—
2) 家屋被害認定結果 (有効回答 68,056人)	18,551	27.3%
	38,485	56.5%
	5,225	7.7%
	1,963	2.9%
	3,832	5.6%
3) 震災による死別体験 (有効回答 70,761人)	14,091	19.9%
(死別人数有効回答 12,976人)	(10,272)	79.2%
	(1,802)	13.9%
	(391)	3.0%
	(511)	3.9%
	56,670	80.1%
4) 現在の住まい (有効回答 57,274人)	734	1.3%
	6,896	12.0%
	22,947	40.0%
	2,460	4.3%
	21,459	37.5%
	2,778	4.9%
5) 仕事の状況 (有効回答 67,640人)	36,507	54.0%
	(1,261)	—
	(14,241)	—
	(2,807)	—
	(869)	—
	(12,952)	—
	(12,090)	—
	31,133	46.0%
問15 放射線の健康影響	—	—
問16~19	—	—

※()は内数

平成 23 年度 県民健康管理調査

「こころの健康度・生活習慣に関する調査」

電話等による支援結果

(第 10 回検討委員会資料「資料 4」抜粋)

(1) 目的

平成 23 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」回答者のうち、こころの健康度・生活習慣上、相談・支援の必要があると判断された方に、適切なケアを提供することを目的に、臨床心理士や保健師・看護師等による「こころの健康支援チーム」が電話等による相談や情報提供等を実施する。

(2) 方法

① 調査対象者

国が指定した避難区域等の住民の方で、生年月日が平成 23 年 3 月 10 日以前の方

② 支援基準

ア) こころのケア

・ ハイリスク

- 子ども：問 1（主観的健康観）で「普通」「悪い」「きわめて悪い」にチェックがあり、SDQ（子どもの行動）が 20 点以上
- 一般：問 1（主観的健康観）で「普通」「悪い」「きわめて悪い」にチェックがあり、K6（全般精神健康度）が 20 点以上または PCL（トラウマ関連）が 65 点以上

・ 基準点超え

- 子ども：問 1 で「普通」「悪い」「きわめて悪い」にチェックがあり、SDQ（子どもの行動）が 16 点以上 19 点以下
- 一般：問 1 で「普通」「悪い」「きわめて悪い」にチェックがあり、K6 が 13 点以上 19 点以下かつ PCL が 44 点以上 64 点以下

イ) 生活習慣に関するケア（「一般」のみ対象）

- ・ 睡眠障害のある方
- ・ メディカルコントロール（高血圧・糖尿病）がなされていない方
- ・ 精神疾患「あり」にチェックがあった方
- ・ 自覚症状について災害後悪化が明らかに多い方
- ・ 過度の喫煙、または飲酒の認められる方

ウ) こころのケア・生活習慣に関するケア 共通

- ・ 調査用紙の欄外に明らかに精神的苦痛、生活困難があると判断される内容が記載されている方

③ 支援方法

ア) 電話支援

- ・ 「こころの健康支援チーム」が回答内容を上記の基準により確認し、支援が必要と思われる方に対して電話をかけ、こころの健康度や生活習慣病予防、生活支援等に関する問題について支援を実施した。

イ) 文書による支援（情報提供）

・こころのケア

「ハイリスク」のうち電話番号の記載のなかった方や留守等の理由で電話支援ができなかった方と、「基準点超え」の対象者全員に、心のケア手帳「ほっと安心手帳」（内閣府作成）を送付するとともに、相談窓口として、「こころの健康度・生活習慣に関する調査」専用ダイヤルを案内した。

・生活習慣に関するケア

対象者全員に、生活習慣病予防に関するパンフレットを送付するとともに、相談窓口として、「こころの健康度・生活習慣に関する調査」専用ダイヤルを案内した。

④ 電話支援対象者の選定

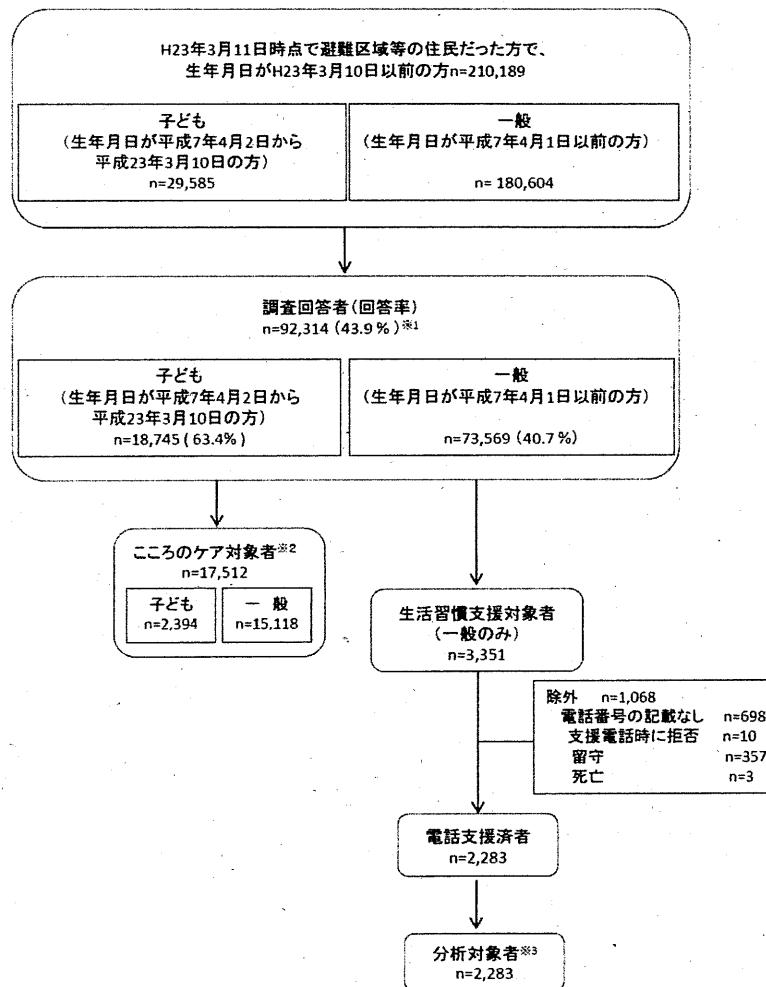
ア) こころのケア（図1、図2）

避難区域等の住民で生年月日が平成23年3月10日以前の方は、210,189名であり、92,314名（43.9%）から調査票の回収があった。そのうち「子ども」（生年月日が平成7年4月2日から平成23年3月10日までの方）は18,745名、「一般」（生年月日が平成7年4月1日以前の方）は73,569名であった。

こころのケア支援対象者におけるハイリスクの方は、子ども1,328名、一般4,220名であり、そのうち支援希望がなかった方などを除く、子ども1,327名、一般4,185名に電話支援を実施した。また、基準点を超えた方11,964名の方に電話支援の希望を尋ねるハガキを送付し、電話による支援を希望した方が、子ども36名、一般1,174名であり、ハイリスクと合わせて、子ども1,363名、一般5,359名の方に電話支援を実施した。

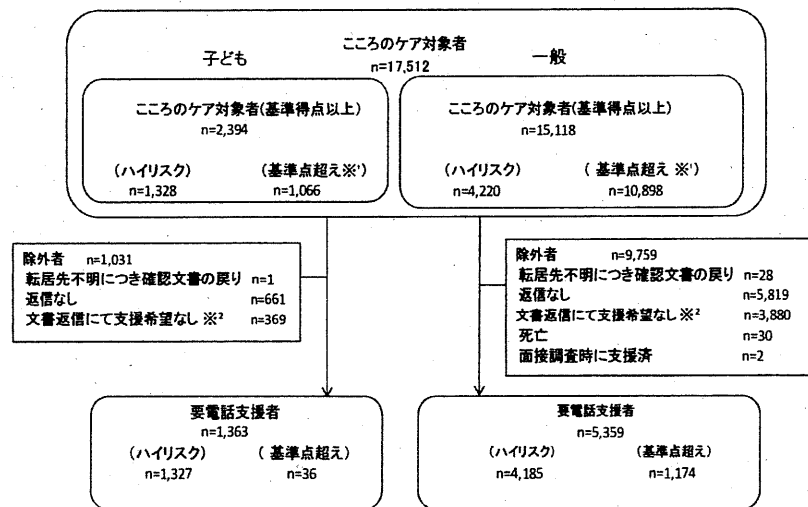
イ) 生活習慣に関するケア（図1）

避難区域等の住民で生年月日が平成7年4月1日以前の方は、180,604名であった。そのうち73,569名（40.7%）から調査票の回収があり、生活習慣支援対象者は3,351名（4.6%）であった。生活習慣要支援対象者のうち、電話番号の記載がなかった方や留守等の理由で電話支援ができなかった方1,068名（31.9%）を除く2,283名（68.1%）に電話支援を実施した。電話支援した方のうち、県内は1,714名（75.1%）、県外が569名（24.9%）であった。



※1 平成24年10月31日暫定。重複も含む。
 ※2 詳細については、図2参照。
 ※3 分析結果については、11ページ～13ページ参照。

図1 対象者の選定



※¹ 2012年8月下旬に基準点超えの方全てに送付
ハイリスクの方の支援を優先的に支援を行った後、基準点超えの方もこころの健康リスクの可能性が否定できないため、文章送付を行い現在の状態把握をし支援希望の方など支援が必要と思われる方に電話支援を行った。
※² はがき返信時に支援を希望なしに丸を付けた方に対しては除外対象とした

図2 対象者の選定
(こころのケア詳細)

(3) こころのケア 結果

① 要支援状況

ア) 子ども

子どもの要支援者は全体で 1,363 名であった。要支援者 1,363 名のうち男児が 757 名 (55.5%)、女児が 606 名 (44.5%) であった。また、全体の 86.6%の方に電話支援を行うことができた。

表1 子ども要支援状況(性別)

	全体 n=1,363	子ども① n=457	子ども② n=675	子ども③ n=231
要支援者数				
男児	757 (55.5)	255 (55.8)	390 (57.8)	112 (48.5)
女児	606 (44.5)	202 (44.2)	285 (42.2)	119 (51.5)
電話支援済み	1,180 (86.6)	401 (87.7)	589 (87.3)	190 (82.3)
文書支援済み	183 (13.4)	56 (12.3)	86 (12.7)	41 (17.7)

表中の値はn(%)
基準点超えの支援希望者が少数(36名)のため、ハイリスク、基準点超えを分けず集計

イ) 一般

一般の要支援者は全体で 5,359 名であった。要支援者 5,359 名のうち男性が 1,966 名(36.7%)、女性が 3,393 名(63.3%)であった。また、電話支援済み全体のうち 26.9%が県外であり、1,084 人の県外避難者への電話支援を行うことができた。

表2 一般要支援状況(性別、居住地)

	全体 n=5,359	ハイリスク n=4,185	基準点超え n=1,174
要支援者数			
男性	1,966 (36.7)	1,512 (36.1)	454 (38.7)
女性	3,393 (63.3)	2,673 (63.9)	720 (61.3)
電話支援済み	4,027	2,983	1,044
県内	2,943 (73.1)	2,145 (71.9)	798 (76.4)
県外	1,084 (26.9)	838 (28.1)	246 (23.6)
文書支援済み	1,332	1,202	130
県内	1,096 (82.3)	998 (83.0)	98 (75.4)
県外	236 (17.7)	204 (17.0)	32 (24.6)

表中の値はn(%)
県内外は、H23年度調査票回収時の最新居住地

表3 一般要支援者状況(年代別)

年齢	【全体 n=5,359】		【県内 n=4,039】		【県外 n=1,320】	
	ハイリスク n=1,185	基準点超え n=1,174	ハイリスク n=3,143	基準点超え n=896	ハイリスク n=1,042	基準点超え n=278
10代	64 (1.5)	6 (0.5)	37 (1.2)	2 (0.2)	27 (2.6)	4 (1.4)
20代	244 (5.8)	32 (2.7)	152 (4.8)	22 (2.5)	92 (8.8)	10 (3.6)
30代	405 (9.7)	71 (6.0)	251 (8.0)	32 (3.6)	154 (14.8)	39 (14.0)
40代	422 (10.1)	80 (6.8)	308 (9.8)	57 (6.4)	114 (10.9)	23 (8.3)
50代	652 (15.1)	181 (15.4)	469 (14.9)	125 (14.0)	163 (15.6)	56 (20.1)
60代	936 (22.4)	303 (25.8)	730 (23.2)	243 (27.1)	206 (19.8)	60 (21.6)
70代	967 (23.1)	360 (30.7)	813 (25.9)	302 (33.7)	154 (14.8)	58 (20.9)
80代以上	515 (12.3)	141 (12.0)	383 (12.2)	113 (12.6)	132 (12.7)	28 (10.1)

表中の値はn(%)
県内外は、H23年度調査票回収時の最新居住地

表5 子ども居住地(県内外別)内訳

支援済み結果	全体 n=1,363	県内 n=883	県外 n=480
	経過観察1	684 (50.2)	475 (53.8)
経過観察2	414 (30.4)	240 (27.2)	174 (36.3)
経過観察3	22 (1.6)	8 (0.9)	14 (2.9)
支援希望なし	2 (0.1)	2 (0.2)	0 (0.0)
紹介状	2 (0.1)	0 (0.0)	2 (0.4)
県内登録医師一覽送付	29 (2.1)	20 (2.3)	9 (1.9)
県外医療機関資料送付	5 (0.4)	0 (0.0)	5 (1.0)
他部門の対応	22 (1.6)	15 (1.7)	7 (1.5)
文書支援済	183 (13.4)	123 (13.9)	60 (12.5)

表中の値はn(%)
県内は、H23年度調査票回収時の最新居住地

イ) 一般

電話支援の結果、経過観察 1 と判断された要支援者は、ハイリスクでは 1,760 名 (42.1%)、基準点超えでは 807 名 (68.7%) であった。また、経過観察 2 と判断された要支援者は、ハイリスクでは 943 名 (22.5%)、基準点超えでは 180 名 (15.3%) であった。

表6 一般電話支援結果内訳

支援済み結果	【全体 n=5,359】		【県内 n=4,039】		【県外 n=1,320】	
	ハイリスク n=1,185	基準点超え n=1,174	ハイリスク n=3,143	基準点超え n=896	ハイリスク n=1,042	基準点超え n=278
経過観察1	1,760 (42.1)	807 (68.7)	1,346 (42.8)	632 (70.5)	414 (39.7)	175 (62.9)
経過観察2	943 (22.5)	180 (15.3)	593 (18.9)	124 (13.8)	350 (33.6)	56 (20.1)
経過観察3	87 (2.1)	28 (2.4)	60 (1.9)	22 (2.5)	27 (2.6)	6 (2.2)
支援希望なし	24 (0.6)	8 (0.7)	16 (0.5)	6 (0.7)	8 (0.8)	2 (0.7)
紹介状	1 (0.1未満)	0 (0.0)	1 (0.1未満)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
県内登録医師一覽送付	117 (2.8)	11 (0.9)	108 (3.4)	9 (1.0)	9 (0.9)	2 (0.7)
県外医療機関資料送付	20 (0.5)	0 (0.0)	5 (0.2)	0 (0.0)	15 (1.4)	0 (0.0)
他部門の対応	31 (0.7)	10 (0.9)	16 (0.5)	5 (0.6)	15 (1.4)	5 (1.8)
文書支援済	1,202 (28.7)	130 (11.1)	998 (31.8)	98 (10.9)	204 (19.6)	32 (11.5)

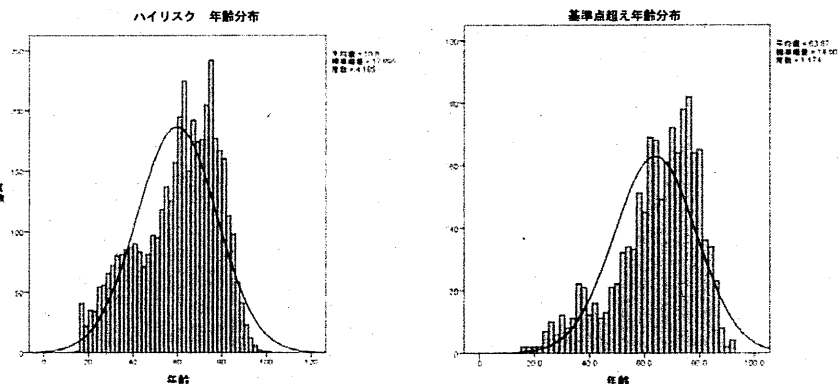
表中の値はn(%)
県内外は、H23年度調査票回収時の最新居住地

《子どもの区分について》

- 子ども①: 生年月日が平成 16 年 4 月 2 日から平成 23 年 3 月 11 日までの方(就学前乳幼児)
- 子ども②: 生年月日が平成 10 年 4 月 2 日から平成 16 年 4 月 1 日までの方(小学生)
- 子ども③: 生年月日が平成 7 年 4 月 2 日から平成 10 年 4 月 1 日までの方(中学生)

《結果の分類について》

- 経過観察 1: 医療機関につながっている、もしくは相談相手が身近にいることが確認でき、問題に対して、自身で適切に対応されていると判断できるもの。
- 経過観察 2: 医療機関につながっていない、相談相手が身近にいない、もしくは医療機関や家族等からのサポートへの満足度が低い等、問題に対して自身で適切に対応されていると判断できないもの。
- 経過観察 3: 支援拒否ではないが、口数が少なく、状況の確認ができなかったもの。
- 支援希望なし: 支援の必要はないと、相手から明確に伝えられたもの。
- 他部門の対応: 甲状腺検査等、他の部門から回答するのが望ましいと判断されたもの。



② 電話支援結果

ア) 子ども

電話支援の結果、経過観察 1 と判断された要支援者は、684 名 (50.2%) であり、経過観察 2 と判断された要支援者は、414 名 (30.4%) であった。

表4 子ども電話支援結果内訳

支援済み結果	全体 n=1,363	子ども① n=457	子ども② n=675	子ども③ n=231
	経過観察1	684 (50.2)	292 (63.9)	291 (43.6)
経過観察2	414 (30.4)	87 (19.0)	254 (37.6)	73 (31.6)
経過観察3	22 (1.6)	6 (1.3)	9 (1.3)	7 (3.0)
支援希望なし	2 (0.1)	1 (0.2)	0 (0.0)	1 (0.4)
紹介状	2 (0.1)	2 (0.4)	0 (0.0)	0 (0.0)
県内登録医師一覽送付	29 (2.1)	8 (1.8)	19 (2.8)	2 (0.9)
県外医療機関資料送付	5 (0.4)	0 (0.0)	4 (0.6)	1 (0.4)
他部門の対応	22 (1.6)	5 (1.1)	9 (1.3)	8 (3.5)
文書支援済	183 (13.5)	56 (12.3)	86 (12.8)	41 (17.7)

表中の値はn(%)

③ ハイリスク該当者における「電話支援済み」の対象者を取り巻く問題

対象者がどのような問題を抱えているかを把握するために、電話支援を行った際の記録をもとに語られた問題を類型化し(表7、表8)、概念図を作成した(図3、図4)。

《子ども》

表7 対象者を取り巻く問題(子ども)

A.子どもの反応	
a	身体の不調(身体に現れた症状や問題)
b	学校への影響(不登校など学校場面についての問題や訴え)
c	イライラ・暴力(怒りや衝動性に基づく行動や感情の問題)
d	不安・抑うつ(不安感、抑うつが根底にあると認められる行動や問題)
e	地震・放射線への反応(地震や放射線に関する子ども自身の反応)
f	食行動の変化(食行動やそれに伴う体重変化に関する問題や訴え)
g	睡眠の乱れ(睡眠に関する問題や訴え)
B.保護者・家庭の問題	
a	保護者自身(保護者自身のストレス反応)
b	住まい(住環境に基づく問題や訴え)
c	家族内関係(家族の状況や関係性の変化による問題)
d	放射線(放射線に関して保護者が感じる不安)
e	経済(生活費や賠償問題など金銭面の問題)
C.学校・近隣等の関係	
a	学校・近隣等の関係(学校・近隣の対人関係により保護者が感じるストレス)
D.環境	
a	環境(環境変化によるストレス)
E.その他	
a	その他(その他分類困難な訴え)

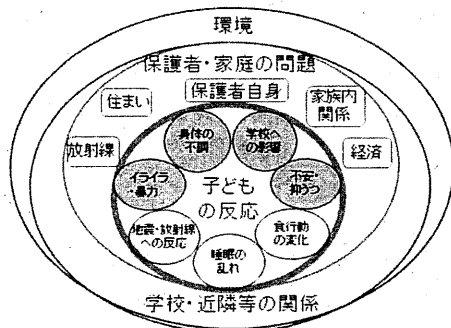


図3 対象者を取り巻く問題の概念図(子ども)

まとめ

- ① 語られた問題は、A.子どもの反応、B.保護者・家庭の問題、C.学校・近隣等の関係、D.環境、E.その他にまとめられた。
- ② 特に多かったのはA.子どもの反応であり、その中で身体の不調、学校への影響、イライラ・暴力、不安・抑うつであった。

《一般》

表8 対象者を取り巻く問題(一般)

A.自身の反応	
a	睡眠の乱れ(睡眠に関する問題や訴え)
b	身体の不調(身体に現れた症状や問題)
c	抑うつ(気持ちの落ち込みなどの問題)
d	将来への不安(被災したことによる今後の仕事や生活を営む上での問題)
e	怒り・イライラ(怒りや衝動性に基づく行動や感情の問題)
f	避難生活への不安・不満(避難生活を営む上での問題や訴え)
g	喪失、悲しみ(被災したことにより家族友人などを失った悲しみに対する問題)
h	震災の恐怖(震災によって生じている、災害に対する精神的反応)
i	食行動の変化(食行動やそれに伴う体重変化に関する問題や訴え)
j	放射線、被ばくなどの不安(放射線の影響に対する不安)
k	運動不足(避難生活で今までのように動けないことによる問題)
B.家庭内の問題	
a	住環境の変化(避難生活で変化した、住居に関する問題)
b	家族内関係(家族の状況や関係性の変化による問題)
c	収入・仕事(震災後生じた、仕事や収入に関する問題)
d	日常生活・習慣の変更(避難生活で変更を余儀なくされ、生じた問題)
C.社会生活における問題	
a	近隣等の関係(近隣のひととのやりとりで生じている問題)
b	行政政策への不満・補償問題(事故後の対応についての不満や問題)
c	周囲の目・偏見(自分が避難者であることから生じた、周囲との問題)
d	保健・医療・福祉(それぞれの制度やサービスで生じた問題)
D.風土・文化	
a	風土・文化(その地域独特の風習や気候、文化の違いから生じた問題)
E.その他	
a	その他(その他分類困難な訴えについて)

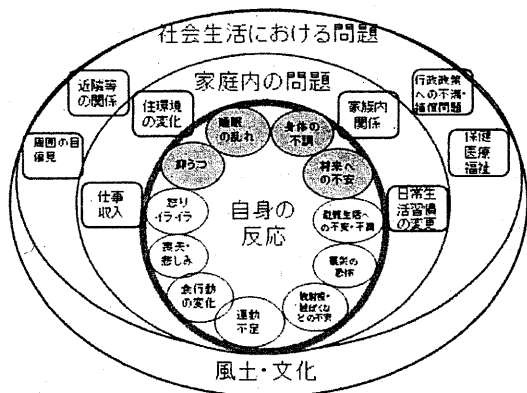


図4 対象者を取り巻く問題の概念図（一般）

まとめ

① 語られた問題は、A.自身の反応、B.家庭内の問題、C.社会生活における問題、D.風土・文化、E.その他にまとめられた。
特に多かったのはA.自身の反応であり、その中で睡眠の乱れ、身体の不調、抑うつ、将来への不安であった。

(4) 生活習慣に関するケア 結果

① 要支援状況（表1）

表1【生活習慣】要支援状況

	全体
送付数	180,604
回収数 ¹⁾	73,569 (40.7)
要支援者数	3,351 (4.6)
男性	1,477 (44.1)
女性	1,874 (55.9)
支援済み	2,283 (68.1)
県内	1,714 (75.1)
県外	569 (24.9)
TEL未支援 ²⁾	1,068 (31.9)

生活習慣支援対象者は3,351名(4.6%)であった。要支援者3,351名のうち、男性は1,477名(44.1%)、女性は1,874名(55.9%)であった。

生活習慣要支援対象者のうち、電話番号の記載がなかった方や留守等の理由で電話支援ができなかった方1,068名(31.9%)を除く2,283名(68.1%)に電話支援を実施した。電話支援した方のうち、県内は、1,714名(75.1%)、県外が569名(24.9%)であった。

表中の値はn(%)

県内外は、H23年度調査票回収時の最新居住地

1)H24年10月31日暫定、重複も含む

2)TEL未支援は、TEL記載なしおよび留守等

② 支援済み要支援者状況（表2）

支援済み要支援者の平均年齢は52.8歳であり、年代別は、60代が538名(23.6%)で、次いで50代が504名(22.1%)、40代が400名(17.6%)であった。10代は28名(1.2%)であった。

表2【生活習慣】支援済み要支援者状況(県内外・年代別)

	全体 n=2,278 ¹⁾	県内 n=1,712	県外 n=566
年齢	52.8 ± 15.7	53.7 ± 15.8	50.1 ± 15.1
10代	28 (1.2)	25 (1.5)	3 (0.5)
20代	140 (6.1)	90 (5.3)	50 (8.8)
30代	357 (15.7)	246 (14.4)	111 (19.6)
40代	400 (17.6)	292 (17.1)	108 (19.1)
50代	504 (22.1)	389 (22.7)	115 (20.3)
60代	538 (23.6)	409 (23.9)	129 (22.8)
70代	214 (9.4)	176 (10.3)	38 (6.7)
80代以上	97 (4.3)	85 (5.0)	12 (2.1)

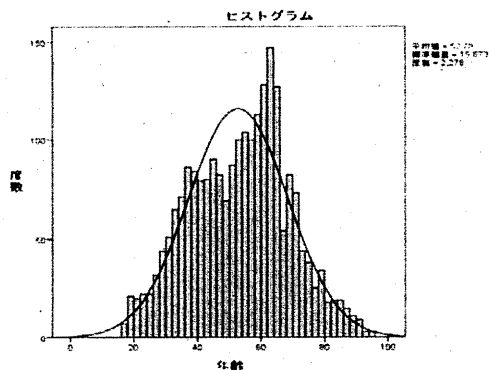
表中の値はn(%)もしくはmean±SD

年代区分は、調査票記入時の実年齢

1)支援済みのうち、欠損5人を除く

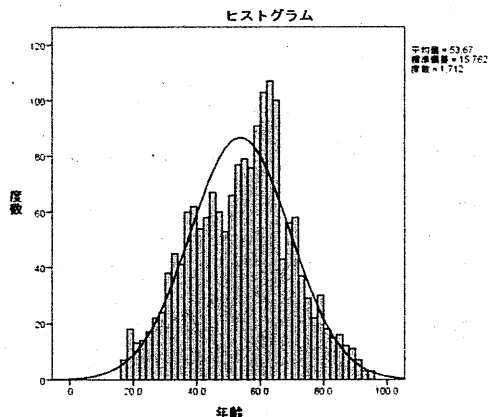
支援済み(全体)

年齢		
度数	有効	2278
	欠損値	5
平均値		52.8
中央値		54.0
最頻値		63.0
標準偏差		15.7
最小値		17
最大値		95



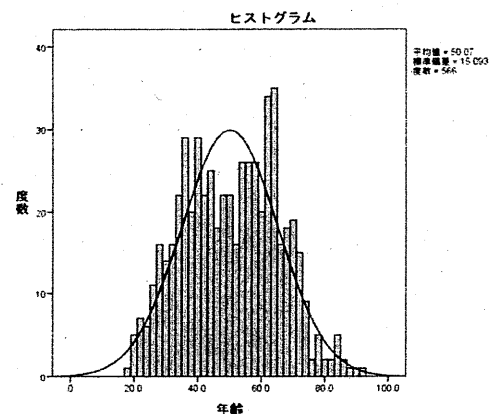
支援済み(県内)

年齢		
度数	有効	1712
	欠損値	2
平均値		53.7
中央値		55.0
最頻値		63.0
標準偏差		15.8
最小値		17
最大値		95



支援済み(県外)

年齢		
度数	有効	566
	欠損値	3
平均値		50.1
中央値		50.0
最頻値		62.0
標準偏差		15.1
最小値		18
最大値		91



③ 支援済み要支援者結果(表3)

支援済み要支援者の電話支援の結果は、既に通院中または状況改善がみられた「解決」が1,575名(69.0%)、通院または状況改善がみられず、受診勧奨・保健相談などを実施した「相談・紹介」が672名(29.4%)、再度、電話支援が必要または地域の保健師につなぐ必要がある「要支援」が36名(1.6%)であった。

表3【生活習慣】支援済み要支援者結果(県内外別) n=2,283

	全体 n=2,283	県内 n=1,714	県外 n=569
支援済み結果			
解決 ¹⁾	1,575 (69.0)	1,231 (71.8)	344 (60.5)
相談・紹介 ²⁾	672 (29.4)	457 (26.7)	215 (37.8)
要支援 ³⁾	36 (1.6)	26 (1.5)	10 (1.8)

表中の値はn(%)

- 1) 通院中または状況改善
- 2) 受診勧奨・保健相談・保健師などの相談紹介
- 3) 再度、電話支援が必要または地域の保健師につなぐ必要あり

④ 電話支援状況(表4)

「支援基準該当あり」のうち、睡眠は1,058名(46.3%)、喫煙・飲酒は98名(4.3%)であった。また、喫煙・飲酒の受診勧奨・保健相談数は60名(61.2%)であった。

表4【生活習慣】支援済み要支援者の電話支援状況 n=2,283

	支援基準 該当なし	支援基準 該当あり	【支援基準該当あり内訳】	
			TEL前 解決済 ¹⁾	受診勧奨・ 保健相談 ²⁾
高血圧	1,344 (58.9)	939 (41.1)	637 (67.8)	302 (32.2)
糖尿病	2,038 (89.3)	245 (10.7)	157 (64.1)	88 (35.9)
精神疾患	1,650 (72.3)	633 (27.7)	557 (88.0)	76 (12.0)
自覚症状	1,799 (78.8)	484 (21.2)	343 (70.9)	141 (29.1)
睡眠	1,225 (53.7)	1,058 (46.3)	782 (73.9)	276 (26.1)
喫煙・飲酒	2,185 (95.7)	98 (4.3)	38 (38.8)	60 (61.2)

表中の値はn(%)

- 1) 電話支援の連絡をするが、電話支援前に解決済み
- 2) 電話支援前は未解決のため、受診勧奨・保健相談をする

平成 24 年度 県民健康管理調査

「こころの健康度・生活習慣に関する調査」

結果報告書

福島県立医科大学

放射線医学県民健康管理センター

(平成 26 年 5 月)

【 目 次 】

平成 24 年度 県民健康管理調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」

調査票別集計結果

0 歳～3 歳用	3
4 歳～6 歳用	6
小学生用	10
中学生用	14
一 般 用	18

平成 24 年度 県民健康管理調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」

調査票別資料

0 歳～3 歳用	33
4 歳～6 歳用	34
小学生用	35
中学生用	36
一 般 用	37

平成 24 年度 県民健康管理調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」

支援実施報告

目 的	43
方 法	43
結果 子ども	47
結果 一般	52
ま と め	62

平成 24 年度 県民健康管理調査

「こころの健康度・生活習慣に関する調査」

調査票別集計結果

平成 24 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」

1. 目 的

平成 23 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」の結果を踏まえ、引き続き質問紙による調査を実施し、「見守っている」、「支援している」という強いメッセージを継続的に発するとともに、状況の変化やその要因を把握することにより、さらなる支援につなげることを目的として平成 24 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」を実施した。

2. 方 法

1) 対 象

平成 24 年度の対象は、平成 23 年 3 月 11 日時点で国が指定する避難区域等の住民及び平成 24 年 4 月 1 日までに生まれた方であり、具体的には、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村、南相馬市、田村市、川俣町の全域及び伊達市の一部(特定避難勧奨地点関係地区)の市町村に住民登録があった者、211,615 人を対象とした。

0 歳～3 歳用	:平成 21 年 4 月 2 日から平成 24 年 4 月 1 日までに生まれた者	4,625 人
4 歳～6 歳用	:平成 18 年 4 月 2 日から平成 21 年 4 月 1 日までに生まれた者	5,047 人
小学生用	:平成 12 年 4 月 2 日から平成 18 年 4 月 1 日までに生まれた者	11,413 人
中学生用	:平成 9 年 4 月 2 日から平成 12 年 4 月 1 日までに生まれた者	6,023 人
一般用	:平成 9 年 4 月 1 日以前に生まれた者	184,507 人

2) 方 法

上記対象に対して、上記区分に従い、調査票(自記式または保護者回答)を郵送した。

3) 集計対象期間

平成 25 年 2 月 7 日から平成 25 年 10 月 31 日までとした。

4) 回答者数および有効回答数

回答者数(回答率)は、0 歳～3 歳用が 2,143 人(46.3%)、4 歳～6 歳用が 2,231 人(44.2%)、小学生用が 4,703 人(41.2%)、中学生用が 2,126 人(35.3%)、一般用が 55,076 人(29.9%)であった(次頁表 1)。

有効回答数(有効回答率)は、0 歳～3 歳用が 2,143 人(46.3%)、4 歳～6 歳用が 2,230 人(44.2%)、小学生用が 4,683 人(41.0%)、中学生用が 2,118 人(35.2%)、一般用が 55,064 人(29.8%)であった(次頁表 1)。上記回答者数には、白紙で提出されたケースが含まれており、集計対象からは除外した。また、回答者数には、回答者 1 人が複数票提出したケースも含まれており、その場合には、1 人 1 票の回答のみを集計対象とした。

調査票ごとに、各項目について結果を集計した。なお、各項目に欠損値があるため、合計は上記有効回答数と一致しない場合がある。

表 1 平成 23 年度および平成 24 年度の質問紙調査における対象数、回答者数および有効回答数

対象数	平成 24 年度		平成 23 年度	
	0 歳～3 歳	4 歳～6 歳	子ども①	子ども②
対象数	4,625 人	5,047 人	7,824 人	11,717 人
小学生	11,413 人		7,509 人	11,791 人
中学生	6,023 人		3,412 人	6,077 人
(小計)	27,108 人		18,745 人	29,585 人
一般	184,507 人		73,569 人	180,604 人
計	211,615 人		92,314 人	210,189 人
回答者数(%)	0 歳～3 歳	2,143 人 (46.3%)	子ども①	7,824 人 (66.8%)
	4 歳～6 歳	2,231 人 (44.2%)	子ども②	7,509 人 (63.7%)
	小学生	4,703 人 (41.2%)	子ども③	3,412 人 (58.1%)
	中学生	2,126 人 (35.3%)	(小計)	18,745 人 (63.4%)
	(小計)	11,203 人 (41.3%)	一般	73,569 人 (40.7%)
	一般	55,076 人 (29.9%)	計	92,314 人 (43.9%)
	計	66,279 人 (31.3%)		
有効回答数(%)	0 歳～3 歳	2,143 人 (46.3%)	子ども①	7,818 人 (66.7%)
	4 歳～6 歳	2,230 人 (44.2%)	子ども②	7,464 人 (63.3%)
	小学生	4,683 人 (41.0%)	子ども③	3,411 人 (56.1%)
	中学生	2,118 人 (35.2%)	(小計)	18,693 人 (63.2%)
	(小計)	11,174 人 (41.2%)	一般	73,433 人 (40.7%)
	一般	55,064 人 (29.8%)	計	92,126 人 (43.8%)
	計	66,238 人 (31.3%)		

平成24年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査(0歳～3歳用)」結果

こころの健康度・生活習慣に関する調査(0歳～3歳用)の対象4,625人のうち、有効回答は2,143人(46.3%)であった。内訳は、男児1,056人(49.3%)、女児1,087人(50.7%)で、平均年齢は2.0歳であった。

現住所は、県内1,423人(66.4%)、県外720人(33.6%)であった。

1. お子様の健康状態について(問1)

健康状態は、「きわめて良好」が564人(26.6%)、「良好」が897人(42.2%)、「普通」が630人(29.7%)、「悪い」が29人(1.4%)、「きわめて悪い」が2人(0.1%)であった。

2. お子様の現在の身長と体重について(問2)

身長は、平均で0歳(平成24年4月1日時点)が78.3cm、1歳が87.5cm、2歳が94.9cmであった。体重は、平均で0歳が10.2kg、1歳が12.5kg、2歳が14.4kgであった。

男児の身長・体重の平均は、0歳79.4cm・10.5kg、1歳88.2cm・12.8kg、2歳95.7cm・14.8kgであった。女児の身長・体重の平均は、0歳77.3cm・9.9kg、1歳86.8cm・12.1kg、2歳94.3cm・14.2kgであった。

3. 治療中の病気について(問3)

治療中の病気は、「ない」が1,428人(67.0%)、「ある」が703人(33.0%)であった。「ある」と回答した者の内訳(複数回答)は、表2のとおりであった。

4. 入院の経験について(問4)

入院の経験は、「ない」が1,622人(76.1%)、「ある」が510人(23.9%)であった。「ある」と回答した者の内訳(複数回答)は、表3のとおりであった。

表2 治療中の病気の内訳

病名	人数
風邪	277
喘息	102
アトピー性皮膚炎	101
中耳炎	89
歯科疾患	71
アレルギー性鼻炎	52
喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎以外のアレルギー性疾患	37
インフルエンザ	29
副鼻腔炎	15
てんかん	4
ADHD	2
その他	91

(複数回答)

表3 入院の経験の内訳

病名	人数
肺炎	114
RSウイルス感染症	112
気管支炎	80
風邪	59
マイコプラズマ肺炎	55
胃腸炎	54
熱性けいれん	54
ロタウイルス感染症	46
喘息	43
インフルエンザ	23
川崎病	17
鼠径ヘルニア	12
その他	104

(複数回答)

5. 検査の経験について(問5)

- CT検査の経験は、「ない」が2,009人(94.0%)、「ある」が95人(4.4%)、「わからない」が35人(1.6%)であった。
- その他、X線を使った検査の経験は、「ない」が1,796人(84.9%)、「ある」が223人(10.5%)、「わからない」が98人(4.6%)であった。「ある」と回答した者のうち、「透視検査」が187人、「血管造影」が7人、「核医学検査」が2人であった。

6. 病気の治療のための放射線療法の経験について(問6)

病気の治療のための放射線療法の経験は、「ない」が2,103人(98.5%)、「ある」が0人(0.0%)、「わからない」が31人(1.5%)であった。

7. 睡眠時間と昼寝の有無について(問7)

- 就寝時刻は、平均で午後9時9分であり、起床時刻は午前7時8分であった。睡眠時間は、平均で10時間0分であった。
- 昼寝の有無(お子様はお昼寝をしますか)は、「いいえ」が272人(12.8%)、「はい」が1,847人(87.2%)であった。昼寝時間は、平均で1時間54分であった。

8. 普段の運動量について(問8)

運動(普段、運動をどのくらいしていますか(調査票記入時点で2歳以上))は、「ほとんど毎日している」が410人(29.2%)、「週に2～4回している」が426人(30.4%)、「週1回程度している」が192人(13.7%)、「ほとんどしていない」が374人(26.7%)であった。

9. 食生活について(問9)

- 母乳(お子様は母乳を飲んでいますが)は、「はい」が276人(13.6%)、「いいえ」が1,754人(86.4%)であった。
- 食品(飲料)および朝食を食べる(飲む)頻度(調査票記入時点で1歳以上)は、表4(次頁)のとおりであった。

10. 育児について(問10)

育児(育児に自信がもてないことがありますか?)は、「はい」が317人(14.8%)、「いいえ」が940人(44.0%)、「何ともいえない」が881人(41.2%)であった。

表4 1歳～3歳児の食品(飲料)および朝食を食べる(飲む)頻度(上段人数/下段割合)

	食べ ない	週に 1回未満	週に 1-2回	週に 3-4回	週に 5-6回	毎日	計	
ごはん	3 (0.1%)	2 (0.1%)	13 (0.6%)	59 (2.8%)	181 (8.7%)	1,817 (87.7%)	2,075	
パン	32 (1.5%)	269 (13.0%)	726 (35.2%)	517 (25.1%)	230 (11.1%)	292 (14.1%)	2,066	
魚料理	29 (1.4%)	222 (10.8%)	921 (44.8%)	729 (35.4%)	106 (5.2%)	50 (2.4%)	2,057	
肉類	とり肉	73 (3.5%)	402 (19.5%)	1097 (53.1%)	444 (21.5%)	40 (1.9%)	10 (0.5%)	2,066
	牛肉、豚肉	105 (5.1%)	255 (12.3%)	934 (45.2%)	644 (31.2%)	101 (4.9%)	26 (1.3%)	2,065
	ハム、ソーセージ	171 (8.4%)	340 (16.6%)	847 (41.5%)	528 (25.8%)	115 (5.6%)	43 (2.1%)	2,044
野菜	緑の葉の野菜	156 (7.5%)	310 (15.0%)	633 (30.7%)	563 (27.2%)	221 (10.7%)	185 (8.9%)	2,068
	赤や黄色の野菜	52 (2.5%)	138 (6.7%)	512 (24.7%)	724 (34.9%)	345 (16.7%)	301 (14.5%)	2,072
	淡色野菜	52 (2.5%)	157 (7.6%)	511 (24.7%)	736 (35.7%)	357 (17.3%)	253 (12.2%)	2,066
	野菜ジュース	687 (33.3%)	542 (26.2%)	365 (17.6%)	238 (11.5%)	89 (4.3%)	147 (7.1%)	2,068
果物	くだもの	77 (3.7%)	172 (8.3%)	400 (19.3%)	554 (26.8%)	317 (15.3%)	550 (26.6%)	2,070
	果物ジュース	353 (17.1%)	459 (22.2%)	417 (20.2%)	378 (18.3%)	190 (9.2%)	268 (13.0%)	2,065
大豆	納豆	269 (13.0%)	362 (17.5%)	685 (32.9%)	458 (22.1%)	188 (9.1%)	112 (5.4%)	2,074
	味噌汁	57 (2.7%)	125 (6.0%)	247 (11.9%)	452 (21.8%)	401 (19.3%)	792 (38.3%)	2,074
	とうふ料理	80 (3.9%)	323 (15.6%)	721 (34.7%)	594 (28.7%)	235 (11.3%)	120 (5.8%)	2,073
	煮豆料理	785 (38.0%)	831 (40.2%)	318 (15.4%)	91 (4.4%)	29 (1.4%)	13 (0.6%)	2,067
牛乳	370 (17.9%)	207 (10.0%)	283 (13.7%)	306 (14.8%)	198 (9.6%)	704 (34.0%)	2,068	
豆乳	1,616 (78.0%)	270 (13.0%)	101 (4.9%)	47 (2.3%)	16 (0.8%)	20 (1.0%)	2,070	
ヨーグルト、乳酸菌飲料	68 (3.3%)	173 (8.3%)	450 (21.7%)	538 (26.0%)	295 (14.2%)	549 (26.5%)	2,073	
朝食	11 (0.5%)	4 (0.2%)	16 (0.8%)	58 (2.8%)	72 (3.5%)	1,909 (92.2%)	2,070	

※ 各項目に欠損値があるため、合計は一致しない場合がある。

平成24年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査(4歳～6歳用)」結果

こころの健康度・生活習慣に関する調査(4歳～6歳用)の対象5,047人のうち、有効回答は2,230人(44.2%)であった。内訳は、男児1,127人(50.5%)、女児1,103人(49.5%)で、平均年齢は4.9歳であった。

現住所は、県内1,546人(69.3%)、県外684人(30.7%)であった。

1. お子様の健康状態について(問1)

健康状態は、「きわめて良好」が476人(21.6%)、「良好」が940人(42.6%)、「普通」が750人(34.0%)、「悪い」が40人(1.8%)、「きわめて悪い」が0人(0.0%)であった。

2. お子様の現在の身長と体重について(問2)

身長は、平均で3歳(平成24年4月1日時点)が102.1cm、4歳が108.6cm、5歳が115.2cmであった。体重は、平均で3歳が16.6kg、4歳が18.6kg、5歳が20.9kgであった。

男児の身長・体重の平均は、3歳102.7cm・16.8kg、4歳109.4cm・18.9kg、5歳115.7cm・21.2kgであった。女児の身長・体重の平均は、3歳101.5cm・16.3kg、4歳107.7cm・18.2kg、5歳114.7cm・20.5kgであった。

3. 治療中の病気について(問3)

治療中の病気は、「ない」が1,313人(59.4%)、「ある」が897人(40.6%)であった。「ある」と回答した者の内訳は、表5のとおりであった。

4. 入院の経験について(問4)

入院の経験は、「ない」が1,565人(70.6%)、「ある」が653人(29.4%)であった。「ある」と回答した者の内訳は、表6のとおりであった。

表5 治療中の病気の内訳

病名	人数
風邪	259
歯科疾患	186
アレルギー性鼻炎	172
喘息	169
アトピー性皮膚炎	141
中耳炎	85
副鼻腔炎	58
喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎以外のアレルギー性疾患	35
インフルエンザ	33
てんかん	11
ADHD	6
その他	80

(複数回答)

表6 入院の経験の内訳

病名	人数
肺炎	209
RSウイルス感染症	111
マイコプラズマ肺炎	98
喘息	85
気管支炎	84
胃腸炎	71
熱性けいれん	63
ロタウイルス感染症	50
風邪	44
インフルエンザ	37
鼠径ヘルニア	31
川崎病	20
その他	129

(複数回答)

5. 検査の経験について (問5)

- 1) CT検査の経験は、「ない」が2,014人(90.6%)、「ある」が150人(6.7%)、「わからない」が59人(2.7%)であった。
- 2) その他、X線を使った検査の経験は、「ない」が1,706人(77.4%)、「ある」が361人(16.4%)、「わからない」が137人(6.2%)であった。
「ある」と回答した者のうち、「透視検査」が308人、「血管造影」が19人、「核医学検査」が4人であった。

6. 病気の治療のための放射線療法の経験について (問6)

病気の治療のための放射線療法の経験は、「ない」が2,172人(97.8%)、「ある」が2人(0.1%)、「わからない」が47人(2.1%)であった。

7. 睡眠時間と昼寝の有無について (問7)

- 1) 就寝時刻は、平均で午後9時6分であり、起床時刻は午前6時51分であった。睡眠時間は、平均で9時間45分であった。
- 2) 昼寝の有無(お子様はお昼寝をしますか)は、「いいえ」が1,384人(62.6%)、「はい」が828人(37.4%)であった。昼寝時間は、平均で1時間33分であった。

8. 普段の運動量について (問8)

運動(普段、運動をどのくらいしていますか)は、「ほとんど毎日している」が843人(38.1%)、「週に2~4回している」が719人(32.6%)、「週1回程度している」が315人(14.3%)、「ほとんどしていない」が331人(15.0%)であった。

4歳~6歳用

4歳~6歳用

9. 食生活について (問9)

食品(飲料)および朝食を食べる(飲む)頻度は、表7のとおりであった。

表7 4歳~6歳児の食品(飲料)および朝食を食べる(飲む)頻度(上段人数/下段割合)

	食べ ない	週に 1回未満	週に 1-2回	週に 3-4回	週に 5-6回	毎日	計	
ごはん	0 (0.0%)	3 (0.1%)	11 (0.5%)	70 (3.1%)	217 (9.7%)	1,925 (86.6%)	2,226	
パン	26 (1.2%)	333 (15.0%)	850 (38.3%)	549 (24.8%)	216 (9.7%)	244 (11.0%)	2,218	
魚料理	25 (1.1%)	227 (10.3%)	1,075 (48.8%)	737 (33.5%)	103 (4.7%)	36 (1.6%)	2,203	
肉類	とり肉	31 (1.4%)	426 (19.4%)	1,257 (57.2%)	438 (19.9%)	40 (1.8%)	7 (0.3%)	2,199
	牛肉、豚肉	28 (1.3%)	181 (8.2%)	1,034 (46.8%)	839 (37.9%)	106 (4.8%)	23 (1.0%)	2,211
	ハム、ソーセージ	30 (1.4%)	306 (13.9%)	950 (43.3%)	720 (32.8%)	128 (5.8%)	61 (2.8%)	2,195
野菜	緑の葉の野菜	141 (6.4%)	304 (13.7%)	764 (34.6%)	626 (28.3%)	214 (9.7%)	162 (7.3%)	2,211
	赤や黄色の野菜	45 (2.0%)	189 (8.5%)	676 (30.5%)	782 (35.4%)	290 (13.1%)	232 (10.5%)	2,214
	淡色野菜	70 (3.2%)	161 (7.3%)	614 (27.8%)	814 (36.9%)	332 (15.0%)	217 (9.8%)	2,208
	野菜ジュース	925 (41.9%)	661 (29.9%)	323 (14.6%)	157 (7.1%)	63 (2.8%)	82 (3.7%)	2,211
果物	くだもの	55 (2.5%)	202 (9.1%)	507 (22.9%)	617 (27.9%)	343 (15.5%)	489 (22.1%)	2,213
	果物ジュース	438 (19.8%)	640 (29.0%)	521 (23.6%)	328 (14.9%)	124 (5.6%)	156 (7.1%)	2,207
大豆	納豆	239 (10.8%)	562 (25.4%)	884 (40.0%)	386 (17.4%)	98 (4.4%)	44 (2.0%)	2,213
	味噌汁	48 (2.2%)	107 (4.8%)	294 (13.3%)	514 (23.2%)	399 (18.0%)	854 (38.5%)	2,216
	とうふ料理	93 (4.2%)	432 (19.5%)	870 (39.3%)	585 (26.4%)	150 (6.8%)	85 (3.8%)	2,215
	煮豆料理	894 (40.6%)	944 (42.8%)	286 (13.0%)	57 (2.6%)	16 (0.7%)	7 (0.3%)	2,204
牛乳	111 (5.0%)	134 (6.0%)	254 (11.5%)	324 (14.6%)	330 (14.9%)	1,062 (48.0%)	2,215	
豆乳	1,771 (80.3%)	307 (13.9%)	71 (3.2%)	32 (1.4%)	15 (0.7%)	12 (0.5%)	2,208	
ヨーグルト、乳酸菌飲料	42 (1.9%)	213 (9.6%)	537 (24.2%)	620 (27.9%)	304 (13.7%)	504 (22.7%)	2,220	
朝食	8 (0.4%)	3 (0.1%)	18 (0.8%)	34 (1.5%)	57 (2.6%)	2,096 (94.6%)	2,216	

※ 各項目に欠損値があるため、合計は一致しない場合がある。

10. 子どもの情緒と行動について (問 10)

子どもの情緒と行動(子どもの情緒と行動に関するアンケート(SDQ 日本語版))は、有効回答 2,221 人のうち、16 点^{※1}以上が 366 人(16.5%)、20 点^{※2}以上が 131 人(5.9%)であった(図 1)。平均総合得点は 10.3 点であった。

男児では有効回答 1,119 人のうち、16 点以上が 206 人(18.4%)、20 点以上が 78 人(7.0%)であり、女児では有効回答 1,102 人のうち、16 点以上が 160 人(14.5%)、20 点以上が 53 人(4.8%)であった(図 2)。平均総合得点は男児では 10.8 点、女児では 9.7 点であった。

4 歳～6 歳用

小学生用

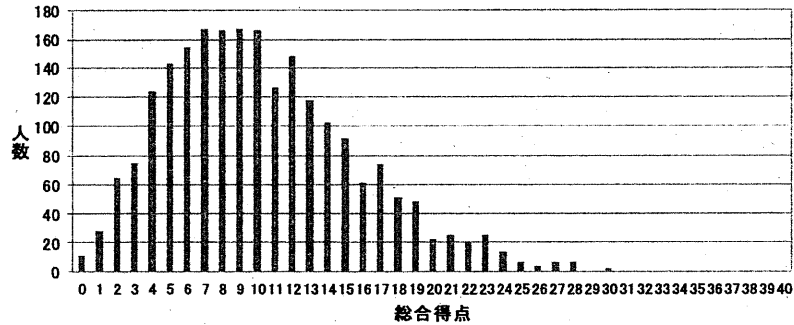


図 1 4 歳～6 歳の子どもの情緒と行動(SDQ):全体

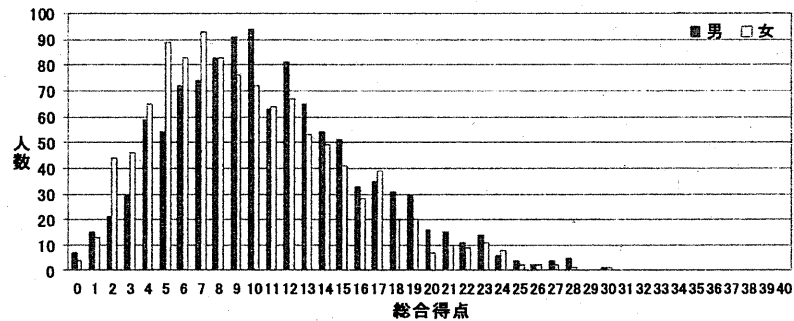


図 2 4 歳～6 歳の子どもの情緒と行動(SDQ):男女別

※1 16 点: 先行研究で示されている基準

※2 20 点: 福島県立医科大学の医師等が支援を行うために設けた基準

平成 24 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査(小学生用)」結果

こころの健康度・生活習慣に関する調査(小学生用)の対象 11,413 人のうち、有効回答は 4,683 人(41.0%)であった。内訳は、男児 2,431 人(51.9%)、女児 2,252 人(48.1%)で、平均年齢は 9.4 歳であった。

現住所は、県内 3,401 人(72.6%)、県外 1,282 人(27.4%)であった。

1. お子様の健康状態について (問 1)

健康状態は、「きわめて良好」が 963 人(20.8%)、「良好」が 1,947 人(42.0%)、「普通」が 1,630 人(35.2%)、「悪い」が 88 人(1.9%)、「きわめて悪い」が 6 人(0.1%)であった。

2. お子様の現在の身長と体重について (問 2)

身長は、平均で 136.3cm であり、体重は、平均で 33.4kg であった。

男児の身長・体重の平均は、1 年生 121.8cm・24.3kg、2 年生 127.1cm・27.2kg、3 年生 132.7cm・31.2kg、4 年生 138.4cm・35.7kg、5 年生 144.4cm・39.1kg、6 年生 151.6cm・45.1kg であった。女児の身長・体重の平均は、1 年生 120.4cm・23.5kg、2 年生 125.8cm・25.8kg、3 年生 132.1cm・30.2kg、4 年生 138.5cm・34.2kg、5 年生 145.4cm・39.0kg、6 年生 150.5cm・43.4kg であった。

3. 治療中の病気について (問 3)

治療中の病気は、「ない」が 2,978 人(64.0%)、「ある」が 1,672 人(36.0%)であった。

「ある」と回答した者の内訳は、表 8 のとおりであった。

4. 入院の経験について (問 4)

入院の経験は、「ない」が 2,979 人(64.0%)、「ある」が 1,675 人(36.0%)であった。

「ある」と回答した者の内訳は、表 9 のとおりであった。

表 8 治療中の病気の内訳

病名	人数
アレルギー性鼻炎	629
歯科疾患	339
アトピー性皮膚炎	276
喘息	242
風邪	174
喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎以外のアレルギー性疾患	133
副鼻腔炎	93
中耳炎	64
ADHD	57
インフルエンザ	47
てんかん	28
その他	236

(複数回答)

表 9 入院の経験の内訳

病名	人数
肺炎	513
胃腸炎	233
気管支炎	217
喘息	209
マイコプラズマ肺炎	180
インフルエンザ	174
熱性けいれん	171
RS ウイルス感染症	138
風邪	126
ロタウイルス感染症	122
鼠径ヘルニア	97
川崎病	51
その他	368

(複数回答)

5. 検査の経験について (問 5)

- 1) CT 検査の経験は、「ない」が 3,923 人 (84.0%)、「ある」が 569 人 (12.2%)、「わからない」が 177 人 (3.8%)であった。
- 2) その他、X線を使った検査の経験は、「ない」が 3,593 人 (78.9%)、「ある」が 661 人 (14.5%)、「わからない」が 303 人 (6.6%)であった。
「ある」と回答した者のうち、「透視検査」が 557 人、「血管造影」が 42 人、「核医学検査」が 16 人であった。

6. 病気の治療のための放射線療法の経験について (問 6)

病気の治療のための放射線療法の経験は、「ない」が 4,549 人 (97.8%)、「ある」が 4 人 (0.1%)、「わからない」が 98 人 (2.1%)であった。

7. 睡眠時間と昼寝の有無について (問 7)

就寝時刻は、平均で午後 9 時 27 分であり、起床時刻は午前 6 時 20 分であった。睡眠時間は、平均で 8 時間 53 分であった。

8. 普段の運動量について (問 8)

運動(普段、体育の授業以外に運動をどのくらいしていますか)は、「ほとんど毎日している」が 315 人 (6.7%)、「週に 2~4 回している」が 1,254 人 (26.9%)、「週 1 回程度している」が 995 人 (21.3%)、「ほとんどしていない」が 2,106 人 (45.1%)であった。

小学生用

小学生用

9. 食生活について (問 9)

食品(飲料)および朝食を食べる(飲む)頻度は、表 10 のとおりであった。

表 10 小学生の食品(飲料)および朝食を食べる(飲む)頻度(上段人数/下段割合)

	食べ ない	週に 1 回未満	週に 1-2 回	週に 3-4 回	週に 5-6 回	毎日	計	
ごはん	19 (0.4%)	15 (0.3%)	38 (0.8%)	172 (3.7%)	514 (11.0%)	3,911 (83.8%)	4,669	
パン	63 (1.4%)	764 (16.4%)	1,762 (38.0%)	1,116 (24.0%)	456 (9.8%)	485 (10.4%)	4,646	
魚料理	74 (1.6%)	465 (10.0%)	2,287 (49.3%)	1,600 (34.5%)	161 (3.5%)	50 (1.1%)	4,637	
肉類	とり肉	64 (1.4%)	789 (17.0%)	2,600 (56.1%)	1,064 (22.9%)	101 (2.2%)	20 (0.4%)	4,638
	牛肉、豚肉	48 (1.0%)	248 (5.3%)	1,917 (41.2%)	2,081 (44.8%)	291 (6.3%)	63 (1.4%)	4,648
	ハム、ソーセージ	75 (1.6%)	887 (19.2%)	2,131 (46.0%)	1,231 (26.6%)	221 (4.8%)	81 (1.8%)	4,626
野菜	緑の葉の野菜	150 (3.2%)	604 (12.9%)	1,636 (35.1%)	1,470 (31.5%)	441 (9.5%)	364 (7.8%)	4,665
	赤や黄色の野菜	99 (2.1%)	497 (10.7%)	1,551 (33.3%)	1,584 (33.9%)	535 (11.5%)	394 (8.5%)	4,660
	淡色野菜	96 (2.1%)	300 (6.5%)	1,218 (26.2%)	1,825 (39.2%)	699 (15.0%)	510 (11.0%)	4,648
	野菜ジュース	2,054 (44.2%)	1,284 (27.6%)	621 (13.4%)	350 (7.5%)	142 (3.1%)	197 (4.2%)	4,648
果物	くだもの	137 (2.9%)	694 (14.9%)	1,399 (30.1%)	1,217 (26.1%)	511 (11.0%)	701 (15.0%)	4,659
	果物ジュース	1,266 (27.2%)	1,460 (31.4%)	1,006 (21.6%)	547 (11.8%)	163 (3.5%)	207 (4.5%)	4,649
大豆	納豆	533 (11.5%)	1,315 (28.2%)	1,773 (38.0%)	701 (15.1%)	204 (4.4%)	128 (2.8%)	4,654
	味噌汁	83 (1.8%)	213 (4.6%)	558 (12.0%)	991 (21.2%)	945 (20.3%)	1,876 (40.1%)	4,666
	とうふ料理	161 (3.5%)	885 (19.0%)	1,944 (41.6%)	1,169 (25.1%)	334 (7.2%)	169 (3.6%)	4,662
	煮豆料理	1,971 (42.5%)	1,940 (41.8%)	582 (12.5%)	116 (2.5%)	22 (0.5%)	11 (0.2%)	4,642
牛乳	178 (3.8%)	128 (2.8%)	225 (4.8%)	318 (6.8%)	955 (20.6%)	2,839 (61.2%)	4,643	
豆乳	3,798 (81.7%)	609 (13.1%)	136 (2.9%)	57 (1.2%)	19 (0.4%)	31 (0.7%)	4,650	
ヨーグルト、乳酸菌飲料	162 (3.5%)	557 (11.9%)	1,281 (27.5%)	1,143 (24.5%)	594 (12.7%)	926 (19.9%)	4,663	
朝食	33 (0.7%)	5 (0.1%)	33 (0.7%)	89 (1.9%)	125 (2.7%)	4,380 (93.9%)	4,665	

※ 各項目に欠損値があるため、合計は一致しない場合がある。

10. 子どもの情緒と行動について (問 10)

子どもの情緒と行動(子どもの情緒と行動に関するアンケート(SDQ 日本語版))は、有効回答 4,673 人のうち、16 点^{※1}以上が 760 人(16.3%)、20 点^{※2}以上が 300 人(6.4%)であった(図 3)。平均総合得点は 9.8 点であった。

男児では有効回答 2,425 人のうち、16 点以上が 464 人(19.1%)、20 点以上が 190 人(7.8%)であり、女児では有効回答 2,248 人のうち、16 点以上が 296 人(13.2%)、20 点以上が 110 人(4.9%)であった(図 4)。平均総合得点は男児では 10.3 点、女児では 9.2 点であった。

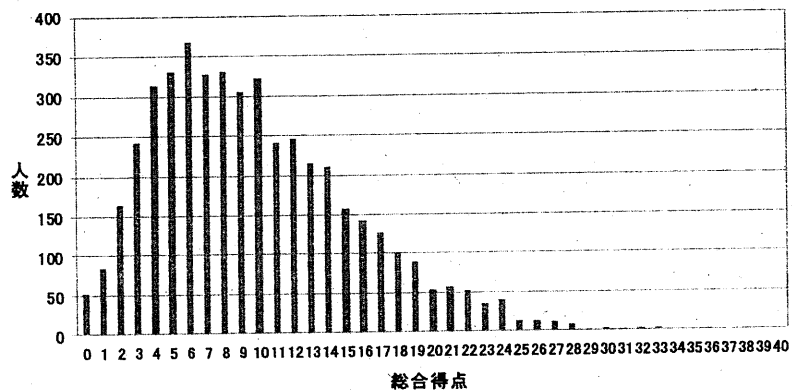


図 3 小学生の子どもの情緒と行動(SDQ):全体

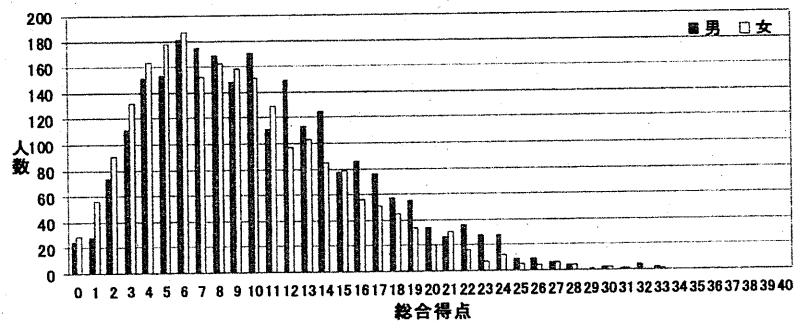


図 4 小学生の子どもの情緒と行動(SDQ):男女別

※1 16 点:先行研究で示されている基準

※2 20 点:福島県立医科大学の医師等が支援を行うために設けた基準

平成 24 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査(中学生用)」結果

こころの健康度・生活習慣に関する調査(中学生用)の対象 6,023 人のうち、有効回答は 2,118 人(35.2%)であった。内訳は、男子 1,043 人(49.2%)、女子 1,075 人(50.8%)で、平均年齢は 13.9 歳であった。

現住所は、県内 1,682 人(79.4%)、県外 436 人(20.6%)であった。

1. お子様の健康状態について (問 1)

健康状態は、「きわめて良好」が 355 人(25.7%)、「良好」が 474 人(34.3%)、「普通」が 504 人(36.6%)、「悪い」が 39 人(2.8%)、「きわめて悪い」が 8 人(0.6%)であった。

2. お子様の現在の身長と体重について (問 2)

身長は、平均で 159.4cm であり、体重は、平均で 51.8 kg であった。

男子の身長・体重の平均は、1 年生 158.5cm・50.5kg、2 年生 163.9cm・54.6kg、3 年生 167.6cm・58.9kg であった。女子の身長・体重の平均は、1 年生 154.2cm・47.3kg、2 年生 155.6cm・47.9kg、3 年生 157.0cm・51.7kg であった。

3. 睡眠について (問 3)

1) 睡眠時間は、平均で 7 時間 9 分であった。

2) 睡眠満足度は、「十分だと思う」が 567 人(41.2%)、「やや足りない」が 665 人(48.3%)、「足りない」が 144 人(10.5%)であった。

4. 普段の運動量について (問 4)

運動(普段、体育の授業以外に運動をどのくらいしていますか)は、「ほとんど毎日している」が 573 人(41.4%)、「週に 2~4 回している」が 236 人(17.0%)、「週 1 回程度している」が 101 人(7.3%)、「ほとんどしていない」が 476 人(34.3%)であった。

5. 食生活について (問5)

食品(飲料)および朝食を食べる(飲む)頻度は、表11のとおりであった。

表11 中学生の食品(飲料)および朝食を食べる(飲む)頻度(上段人数/下段割合)

		食べ ない	週に 1回未満	週に 1-2回	週に 3-4回	週に 5-6回	毎日	計
ごはん		12 (0.9%)	13 (0.9%)	19 (1.4%)	59 (4.3%)	190 (13.7%)	1,091 (78.8%)	1,384
パン		64 (4.7%)	266 (19.4%)	509 (37.1%)	239 (17.4%)	133 (9.7%)	160 (11.7%)	1,371
魚料理		40 (2.9%)	176 (12.8%)	637 (46.4%)	438 (31.9%)	64 (4.7%)	18 (1.3%)	1,373
肉類	とり肉	33 (2.4%)	223 (16.3%)	750 (54.7%)	297 (21.7%)	52 (3.8%)	15 (1.1%)	1,370
	牛肉、豚肉	25 (1.8%)	102 (7.4%)	547 (39.8%)	534 (38.8%)	131 (9.5%)	37 (2.7%)	1,376
	ハム、ソーセージ	43 (3.1%)	301 (21.9%)	557 (40.7%)	334 (24.3%)	88 (6.4%)	50 (3.6%)	1,373
野菜	緑の葉の野菜	44 (3.2%)	159 (11.5%)	424 (30.8%)	397 (28.8%)	177 (12.9%)	176 (12.8%)	1,377
	赤や黄色の野菜	39 (2.8%)	138 (10.0%)	403 (29.2%)	430 (31.2%)	200 (14.5%)	170 (12.3%)	1,380
	淡色野菜	33 (2.4%)	82 (6.0%)	290 (21.2%)	474 (34.5%)	261 (19.1%)	230 (16.8%)	1,370
	野菜ジュース	627 (45.4%)	363 (26.4%)	169 (12.3%)	88 (6.4%)	60 (4.4%)	70 (5.1%)	1,377
果物	くだもの	76 (5.5%)	254 (18.4%)	400 (29.1%)	312 (22.6%)	147 (10.7%)	189 (13.7%)	1,378
	果物ジュース	372 (27.1%)	396 (28.8%)	265 (19.3%)	182 (13.2%)	75 (5.5%)	84 (6.1%)	1,374
大豆	納豆	276 (20.0%)	436 (31.5%)	395 (28.6%)	183 (13.3%)	57 (4.1%)	34 (2.5%)	1,381
	味噌汁	47 (3.4%)	78 (5.7%)	150 (10.9%)	273 (19.8%)	259 (18.8%)	573 (41.4%)	1,380
	とうふ料理	99 (7.2%)	243 (17.6%)	498 (36.2%)	362 (26.3%)	108 (7.8%)	68 (4.9%)	1,378
	煮豆料理	617 (44.9%)	505 (36.7%)	179 (13.0%)	56 (4.1%)	11 (0.8%)	7 (0.5%)	1,375
牛乳		125 (9.1%)	76 (5.5%)	78 (5.7%)	98 (7.1%)	327 (23.9%)	667 (48.7%)	1,371
豆乳		1,121 (81.8%)	159 (11.6%)	36 (2.6%)	21 (1.5%)	15 (1.1%)	19 (1.4%)	1,371
ヨーグルト、乳酸菌飲料		103 (7.5%)	243 (17.6%)	324 (23.5%)	258 (18.7%)	170 (12.3%)	282 (20.4%)	1,380
朝食		18 (1.3%)	9 (0.7%)	20 (1.5%)	28 (2.0%)	75 (5.4%)	1,228 (89.1%)	1,378

※ 各項目に欠損値があるため、合計は一致しない場合がある。

6. お子様が発災で経験したことについて ※ 複数回答 (問6)

震災にて経験したことは、「地震」が1,363人、「津波」が197人、「原子力発電所事故」が1,300人、「いずれもなし」が3人であった。

7. 治療中の病気について (問7)

治療中の病気は、「ない」が1,485人(70.9%)、「ある」が609人(29.1%)であった。「ある」と回答した者の内訳は、表12のとおりであった。

8. 入院の経験について (問8)

入院の経験は、「ない」が1,367人(65.3%)、「ある」が725人(34.7%)であった。「ある」と回答した者の内訳は、表13のとおりであった。

表12 治療中の病気の内訳

病名	人数
アレルギー性鼻炎	244
歯科疾患	146
アトピー性皮膚炎	91
喘息	73
喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎以外のアレルギー性疾患	55
風邪	46
副鼻腔炎	23
ADHD	23
インフルエンザ	20
てんかん	14
中耳炎	12
その他	109

(複数回答)

表13 入院の経験の内訳

病名	人数
肺炎	226
喘息	117
胃腸炎	102
気管支炎	92
インフルエンザ	81
風邪	75
マイコプラズマ肺炎	72
熱性けいれん	64
風疹ヘルニア	46
ロタウイルス感染症	31
川崎病	19
RSウイルス感染症	14
その他	144

(複数回答)

9. 検査の経験について (問9)

- 1) CT検査の経験は、「ない」が1,692人(80.8%)、「ある」が323人(15.4%)、「わからない」が80人(3.8%)であった。
- 2) その他、X線を使った検査の経験は、「ない」が1,608人(78.0%)、「ある」が319人(15.5%)、「わからない」が135人(6.5%)であった。「ある」と回答した者のうち、「透視検査」が276人、「血管造影」が23人、「核医学検査」が2人であった。

10. 病気の治療のための放射線療法の経験について (問10)

病気の治療のための放射線療法の経験は、「ない」が2,040人(97.4%)、「ある」が6人(0.3%)、「わからない」が48人(2.3%)であった。

11. 子どもの情緒と行動について（問 11）

子どもの情緒と行動(子どもの情緒と行動に関するアンケート(SDQ 日本語版))は、有効回答 2,094 人のうち、16 点^{※1}以上が 258 人(12.3%)、20 点^{※2}以上が 130 人(6.2%)であった(図 5)。平均総合得点は 8.7 点であった。

男子では有効回答 1,035 人のうち、16 点以上が 130 人(12.6%)、20 点以上が 68 人(6.6%)であり、女子では有効回答 1,059 人のうち、16 点以上が 128 人(12.1%)、20 点以上が 62 人(5.9%)であった(図 6)。平均総合得点は男子では 8.7 点、女子では 8.7 点であった。

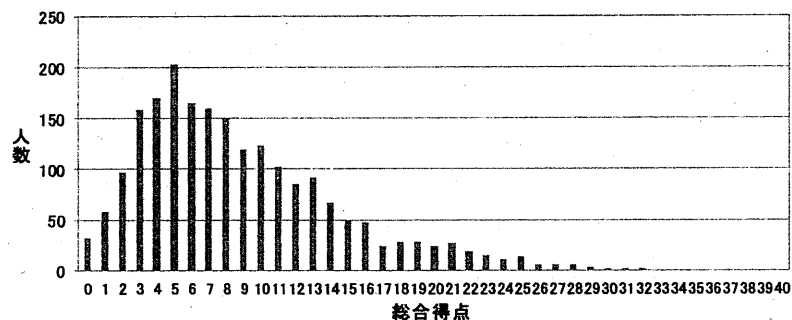


図 5 中学生の子どもの情緒と行動(SDQ):全体

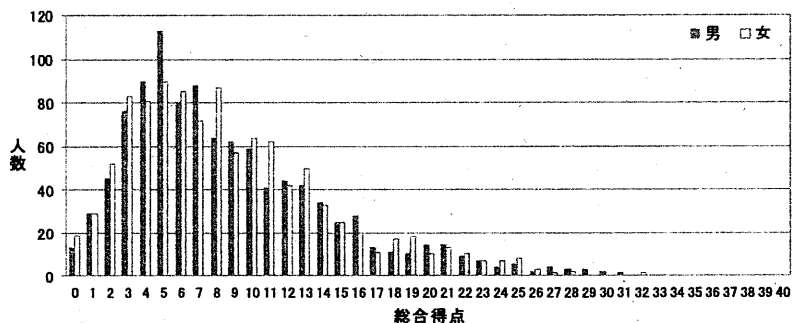


図 6 中学生の子どもの情緒と行動(SDQ):男女別

※1 16 点: 先行研究で示されている基準

※2 20 点: 福島県立医科大学の医師等が支援を行うために設けた基準

平成 24 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（一般用）」結果

こころの健康度・生活習慣に関する調査(一般用)の対象 184,507 人のうち、有効回答は 55,064 人(29.8%)であった。内訳は、男性 24,352 人(44.2%)、女性 30,712 人(55.8%)で、平均年齢は 58.2 歳であった。

現住所は、県内 45,748 人(83.1%)、県外 9,316 人(16.9%)であった。

1. 健康状態について（問 1）

健康状態は、「きわめて良好」が 1,851 人(3.9%)、「良好」が 7,400 人(15.7%)、「普通」が 29,528 人(62.5%)、「悪い」が 7,727 人(16.4%)、「きわめて悪い」が 719 人(1.5%)であった。

2. 身長と体重について（問 2）

1) 身長は、平均で 159.1cm であり、体重は、平均で 59.6kg であった。BMI (Body Mass Index: 調査票内の身長および体重から算出)は 23.5kg/m²であった。BMI 18.5 kg/m²未満は 3,265 人(6.4%)、18.5 kg/m²以上 30 kg/m²未満は 45,496 人(88.6%)、30 kg/m²以上 40 kg/m²未満は 2,436 人(4.7%)、40 kg/m²以上は 147 人(0.3%)であった。

男性の身長・体重の平均は、166.1cm・66.2kg であり、BMI の平均は、24.0 kg/m²であった。男性の BMI 18.5 kg/m²未満は 927 人(4.0%)、18.5 kg/m²以上 30 kg/m²未満は 20,948 人(90.8%)、30 kg/m²以上 40 kg/m²未満は 1,121 人(4.9%)、40 kg/m²以上は 60 人(0.3%)であった。

女性の身長・体重の平均は、153.4cm・54.2kg であり、BMI の平均は、23.1 kg/m²であった。女性の BMI 18.5 kg/m²未満は 2,338 人(8.3%)、18.5 kg/m²以上 30 kg/m²未満は 24,548 人(86.8%)、30 kg/m²以上 40 kg/m²未満は 1,315 人(4.6%)、40 kg/m²以上は 87 人(0.3%)であった。

2) 体重変化(平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災以前と比べて体重に変化はありましたか)は、「3kg 以上増えた」が 12,711 人(23.9%)、「ほぼ変わらない(±3kg 以内)」が 32,615 人(61.3%)、「3kg 以上減った」が 7,856 人(14.8%)であった。

男性の体重変化は、「3kg 以上増えた」が 5,549 人(23.5%)、「ほぼ変わらない(±3kg 以内)」が 14,708 人(62.3%)、「3kg 以上減った」が 3,351 人(14.2%)であった。

女性の体重変化は、「3kg 以上増えた」が 7,162 人(24.2%)、「ほぼ変わらない(±3kg 以内)」が 17,907 人(60.6%)、「3kg 以上減った」が 4,505 人(15.2%)であった。

3. 既往歴について（問3）

既往歴（今まで、次のような病気にかかっていると医師に診断されたことがありますか）は、表14のとおりであった。

表14 一般の傷病別の診断経験および通院状況（上段人数／下段割合）

傷病名	有効回答数	診断された経験		現在の通院状況	
		ない	ある	はい	いいえ
高血圧 （または、血圧が高い）	53,906	29,051 (53.9%)	24,855 (46.1%)	19,871 (81.4%)	4,532 (18.6%)
糖尿病 （または、血糖が高い）	52,973	40,983 (77.4%)	11,990 (22.6%)	6,069 (51.5%)	5,718 (48.5%)
高脂血症 （または、コレステロールや中性脂肪が高い）	53,049	31,920 (60.2%)	21,129 (39.8%)	11,333 (55.5%)	9,095 (44.5%)
がん （白血病やリンパ腫を含む）	52,651	49,798 (94.6%)	2,853 (5.4%)		
脳卒中	52,551	49,980 (95.1%)	2,571 (4.9%)		
（脳卒中の種類）複数回答					
脳こうそく			1,662		
脳出血			333		
くも膜下出血			247		
その他			42		
わからない			356		
心臓病	52,449	46,957 (89.5%)	5,492 (10.5%)		
（心臓病の種類）複数回答					
心筋梗塞			820		
狭心症			1,940		
その他			2,123		
わからない			791		
慢性肝炎	53,094	52,107 (98.1%)	987 (1.9%)		
（慢性肝炎の種類）複数回答					
B型肝炎			276		
C型肝炎			366		
その他			246		
肺炎 （この10年くらいの間で）	53,221	51,310 (96.4%)	1,911 (3.6%)		
50歳以後の骨折 （調査票記入時点で50歳以上の回答を集計）	36,843	32,590 (88.5%)	4,253 (11.5%)		
甲状腺疾患	52,989	51,267 (96.8%)	1,722 (3.2%)		
（甲状腺疾患種類）複数回答					
甲状腺機能亢進症（バセドウ病）			457		
甲状腺機能低下症			574		
その他			571		
精神疾患	53,002	48,122 (90.8%)	4,880 (9.2%)	3,042 (64.5%)	1,672 (35.5%)

一般用

4. 検査の経験について（問4）

- 1) CT検査の経験は、「ない」が26,962人(50.2%)、「ある」が24,686人(45.9%)、「わからない」が2,096人(3.9%)であった。
- 2) 透視検査の経験は、「ない」が19,856人(37.1%)、「ある」が32,497人(60.8%)、「わからない」が1,122人(2.1%)であった。
- 3) その他、血管造影検査、核医学検査、PET検査のいずれか経験は、「ない」が43,254人(81.5%)、「ある」が7,001人(13.2%)、「わからない」が2,839人(5.3%)であった。「ある」と回答した者のうち、「血管造影検査」が4,845人、「核医学検査」が632人、「PET検査」が1,498人であった。

5. 病気の治療のための放射線療法の経験について（問5）

病気の治療のための放射線療法の経験は、「ない」が50,636人(94.3%)、「ある」が1,064人(2.0%)、「わからない」が1,965人(3.7%)であった。

6. 日常生活機能について（問6）

- 1) 日常生活機能（それぞれの行為について、ひとりで行えるかどうかをお答えください）は、表15のとおりであった。

表15 一般の日常生活機能（人数（割合））

日常生活での行為	ひとりで行える	ひとりではできない	有効回答数
1. 介助なしに食事をする（食事のしたくは含まない）	53,579 (98.7%)	707 (1.3%)	54,286
2. 介助なしに衣服の着替えをする	53,083 (98.1%)	1,051 (1.9%)	54,134
3. 介助なしにトイレで用をたす	53,276 (98.4%)	850 (1.6%)	54,126
4. 日用品の買い物をする	50,933 (94.1%)	3,171 (5.9%)	54,104

- 2) レクリエーション活動（レクリエーション活動（カラオケやゲートボール等）や地域の仕事（お祭り等）へ参加することがありますか）は、「ない、めったにない」が33,202人(61.6%)、「ときどき参加する」が15,867人(29.4%)、「よく参加する」が4,849人(9.0%)であった。

7. 睡眠について（問7）

- 1) 睡眠時間は、平均で7時間8分であった。
- 2) 睡眠満足度は、「満足している」が17,686人(37.6%)、「少し不満」が21,488人(45.7%)、「かなり不満」が6,376人(13.6%)、「非常に不満か、全く眠れなかった」が1,469人(3.1%)であった。
- 3) 睡眠に関する経験（以下の経験が少なくとも週3回以上ありましたか）は、表16（次頁）のとおりであった。

表 16 一般の睡眠に関する経験(人数(割合))

	ある	ない	有効回答数
1. 夜、床に入ってから寝つくまでの時間がかかる	20,866 (44.1%)	26,413 (55.9%)	47,279
2. 夜間、睡眠途中で目が覚める	31,018 (65.3%)	16,477 (34.7%)	47,495
3. 希望する起床時刻より早く目覚め、それ以上眠れない	19,489 (41.7%)	27,286 (58.3%)	46,775
4. 総睡眠時間が不足する	16,964 (36.8%)	29,090 (63.2%)	46,054
5. 日中の気分がめいる	14,185 (31.0%)	31,588 (69.0%)	45,773
6. 日中の身体的および精神的な活動が低下する	15,328 (33.1%)	30,941 (66.9%)	46,269
7. 日中の眠気	23,190 (49.7%)	23,516 (50.3%)	46,706

8. 運動について (問 8)

運動は、「ほとんど毎日している」が 8,077 人(15.0%)、「週に 2~4 回している」が 11,852 人(22.0%)、「週 1 回程度している」が 8,415 人(15.7%)、「ほとんどしていない」が 25,413 人(47.3%)であった。

9. 笑う機会について (問 9)

笑う機会(普段の生活で、声を出して笑う機会はどのくらいありますか)は、「ほぼ毎日」が 15,293 人(28.2%)、「週に 1~5 回程度」が 21,759 人(40.1%)、「月に 1~3 回程度」が 10,350 人(19.1%)、「ほとんどない」が 6,810 人(12.6%)であった。

10. 喫煙について (問 10)

- 震災以前の喫煙(平成 23 年 3 月 11 日の震災以前に、タバコを吸っていましたか?)は、「吸っていなかった」が 36,217 人(70.8%)、「吸っていた」が 14,920 人(29.2%)であった。
- 喫煙(タバコ(紙巻きタバコ)を吸いますか? 葉巻やパイプは除きます。)は、「吸ったことがない」が 25,345 人(56.2%)、「やめた」が 10,520 人(23.4%)、「吸っている」が 9,182 人(20.4%)であった。
「吸っている」と回答した人のうち、平均 1 日本数は 16.5 本、平均喫煙年数は 27.7 年であった。
- 受動喫煙(この 10 年ほどの間に、家庭や職場などで人が吸ったタバコの煙を吸わされることがありましたか?)は、「毎日」が 9,753 人(22.4%)、「週 4~5 日程度」が 4,080 人(9.4%)、「ときどき」が 15,743 人(36.0%)、「めったにない」が 14,051 人(32.2%)であった。

一般用

一般用

11. 飲酒について (問 11)

- 震災以前の飲酒は、「飲んでいなかった、またはほとんど飲んでいなかった(月に 1 回未満)」が 27,213 人(53.2%)、「飲んでいて(月に 1 回以上)」が 23,903 人(46.8%)であった。
- 飲酒(お酒(アルコール飲料)を飲みますか)は、「飲まない、または、ほとんど飲まない(月に 1 回未満)」が 26,037 人(53.1%)、「やめた」が 1,596 人(3.3%)、「飲む(月に 1 回以上)」が 21,343 人(43.6%)であった。
「飲む(月に 1 回以上)」と回答した人のうち、種類別に飲む頻度は表 17 のとおりであった。
1 日あたりの平均飲酒量は、エタノール重量に換算すると 28.3g であり、日本酒 1.3 合と同程度であった。多量飲酒者(1 日にエタノール重量 43.2g(日本酒 2 合)以上)は、飲酒(問 11 の 2))の有効回答者 48,976 人のうち 4,842 人(9.9%)であった。

表 17 一般の種類別の飲酒頻度(上段人数/下段割合)

お酒の種類	飲まない	飲む頻度(当てはまるもの 1 つに✓)					計	
		週に 1 回未満	週に 1-2 回	週に 3-4 回	週に 5-6 回	毎日		
ビール	大瓶	4,586 (68.7%)	651 (9.7%)	347 (5.2%)	230 (3.4%)	172 (2.6%)	694 (10.4%)	6,680
	中瓶・中缶	3,260 (35.2%)	1,406 (15.2%)	1,302 (14.1%)	838 (9.1%)	570 (6.2%)	1,866 (20.2%)	9,242
	小瓶・小缶	3,128 (32.7%)	1,799 (18.8%)	1,412 (14.7%)	901 (9.4%)	584 (6.1%)	1,750 (18.3%)	9,574
日本酒	4,462 (41.8%)	1,904 (17.9%)	1,246 (11.7%)	825 (7.7%)	531 (5.0%)	1,693 (15.9%)	10,661	
焼酎	3,340 (27.0%)	1,893 (15.3%)	1,593 (12.9%)	1,182 (9.5%)	906 (7.3%)	3,463 (28.0%)	12,377	
ワイン	5,004 (59.9%)	1,843 (22.1%)	740 (8.9%)	346 (4.1%)	152 (1.8%)	264 (3.2%)	8,349	
洋酒*	シングル	6,234 (85.0%)	512 (7.0%)	222 (3.0%)	113 (1.5%)	58 (0.8%)	196 (2.7%)	7,335
	ダブル	6,381 (88.3%)	322 (4.5%)	147 (2.0%)	84 (1.2%)	48 (0.7%)	236 (3.3%)	7,218

※ 洋酒:ウイスキーやブランデー等

- 飲酒に関する経験(過去 30 日間を振り返って、次のことについてお尋ねします(CAGE:アルコール依存尺度))の回答状況は、表 18(次頁)のとおりであった。「はい」という回答を 1 点とし、4 項目の合計点を算出した。0 点が 11,528 人(59.6%)、1 点が 4,506 人(23.3%)、2 点が 2,005 人(10.4%)、3 点が 938 人(4.9%)、4 点が 354 人(1.8%)であった。
男性では、0 点が 6,623 人(52.3%)、1 点が 3,421 人(27.1%)、2 点が 1,578 人(12.5%)、3 点が 740 人(5.9%)、4 点が 274 人(2.2%)であり、女性では、0 点が 4,905 人(73.2%)、1 点が 1,085 人(16.2%)、2 点が 427 人(6.4%)、3 点が 198 人(3.0%)、4 点が 80 人(1.2%)であった。
年代別の結果は、表 19(次頁)のとおりであった。

表 18 飲酒に関する経験(上段人数/下段割合)

		いいえ	はい	有効 回答数
1	飲酒量を減らさなければならぬと感じたことがありますか?	13,093 (66.8%)	6,504 (33.2%)	19,597
2	他人があなたの飲酒を批難するので気にさわったことがありますか?	17,446 (89.9%)	1,956 (10.1%)	19,402
3	自分の飲酒について悪いとか申し訳ないと感じたことがありますか?	16,745 (86.0%)	2,721 (14.0%)	19,466
4	神経を落ち着かせたり、二日酔いを治すために、「迎え酒」をしたことがありますか?	17,638 (90.6%)	1,821 (9.4%)	19,459

※回答数が異なるため、合計が一致しない場合がある。

表 19 年代別の飲酒に関する経験(上段人数/下段割合)

	0点	1点	2点	3点	4点	有効 回答数
20代	797 (70.8%)	194 (17.2%)	83 (7.4%)	31 (2.8%)	20 (1.8%)	1,125
30代	1,712 (65.2%)	462 (17.6%)	243 (9.2%)	145 (5.5%)	66 (2.5%)	2,628
40代	1,636 (59.5%)	601 (21.8%)	306 (11.1%)	140 (5.1%)	68 (2.5%)	2,751
50代	2,251 (58.2%)	949 (24.5%)	430 (11.1%)	173 (4.5%)	66 (1.7%)	3,869
60代	2,964 (56.2%)	1,370 (25.9%)	585 (11.1%)	276 (5.2%)	85 (1.6%)	5,280
70代以上	2,168 (59.0%)	930 (25.3%)	358 (9.7%)	173 (4.7%)	49 (1.3%)	3,678
全体	11,528 (59.6%)	4,506 (23.3%)	2,005 (10.4%)	938 (4.9%)	354 (1.8%)	19,331

一般用

12. 食生活について(問 12)

食品(飲料)を食べる(飲む)頻度は、表 20 のとおりであった。

表 20 一般の食品(飲料)および朝食を食べる(飲む)頻度(上段人数/下段割合)

	食べ ない	週に 1回未満	週に 1-2回	週に 3-4回	週に 5-6回	毎日	計	
ごはん	689 (1.3%)	433 (0.8%)	1,110 (2.1%)	2,767 (5.1%)	4,594 (8.5%)	44,170 (82.2%)	53,763	
パン	6,663 (13.5%)	13,580 (27.6%)	13,234 (26.9%)	6,517 (13.2%)	2,770 (5.6%)	6,530 (13.2%)	49,294	
魚料理	1,194 (2.3%)	5,444 (10.3%)	16,619 (31.3%)	18,462 (34.7%)	5,199 (9.8%)	6,138 (11.6%)	53,056	
肉類	とりにく	3,771 (7.4%)	13,944 (27.5%)	21,947 (43.4%)	8,974 (17.7%)	1,204 (2.4%)	829 (1.6%)	50,669
	牛肉、豚肉	2,538 (4.9%)	9,439 (18.1%)	22,224 (42.5%)	14,599 (28.0%)	2,354 (4.5%)	1,065 (2.0%)	52,219
	ハム、ソーセージ	5,468 (10.7%)	17,385 (34.2%)	17,424 (34.3%)	7,647 (15.0%)	1,604 (3.2%)	1,346 (2.6%)	50,874
野菜	緑の葉の野菜	1,286 (2.4%)	5,495 (10.3%)	12,874 (24.1%)	14,896 (27.9%)	7,513 (14.1%)	11,286 (21.2%)	53,350
	赤や黄色の野菜	1,319 (2.5%)	6,472 (12.2%)	14,601 (27.5%)	15,431 (29.0%)	7,044 (13.2%)	8,307 (15.6%)	53,174
	淡色野菜	750 (1.4%)	3,219 (6.1%)	10,575 (19.9%)	16,702 (31.4%)	9,661 (18.2%)	12,216 (23.0%)	53,123
	野菜ジュース	22,436 (44.0%)	12,892 (25.3%)	6,800 (13.3%)	3,792 (7.4%)	1,653 (3.2%)	3,495 (6.8%)	51,068
果物	くだもの	3,854 (7.3%)	9,519 (18.0%)	11,311 (21.3%)	10,127 (19.1%)	5,534 (10.4%)	12,677 (23.9%)	53,022
	果物ジュース	20,753 (41.4%)	14,449 (28.9%)	7,821 (15.6%)	3,736 (7.5%)	1,266 (2.5%)	2,029 (4.1%)	50,054
大豆	納豆	5,270 (9.9%)	9,743 (18.4%)	13,879 (26.2%)	10,766 (20.3%)	4,995 (9.4%)	8,379 (15.8%)	53,032
	味噌汁	1,786 (3.3%)	3,247 (6.1%)	5,703 (10.6%)	8,372 (15.6%)	7,178 (13.4%)	27,342 (51.0%)	53,628
	とうふ料理	1,897 (3.6%)	8,433 (15.9%)	15,923 (30.0%)	14,452 (27.2%)	6,527 (12.3%)	5,815 (11.0%)	53,047
	煮豆料理	14,948 (29.0%)	20,152 (39.0%)	9,426 (18.3%)	4,154 (8.0%)	1,458 (2.8%)	1,479 (2.9%)	51,617
牛乳	14,756 (28.6%)	8,667 (16.7%)	6,987 (13.5%)	5,803 (11.2%)	3,336 (6.4%)	12,247 (23.6%)	51,796	
豆乳	35,877 (71.6%)	7,333 (14.7%)	2,679 (5.4%)	1,510 (3.0%)	835 (1.7%)	1,804 (3.6%)	50,038	
ヨーグルト、乳酸菌飲料	8,126 (15.4%)	9,451 (17.9%)	9,530 (18.0%)	7,682 (14.5%)	4,536 (8.6%)	13,491 (25.6%)	52,816	
朝食	2,414 (4.6%)	652 (1.2%)	1,132 (2.1%)	1,724 (3.3%)	2,125 (4.0%)	44,744 (84.8%)	52,791	

※ 各項目に欠損値があるため、合計は一致しない場合がある。

13. 全般的な精神健康状態について (問 13)

- 1) 全般的な精神健康状態(K6)は、有効回答 45,229 人のうち、13 点^{※1}以上が 5,293 人(11.7%)、17 点^{※2}以上が 2,356 人(5.2%)であった(図 7)。平均点は 5.7 点であった。
 男性では有効回答 20,157 人のうち、13 点以上が 1,971 人(9.8%)、17 点以上が 866 人(4.3%)であり、女性では有効回答 25,072 人のうち、13 点以上が 3,322 人(13.2%)、17 点以上が 1,490 人(5.9%)であった(図 8)。男性の平均点は 5.0 点、女性の平均点は 6.2 点であった。
 年齢階級別は、表 21(次頁)のとおりである。

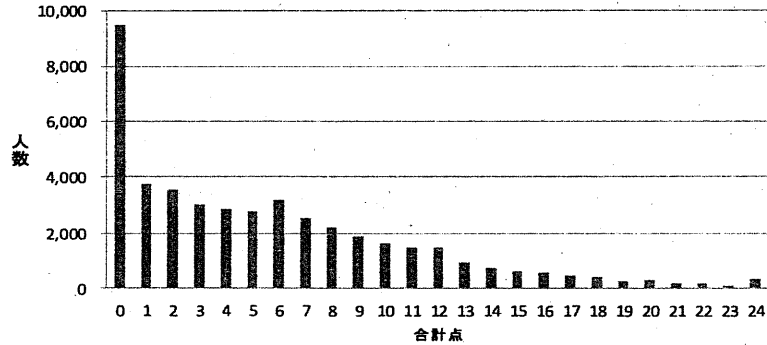


図 7 全般的な精神健康状態(K6):全体

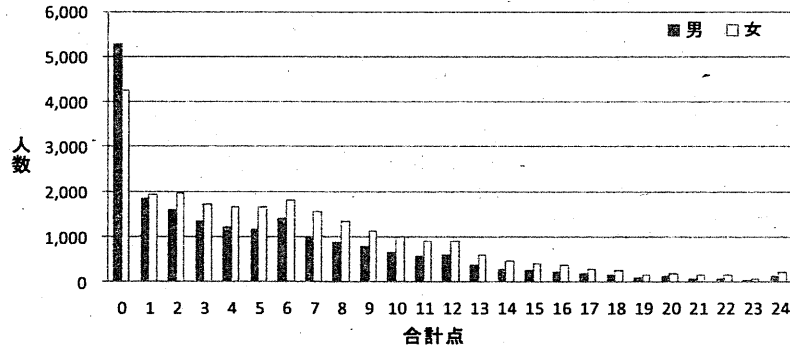


図 8 全般的な精神健康状態(K6):男女別

表 21 全般的な精神健康状態(K6):年齢階級別 (人数(割合))

	13 点以上	17 点以上	有効回答数
10 代	111 (7.6%)	49 (3.4%)	1,459
20 代	327 (11.2%)	153 (5.2%)	2,917
30 代	626 (11.1%)	264 (4.7%)	5,619
40 代	586 (11.3%)	241 (4.6%)	5,206
50 代	936 (11.7%)	376 (4.7%)	8,000
60 代	1,229 (10.9%)	557 (4.9%)	11,279
70 代以上	1,478 (13.8%)	716 (6.7%)	10,749

※1 13 点:先行研究で示されている基準

※2 17 点:福島県立医科大学の医師等が支援を行うために設けた基準

- 2) こうした経験・不調が原因で、日常生活に支障があったかどうかは、「全くない」が 26,759 人(56.9%)、「少しだけ」が 11,676 人(24.9%)、「ときどき」が 5,529 人(11.8%)、「たいてい」が 1,344 人(2.9%)、「いつも」が 1,646 人(3.5%)であった。

14. 震災で経験したことについて (問 14)

- 1) 震災にて経験したこと(複数回答)は、「津波」が 10,726 人、「地震」が 49,517 人、「原子力発電所事故」が 48,527 人、「いずれもなし」が 338 人であった。
 2) 震災にて経験したことが命を脅かすような経験であったかどうかについては、「はい」が 31,264 人(62.5%)、「いいえ」が 18,737 人(37.5%)であった。

15. ト라우マ反応について (問 15)

- 1) ト라우マ反応(PCL)は、有効回答 43,743 人のうち、44 点^{※3}以上が 7,633 人(17.4%)、61 点^{※4}以上が 2,223 人(5.1%)であった(図 9(次頁))。平均点は 31.3 点であった。
 男性では有効回答 19,431 人のうち、44 点以上が 3,057 人(15.7%)、61 点以上が 871 人(4.5%)であり、女性では有効回答 24,312 人のうち、44 点以上が 4,576 人(18.8%)、61 点以上が 1,352 人(5.6%)であった(図 10(次頁))。男性の平均点は 30.2 点、女性の平均点は 32.2 点であった。
 年齢階級別は、表 22(次頁)のとおりである。
 2) こうした経験・不調が原因で、日常生活に支障があったかどうかは、「はい」が 10,654 人(24.1%)、「いいえ」が 33,531 人(75.9%)であった。

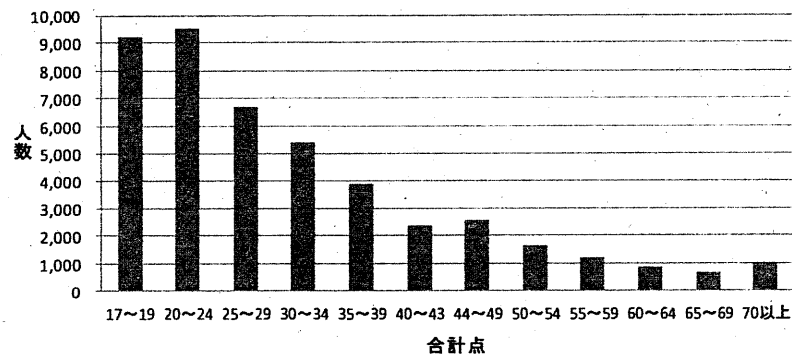


図9 一般のトラウマ反応(PCL):全体

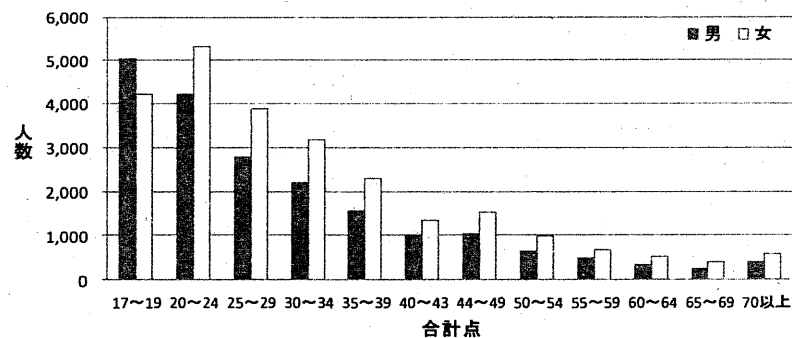


図10 一般のトラウマ反応(PCL):男女別

表22 一般のトラウマ反応(PCL):年齢階級別 (人数(割合))

	44点以上	61点以上	有効回答数
10代	87 (6.0%)	23 (1.6%)	1,452
20代	334 (11.5%)	89 (3.1%)	2,901
30代	740 (13.3%)	205 (3.7%)	5,578
40代	710 (13.8%)	179 (3.5%)	5,149
50代	1,177 (15.1%)	313 (4.0%)	7,793
60代	1,882 (17.4%)	522 (4.8%)	10,816
70代以上	2,703 (26.9%)	892 (8.9%)	10,054

※3 44点:先行研究で示されている基準

※4 61点:福島県立医科大学の医師等が支援を行うために設けた基準

16. 日常生活への支障について (問16)

- この1ヶ月間、日常生活に支障をきたした頻度は、「しばしばあった」が2,034人(19.7%)、「時々あった」が5,131人(49.8%)、「まれにあった」が2,526人(24.5%)、「1度もなかった」が622人(6.0%)であった。
- 仕事、学業、家事などへの支障は、「全く支障なし」が440人(4.8%)、「軽度」が4,007人(43.4%)、「中等度」が3,144人(34.1%)、「重度」が856人(9.3%)、「極めて支障あり」が772人(8.4%)であった。
- 人付き合いや余暇の過ごし方への支障は、「全く支障なし」が539人(5.8%)、「軽度」が3,737人(40.0%)、「中等度」が3,293人(35.3%)、「重度」が1,001人(10.7%)、「極めて支障あり」が770人(8.2%)であった。
- 家族内のコミュニケーションや役割への支障は、「全く支障なし」が876人(9.4%)、「軽度」が3,588人(38.4%)、「中等度」が2,965人(31.7%)、「重度」が1,061人(11.4%)、「極めて支障あり」が851人(9.1%)であった。

17. 現在の生活状況について (問17)

- 震災のため、もともと同居していた家族と、離れて生活しているかどうかについては、「はい」が20,054人(37.8%)、「いいえ」が32,980人(62.2%)であった。
- 同居の人数(自分を含めて)は、震災前が、「1人」が3,262人(6.6%)、「2人」が10,565人(21.2%)、「3人」が9,744人(19.6%)、「4人」が8,846人(17.8%)、「5人」が6,450人(13.0%)、「6人」が5,445人(11.0%)、「7人」が3,304人(6.7%)、「8人」が1,319人(2.7%)、「9人」が441人(0.9%)、「10人以上」が234人(0.5%)であった。現在は、「1人(ひとり暮らし)」が7,179人(13.9%)、「2人」が17,304人(33.4%)、「3人」が10,842人(21.0%)、「4人」が7,628人(14.8%)、「5人」が4,174人(8.1%)、「6人」が2,518人(4.9%)、「7人」が1,289人(2.5%)、「8人」が473人(0.9%)、「9人」が155人(0.3%)、「10人以上」が98人(0.2%)であった。
- 震災後に住んだ場所(複数回答)は、「避難所」が20,744人、「仮設住宅」が9,819人、「借家・アパート」が25,652人、「親戚宅」が23,122人、「持家」が16,274人、「その他」が5,968人であった。
- 震災から現在までの転居回数は、0回が5,586人(11.3%)、1回が5,960人(12.0%)、2回が6,866人(13.8%)、3回が8,768人(17.7%)、4回が8,055人(16.2%)、5回以上が14,403人(29.0%)であった。
- 勤務形態は、「常勤・自営」が16,611人(32.8%)、「パート」が4,403人(8.7%)、「無職(学生、専業主婦を含む)」が29,558人(58.5%)であった。
- 仕事の状況(震災や原発事故によってお仕事の状況は変わりましたか)は、「変わった」が22,151人(48.8%)、「変わらない」が23,196人(51.2%)であった。
- 「変わった」と回答した者のうち、どのように変わったか(複数回答)については、「新しく仕事を始めた」が2,675人、「失業した」が11,005人、「転職した」が2,521人、「同じ会社・組織内での配置換え」が3,729人、「その他」が4,750人であった。

8) 現在の暮らし向きを総合的にみてどう感じているかについては、「苦しい」が 8,259 人(16.5%)、「やや苦しい」が 15,352 人(30.7%)、「普通」が 24,576 人(49.3%)、「ややゆとりがある」が 1,279 人(2.6%)、「ゆとりがある」が 468 人(0.9%)であった。

18. 人とのつながりについて (問 18)

現在の生活における人とのつながり(LSNS-6)については、有効回答 47,074 人のうち、12 点未満が 17,849 人(37.9%)であった(図 11)。平均点は 13.4 点であった。

男性では有効回答 20,666 人のうち、12 点未満が 8,244 人(39.9%)であり、女性では有効回答 26,408 人のうち、12 点未満が 9,605 人(36.4%)であった(図 12)。男性の平均点は 13.1 点、女性の平均点は 13.6 点であった。

年齢階級別は、表 23(次頁)のとおりである。

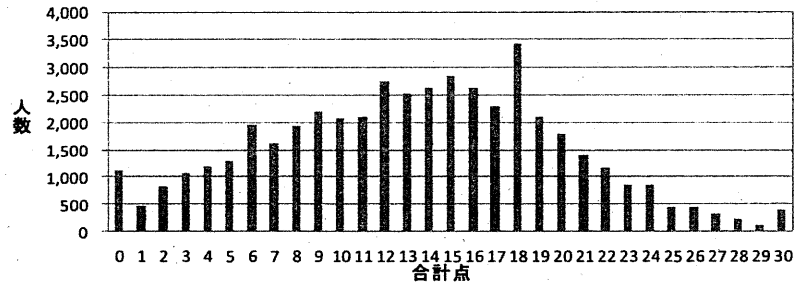


図 11 人とのつながり(LSNS-6):全体

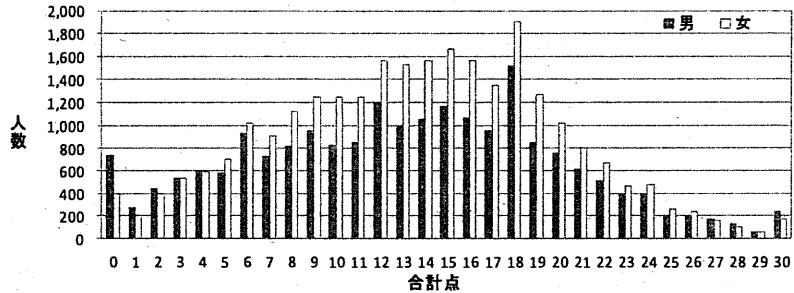


図 12 人とのつながり(LSNS-6):男女別

表 23 人とのつながり(LSNS-6):年齢階級別 (人数(割合))

	12 点未満	12 点以上	有効回答数
10 代	332 (27.0%)	899 (73.0%)	1,231
20 代	1,088 (39.2%)	1,689 (60.8%)	2,777
30 代	2,631 (48.2%)	2,828 (51.8%)	5,459
40 代	2,841 (53.7%)	2,453 (46.3%)	5,294
50 代	3,571 (46.3%)	4,142 (53.7%)	7,713
60 代	4,157 (35.3%)	7,621 (64.7%)	11,778
70 代以上	3,229 (25.2%)	9,593 (74.8%)	12,822

※ 12 点: 先行研究で示されている基準

19. 放射線の健康影響についての認識について (問 19)

放射線の健康影響についての認識は、表 24 のとおりであった。

表 24 放射線の健康影響についての認識(上段人数/下段割合)

		可能性は極めて低い	←	→	可能性は非常に高い	有効回答数
1	原発事故当初から現在までの放射線被ばくで、急性の放射線障害(例えば、脱毛、皮膚のただれ、鼻血など)がどのくらい起こると思いますか?	26,442 (58.1%)	10,366 (22.8%)	4,572 (10.1%)	4,100 (9.0%)	45,480
2	現在の放射線被ばくで、後年に生じる健康障害(例えば、がんの発症など)がどのくらい起こると思いますか?	13,980 (30.8%)	13,566 (29.9%)	9,195 (20.2%)	8,692 (19.1%)	45,433
3	現在の放射線被ばくで、次世代以降の人(将来生まれてくる自分の子や孫など)への健康影響がどのくらい起こると思いますか?	10,779 (23.9%)	12,685 (28.0%)	10,475 (23.2%)	11,241 (24.9%)	45,180

平成 24 年度 県民健康管理調査

「こころの健康度・生活習慣に関する調査」

資 料

平成 24 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（0 歳～3 歳用）」資料

	人数	割合
性別 (平均年齢 2.0歳)	(有効回答 2,143人)	-男児 1,056 49.3% -女児 1,087 50.7%
住所別	(有効回答 2,143人)	-県内 1,423 66.4% -県外 720 33.6%
問1 健康状態	(有効回答 2,122人)	-きわめて良好 564 26.6% -良好 897 42.2% -普通 630 29.7% -悪い 29 1.4% -きわめて悪い 2 0.1%
問2 身長と体重	(性別年齢階級別 ※本文中に掲載)	-
問3 治療中の病気	(有効回答 2,131人)	-ない 1,428 67.0% -ある 703 33.0% (内訳 ※本文中に掲載)
問4 入院の経験	(有効回答 2,132人)	-ない 1,622 76.1% -ある 510 23.9% (内訳 ※本文中に掲載)
問5 検査の経験		
1) CT検査	(有効回答 2,139人)	-ない 2,009 94.0% -ある 95 4.4% -わからない 35 1.6%
2) その他、X線を使った検査	(有効回答 2,117人)	-ない 1,796 84.9% -ある(※ある場合の検査内容) 223 10.5% (透視検査) (187) - (血管造影) (7) - (核医学検査) (2) - -わからない 98 4.6%
問6 放射線療法の経験	(有効回答 2,134人)	-ない 2,103 98.5% -ある 0 0.0% -わからない 31 1.5%
問7 睡眠時間と昼寝の有無		
1) 睡眠時間	(有効回答 2,130人)	-平均睡眠時間 10時間 0分 -平均就寝時刻 午後 9時 9分 -平均起床時刻 午前 7時 8分
2) 昼寝の有無	(有効回答 2,119人)	-いいえ 272 12.8% -はい 1,847 87.2% (平均昼寝時間 1時間54分)
問8 普段の運動量	(有効回答 1,402人)	-ほとんど毎日している 410 29.2% -週に2～4回している 426 30.4% -週1回程度している 192 13.7% -ほとんどしていない 374 26.7%
問9 食生活		
1) 母乳による授乳	(有効回答 2,030人)	-はい 276 13.6% -いいえ 1,754 86.4%
2) 食品等を食べる頻度	-	-本文中に掲載 -
問10 育児	(有効回答 2,138人)	-はい 317 14.8% -いいえ 940 44.0% -何ともいえない 881 41.2%

※()は内数

平成 24 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（4 歳～6 歳用）」資料

	人数	割合
性別 (平均年齢 4.9歳)	(有効回答 2,230人)	-男児 1,127 50.5% -女児 1,103 49.5%
住所別	(有効回答 2,230人)	-県内 1,546 69.3% -県外 684 30.7%
問1 健康状態	(有効回答 2,206人)	-きわめて良好 476 21.6% -良好 940 42.6% -普通 750 34.0% -悪い 40 1.8% -きわめて悪い 0 0.0%
問2 身長と体重	(性別年齢階級別 ※本文中に掲載)	-
問3 治療中の病気	(有効回答 2,210人)	-ない 1,313 59.4% -ある 897 40.6% (内訳 ※本文中に掲載)
問4 入院の経験	(有効回答 2,218人)	-ない 1,565 70.6% -ある 653 29.4% (内訳 ※本文中に掲載)
問5 検査の経験		
1) CT検査	(有効回答 2,223人)	-ない 2,014 90.6% -ある 150 6.7% -わからない 59 2.7%
2) その他、X線を使った検査	(有効回答 2,204人)	-ない 1,706 77.4% -ある(※ある場合の検査内容) 381 16.4% (透視検査) (308) - (血管造影) (19) - (核医学検査) (4) - -わからない 137 6.2%
問6 放射線療法の経験	(有効回答 2,221人)	-ない 2,172 97.8% -ある 2 0.1% -わからない 47 2.1%
問7 睡眠時間と昼寝の有無		
1) 睡眠時間	(有効回答 2,218人)	-平均睡眠時間 9時間45分 -平均就寝時刻 午後9時6分 -平均起床時刻 午前6時51分
2) 昼寝の有無	(有効回答 2,212人)	-いいえ 1,384 62.6% -はい 828 37.4% (平均昼寝時間 1時間33分)
問8 普段の運動量	(有効回答 2,208人)	-ほとんど毎日している 843 38.1% -週に2～4回している 719 32.6% -週1回程度している 315 14.3% -ほとんどしていない 331 15.0%
問9 食生活		
食品等を食べる頻度	-	-本文中に掲載 -
問10 SDQ	(有効回答 2,221人)	-平均総合得点 10.3点
	(有効回答 1,119人)	-平均総合得点 男 10.8点
	(有効回答 1,102人)	-平均総合得点 女 9.7点
		-16点以上 366 16.5% (男) (206) - (女) (160) - -20点以上 131 5.9% (男) (78) - (女) (53) -

※()は内数

平成 24 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（小学生用）」資料

	人数	割合
性別 (有効回答 4,683人)		
・男児	2,431	51.9%
・女児	2,252	48.1%
(平均年齢 9.4歳)		
住所別 (有効回答 4,683人)		
・県内	3,401	72.6%
・県外	1,282	27.4%
問1 健康状態 (有効回答 4,634人)		
・きわめて良好	963	20.8%
・良好	1,947	42.0%
・普通	1,630	35.2%
・悪い	88	1.9%
・きわめて悪い	6	0.1%
問2 身長と体重 (有効回答 4,270人)		
・平均身長 136.3cm		—
(有効回答 4,333人)		
・平均体重 33.4kg		—
(性別年齢階級別 ※本文中に掲載)		
問3 治療中の病気 (有効回答 4,650人)		
・ない	2,978	64.0%
・ある	1,672	36.0%
(内訳 ※本文中に掲載)		
問4 入院の経験 (有効回答 4,654人)		
・ない	2,979	64.0%
・ある	1,675	36.0%
(内訳 ※本文中に掲載)		
問5 検査の経験 (有効回答 4,669人)		
1) CT検査		
・ない	3,923	84.0%
・ある	569	12.2%
・わからない	177	3.8%
2) その他、X線を使った検査 (有効回答 4,557人)		
・ない	3,593	78.9%
・ある(※ある場合の検査内容)	661	14.5%
(透視検査)	(557)	—
(血管造影)	(42)	—
(核医学検査)	(16)	—
・わからない	303	6.6%
問6 放射線療法の経験 (有効回答 4,651人)		
・ない	4,549	97.8%
・ある	4	0.1%
・わからない	98	2.1%
問7 睡眠時間 (有効回答 4,659人)		
・平均睡眠時間 8時間53分		
・平均就寝時刻 午後9時27分		
・平均起床時刻 午前6時20分		
問8 普段の運動量 (有効回答 4,670人)		
・ほとんど毎日している	315	6.7%
・週に2~4回している	1,254	26.9%
・週1回程度している	995	21.3%
・ほとんどしていない	2,106	45.1%
問9 食生活 —		
・本文中に掲載		—
問10 SDQ (有効回答 4,673人)		
・平均総合得点 9.8点		
(有効回答 2,425人)		
・平均総合得点 男 10.3点		
(有効回答 2,248人)		
・平均総合得点 女 9.2点		
・16点以上	760	16.3%
(男)	(464)	—
(女)	(296)	—
・20点以上	300	6.4%
(男)	(190)	—
(女)	(110)	—

※()は内数

平成 24 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（中学生用）」資料

	人数	割合
性別 (有効回答 2,118人)		
・男子	1,043	49.2%
(平均年齢 13.9歳)		
・女子	1,075	50.8%
住所別 (有効回答 2,118人)		
・県内	1,682	79.4%
・県外	436	20.6%
問1 健康状態 (有効回答 1,380人)		
・きわめて良好	355	25.7%
・良好	474	34.3%
・普通	504	36.6%
・悪い	39	2.8%
・きわめて悪い	8	0.6%
問2 身長と体重 (有効回答 1,351人)		
・平均身長 159.4cm		—
(有効回答 1,337人)		
・平均体重 51.8kg		—
(性別年齢階級別 ※本文中に掲載)		
問3 睡眠 (有効回答 1,384人)		
1) 睡眠時間 (有効回答 1,384人)		
・平均睡眠時間 7時間9分		
2) 睡眠(最近)1カ月間 (有効回答 1,376人)		
・十分だと思う	587	41.2%
・やや足りない	665	48.3%
・足りない	144	10.5%
問4 運動 (有効回答 1,386人)		
・ほとんど毎日している	573	41.4%
・週に2~4回している	236	17.0%
・週1回程度している	101	7.3%
・ほとんどしていない	476	34.3%
問5 食生活 —		
・本文中に掲載		—
問6 震災での経験 ※複数回答		
・地震	1,363	—
・津波	197	—
・原子力発電所事故(爆発音を聞いた)	1,300	—
・いずれもなし	3	—
問7 治療中の病気 (有効回答 2,094人)		
・ない	1,485	70.9%
・ある	609	29.1%
(内訳 ※本文中に掲載)		
問8 入院の経験 (有効回答 2,092人)		
・ない	1,367	65.3%
・ある	725	34.7%
(内訳 ※本文中に掲載)		
問9 検査の経験 (有効回答 2,095人)		
1) CT検査		
・ない	1,692	80.8%
・ある	323	15.4%
・わからない	80	3.8%
2) その他、X線を使った検査 (有効回答 2,062人)		
・ない	1,608	78.0%
・ある(※ある場合の検査内容)	319	15.5%
(透視検査)	(276)	—
(血管造影)	(23)	—
(核医学検査)	(2)	—
・わからない	135	6.5%
問10 放射線療法の経験 (有効回答 2,094人)		
・ない	2,040	97.4%
・ある	6	0.3%
・わからない	48	2.3%
問11 SDQ (有効回答 2,094人)		
・平均総合得点 8.7点		
(有効回答 1,035人)		
・平均総合得点 男 8.7点		
(有効回答 1,059人)		
・平均総合得点 女 8.7点		
・16点以上	258	12.3%
(男)	(130)	—
(女)	(128)	—
・20点以上	130	6.2%
(男)	(68)	—
(女)	(62)	—

※()は内数

平成 24 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（一般用）」資料

	人数	割合
性別 (有効回答 55,064人)		
・男性	24,352	44.2%
・女性	30,712	55.8%
住所別 (有効回答 55,064人)		
・県内	45,748	83.1%
・県外	9,316	16.9%
問1 健康状態 (有効回答 47,225人)		
・きわめて良好	1,851	3.9%
・良好	7,400	15.7%
・普通	29,528	62.5%
・悪い	7,727	16.4%
・きわめて悪い	719	1.5%
問2 身長と体重 (有効回答 52,431人)		
・平均身長 159.1cm		
(有効回答 52,011人)		
・平均体重 59.6kg		
(有効回答 51,344人)		
・平均BMI 23.5kg/m ²		
(性別年齢階級別 ※本文中に掲載)		
問3 既往歴	—	—
・本文中に掲載		
問4 検査の経験		
1) CT検査 (有効回答 53,744人)		
・ない	26,962	50.2%
・ある	24,686	45.9%
・わからない	2,098	3.9%
2) 透視検査 (有効回答 53,475人)		
・ない	19,856	37.1%
・ある	32,497	60.8%
・わからない	1,122	2.1%
3) その他検査 (有効回答 53,094人)		
・ない	43,254	81.5%
・ある(※ある場合の検査内容)	7,001	13.2%
(血管造影検査)	(4,845)	—
(核医学検査)	(632)	—
(PET検査)	(1,498)	—
・わからない	2,839	5.3%
問5 放射線療法の経験 (有効回答 53,665人)		
・ない	50,636	94.3%
・ある	1,064	2.0%
・わからない	1,965	3.7%
問6 日常生活機能		
1) 日常生活機能	—	—
・本文中に掲載		
2) レクリエーション参加 (有効回答 53,918人)		
・ない、めったにない	33,202	61.6%
・ときどき参加する	15,867	29.4%
・よく参加する	4,849	9.0%
問7 睡眠		
1) 睡眠時間 (有効回答 52,657人)		
・平均睡眠時間 7時間 8分		
2) 睡眠(最近)1カ月間 (有効回答 47,019人)		
・満足している	17,686	37.6%
・少し不満	21,488	45.7%
・かなり不満	6,376	13.6%
・非常に不満か、全く眠れなかった	1,469	3.1%
3) 睡眠に関する経験	—	—
・本文中に掲載		
問8 運動 (有効回答 53,757人)		
・ほとんど毎日している	8,077	15.0%
・週に2～4回している	11,852	22.0%
・週1回程度している	8,415	15.7%
・ほとんどしていない	25,413	47.3%
問9 笑う機会 (有効回答 54,212人)		
・ほぼ毎日	15,293	28.2%
・週に1～5回程度	21,759	40.1%
・月に1～3回程度	10,350	19.1%
・ほとんどない	6,810	12.6%

※()は内数

	人数	割合
問10 喫煙		
1) 喫煙(震災以前) (有効回答 51,137人)		
・吸っていなかった	36,217	70.8%
・吸っていた	14,920	29.2%
2) 喫煙 (有効回答 45,047人)		
・吸ったことがない	25,345	56.2%
・やめた	10,520	23.4%
・吸っている	9,182	20.4%
(平均1日本数 16.5本)		—
(平均喫煙年数 27.7年)		—
3) 受動喫煙 (有効回答 43,627人)		
・毎日	9,753	22.4%
・週4～5日程度	4,080	9.4%
・ときどき	15,743	36.0%
・めったにない	14,051	32.2%
問11 お酒		
1) アルコール飲料の飲酒 (有効回答 51,116人)		
(震災以前)		
・飲んでいなかった、または、ほとんど飲んでいなかった	27,213	53.2%
・飲んでいた(月1回以上)	23,903	46.8%
2) アルコール飲料の飲酒 (有効回答 48,976人)		
・飲まない、または、ほとんど飲まない	26,037	53.1%
・やめた	1,596	3.3%
・飲む(月1回以上)	21,343	43.6%
(飲む酒類と頻度 ※本文中に掲載)		—
3) 飲酒に関する経験 (有効回答 19,331人)		—
・本文中に掲載		—
問12 食生活 ※複数回答		
・本文中に掲載		—
問13 精神健康状態(K6)		
1) 精神健康状態(K6) (有効回答 45,229人)		
・平均点 5.7点		
(有効回答 20,157人)		
・平均点 男 5.0点		
(有効回答 25,072人)		
・平均点 女 6.2点		
・13点以上	5,293	11.7%
(男)	(1,971)	—
(女)	(3,322)	—
(年齢階級別 ※本文中に掲載)		—
・17点以上	2,356	5.2%
(男)	(866)	—
(女)	(1,490)	—
(年齢階級別 ※本文中に掲載)		—
2) 日常生活での支障の程度 (有効回答 46,954人)		
・全くない	26,759	56.9%
・少しだけ	11,676	24.9%
・ときどき	5,929	11.8%
・たいてい	1,344	2.9%
・いつも	1,646	3.5%
問14 東日本大震災について		
1) 震災での経験 ※複数回答		
・地震	49,517	—
・津波	10,726	—
・原子力発電所事故(爆発音を聞いた)	48,527	—
・いづれもなし	338	—
2) 命を脅かすような経験 (有効回答 50,001人)		
・はい	31,264	62.5%
・いいえ	18,737	37.5%
問15 トラウマ反応(PCL)		
1) トラウマ反応(PCL) (有効回答 43,743人)		
(有効回答 19,431人)		
(有効回答 24,312人)		
・平均点 31.3点		
・平均点 男 30.2点		
・平均点 女 32.2点		
・4.4点以上	7,633	17.4%
(男)	(3,057)	—
(女)	(4,576)	—
(年齢階級別 ※本文中に掲載)		—
・6.1点以上	2,223	5.1%
(男)	(871)	—
(女)	(1,352)	—
(年齢階級別 ※本文中に掲載)		—
2) 日常生活での支障の有無 (有効回答 44,185人)		
・はい	10,654	24.1%
・いいえ	33,531	75.9%
問16 日常生活への支障(PCL)		
1) 日常生活での支障の頻度 (有効回答 10,313人)		
・しばしばあった	2,034	19.7%
・時々あった	5,131	49.8%
・まれにあった	2,526	24.5%
・1度もなかった	622	6.0%

※()は内数

		人数	割合
問16 日常生活への支障(PCI)			
2) 仕事/学業での支障の程度	(有効回答 9,219人)		
		・全く支障なし	440 4.8%
		・軽度	4,007 43.4%
		・中等度	3,144 34.1%
		・重度	856 9.3%
		・極めて支障あり	772 8.4%
3) 社会生活での支障の程度	(有効回答 9,340人)	・全く支障なし	539 5.8%
		・軽度	3,737 40.0%
		・中等度	3,293 35.3%
		・重度	1,001 10.7%
		・極めて支障あり	770 8.2%
4) 家族内のコミュニケーションや役割での支障の程度	(有効回答 9,341人)	・全く支障なし	876 9.4%
		・軽度	3,588 38.4%
		・中等度	2,965 31.7%
		・重度	1,061 11.4%
		・極めて支障あり	851 9.1%
問17 現在の生活状況について			
1) 家族との生活状況	(有効回答 53,034人)	・はい	20,054 37.8%
		・いいえ	32,980 62.2%
2) 同居人数	(有効回答 49,810人)	・1人(ひとり暮らし)	3,282 6.6%
震災前		・2人	10,565 21.3%
		・3人以上	35,783 72.1%
		※詳細は本文中に掲載	
現在	(有効回答 51,660人)	・1人(ひとり暮らし)	7,179 13.9%
		・2人	17,304 33.5%
		・3人以上	27,177 52.6%
		※詳細は本文中に掲載	
3) 震災後に住んだ場所	※複数回答	・避難所	20,744 —
		・仮設住宅	9,819 —
		・借家・アパート	25,652 —
		・親戚宅	23,122 —
		・持家	16,274 —
		・その他	5,968 —
4) 震災からの転居回数	(有効回答 49,638人)	・0回	5,586 11.3%
		・1回	5,960 12.0%
		・2回	6,866 13.8%
		・3回	8,768 17.7%
		・4回	8,055 16.2%
		・5回以上	14,403 29.0%
5) 勤務形態	(有効回答 50,572人)	・常勤・自営	16,611 32.8%
		・パート	4,403 8.7%
		・無職(学生、専業主婦を含む)	29,558 58.5%
6) 仕事の状況	(有効回答 45,347人)	・変わった	22,151 48.8%
		・変わらない	23,196 51.2%
7) 仕事の変化	※複数回答	・新しく仕事を始めた	2,675 —
		・失業した	11,005 —
		・転職した	2,521 —
		・配置換えがあった	3,729 —
		・その他	4,750 —
8) 現在のくらし向き	(有効回答 49,934人)	・苦しい	8,259 16.5%
		・やや苦しい	15,352 30.7%
		・普通	24,576 49.3%
		・ややゆとりがある	1,279 2.6%
		・ゆとりがある	468 0.9%
問18 人とのつながり(LSNS-6)			
	(有効回答 47,074人)	・平均点	13.4点
	(有効回答 20,686人)	・平均点 男	13.1点
	(有効回答 26,408人)	・平均点 女	13.6点
		・12点未満	17,849 37.9%
		(男)	(8,244) —
		(女)	(9,605) —
		(年齢階級別 ※本文中に掲載)	—
問19 放射線の健康影響	—	・本文中に掲載	—
問20～23	—	・省略	—

※()は内数

平成 24 年度 県民健康管理調査
「こころの健康度・生活習慣に関する調査」
支援実施報告

1. 目的

平成 24 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」の調査後、回答内容を福島県立医科大学の医師等が評価・分析し、こころの健康度・生活習慣上、相談・支援の必要があると判断された方々に、状況改善の確認および保健・医療機関につなげることを目的として、臨床心理士、保健師、看護師等による「こころの健康支援チーム」が電話相談等を実施した。

2. 方法

1) 支援対象者

国が指定した避難区域等の住民で生年月日が平成 24 年 4 月 1 日以前の者を対象とした平成 24 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」の回答者のうち、下記の支援対象者選定基準により選定を行った。

その結果、子どもの支援対象者は 1,474 人であり、その内訳は、電話による支援の対象者（電話支援対象者）674 人、文書を送ることによって支援する対象者（文書支援対象者）800 人であった。文書支援対象者における返信内容から、電話支援が必要と判断された者は 41 人であった。

一般の支援対象者は 16,242 人であり、その内訳は、電話支援対象者 6,074 人、文書支援対象者 10,168 人で、文書支援の結果、電話支援が必要と判断された者は 701 人であった。それに加え CAGE（アルコール依存尺度）のみに該当した支援対象者は 2,657 人であった。

なお、支援対象者のうち死亡以外の除外者や、不在が続き電話支援が実施できなかった支援対象者については、「被災者と被災者を支える人のためのこころの健康サポートブック」「生活習慣チェック」「介護予防」のパンフレットを送付し、情報提供を行った。また、CAGE の基準のみに該当した支援対象者には、「飲酒とこころの健康」のパンフレットを送付して情報提供を行った。

2) 選定基準

ア) 電話による支援

電話支援対象者は、こころの健康支援チームが調査票の内容を一定の基準により確認し、電話支援を実施した。電話支援基準は a) 尺度の得点、b) 尺度以外の項目によって定めた。

a) 尺度の得点による支援基準

子ども: SDQ (子どもの情緒と行動について) が 20 点以上に該当する者。

一般: K6 (全般的な精神健康状態) が 17 点以上または PCL (トラウマ反応) が 61 点以上に該当する者。

以下、尺度の得点を基準として行う支援を「尺度による支援」とする。

b) 尺度以外の項目による支援基準

子ども: 自由記載および欄外記載の内容から、支援が必要であると判断された者。

一般: 高血圧または糖尿病の既往歴があり、通院をしていないと回答した者の中で、Body Mass Index (BMI: 調査票内の身長および体重から算出) が $30\text{kg}/\text{m}^2$ 以上かつ震災後の体重増加が 3kg 以上の者 (高血圧・糖尿病ハイリスク)。
精神疾患の既往歴があり、通院をしていないと回答した者。
自由記載および欄外記載の内容から、支援が必要であると判断された者。

以下、尺度以外の項目を基準とした支援を「尺度以外の項目による支援」とする。

イ) 文書による支援

文書支援対象者は、こころの健康支援チームが調査票の内容を一定の基準により確認し、返信用ハガキを同封した文書を送付した。ハガキの返信から電話支援希望の有無を確認し、支援希望と記載した者、もしくは、返信内容から支援が必要と判断された者に電話支援を行った。文書による支援の基準は a) 尺度の得点、b) 尺度以外の項目によって定めた。

「3. 結果 子ども (p.47)」および「4. 結果 一般 (p.52)」での集計に関しては、文書支援対象者のうち、電話支援が必要と判断された者を対象とした。

a) 尺度の得点による支援基準

子ども: SDQ が 16 点以上 (先行研究における基準値) で、前述の電話支援の支援基準に該当しない者。

一般: K6 が 13 点以上または PCL44 点以上 (先行研究における基準値) で、電話支援の支援基準に該当しない者。

b) 尺度以外の項目による支援基準

子ども: 選定基準なし。

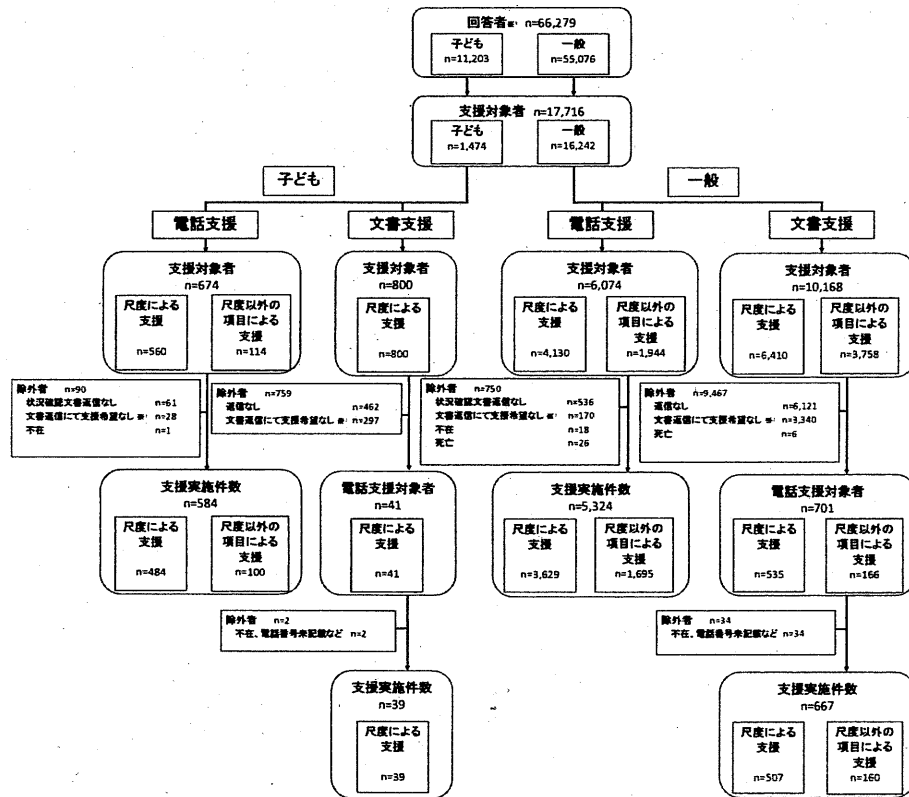
一般: 必要な医療受診をしていない者、および睡眠の質に満足しておらず日中に気分が滅入ったり活動量が低下したりする者のうち、医療受診をしていない者で、これまでの支援基準に該当しない者。

CAGE (アルコール依存尺度) が 4 点満点中 2 点以上の者。

なお、平成 23 年度の支援結果については、第 10 回検討委員会において、こころの健康度と生活習慣の結果を別々に提示しているが、平成 24 年度の結果については、対象者の選定において明確に区別しなかったため、こころの健康度と生活習慣の結果を合わせて報告する。

3) 支援対象者数および支援実施件数

上記の支援基準で選定した支援対象者に対して、電話支援および文書支援を実施した。以下に件数の詳細を示す。なお、CAGE の基準のみが該当となった者は、以下の図 1 に含まれない。



※1 平成25年10月31日までに回答した者を調査対象とした。
 ※2 文書返信にて支援希望なしにはがき返還時に支援希望なしに丸を付けた者は除外者とした。

図1 支援対象者数および支援実施件数

4) 支援結果の分類・支援後の対応について

電話支援の結果については、「経過観察1」「経過観察2」「経過観察3」「支援希望なし」の4つの分類を設けた。支援後の対応は、継続した支援が必要であると判断される場合には、こころの健康支援チームからの継続した電話支援や市町村・ふくしま心のケアセンターと連携し情報提供を図った。医療機関の情報提供が必要と判断される場合は、登録医師の紹介等の対応を行った。支援結果の分類と支援後の対応の詳細については下記のとおりである。

支援結果の分類

- ・経過観察1 : 体調や環境の面で状態の改善が確認できた場合や、サポート資源利用の有無が確認できた場合などご自身で対処がなされていると判断できるもの。
- ・経過観察2 : 体調不良や災害後遺症が強い方、社会・学校不適応や孤立されている方など、やや心配が残ると判断されるもの。
- ・経過観察3 : 何らかの理由で状況確認が困難だったもの。
- ・支援希望なし : 支援は必要ないと、相手からの申し出があったもの。

支援後の対応

- ・要フォロー : 電話での継続支援が必要と判断されたもの。
- ・市町村連絡 : 対象者の状況から、市町村への申し送りが必要と判断されたもの。
- ・紹介状 : こころのケア登録医師を受診するための紹介状を送付したもの。
- ・県内登録医師一覧送付 : こころのケア登録医師についての情報が記載された一覧表を送付したもの。
- ・県外医療機関資料送付 : 県外での相談機関の情報について(精神保健福祉センター等)情報提供を行ったもの。
- ・他部門の対応 : 基本調査に関する質問や、甲状腺検査についてなど、放射線医学県民健康管理センターの他の部門から回答するのが望ましいと判断されたもの。

3. 結果 子ども

SDQの適用年齢は4歳以上のため、0歳～3歳についてはSDQを用いず、自由記載欄の記載内容により支援を行った。そのため文書支援対象者に0歳～3歳は含まれない。また、文書支援対象者のうち電話支援を実施した対象者は4歳～6歳 12人、小学生 19人、中学生8人と少数であったため、以下の支援結果については電話支援対象者と、文書支援対象者のうち電話支援の対象となった者を合わせて集計を行った。

1) 支援対象者の基本属性

子どもの支援対象者のうち、電話支援対象者が674人、文書支援対象者のうち電話支援の対象となった者が41人の計715人であった。そのうち、男児・男子が406人(56.8%)、女児・女子が309人(43.2%)であった。このうち、電話支援を実施できた者は623人(87.1%)であった。支援実施者の居住地は、県内が408人(65.5%)、県外が215人(34.5%)であった(表1)。

表1 子ども基本属性(性別・居住地)

	全体	0～3歳	4～6歳	小学生	中学生
支援対象者	715	21	161	367	166
男児	406 (56.8)	8 (38.1)	89 (55.3)	227 (61.9)	82 (49.4)
女児	309 (43.2)	13 (61.9)	72 (44.7)	140 (38.1)	84 (50.6)
支援実施件数	623	19	138	317	149
県内	408 (65.5)	13 (68.4)	94 (68.1)	194 (61.2)	107 (71.8)
県外	215 (34.5)	6 (31.6)	44 (31.9)	123 (38.8)	42 (28.2)

表中の値はn(%)

子どもの文書支援対象者は少数のため、電話支援、文書支援の区分は設けずに集計
居住地区分は電話支援済みの者のみ

2) 支援対象者の状況

電話支援時に支援対象者から聞き取った「体調の変化」「睡眠状況」「通院先状況」などの頻度は表2のとおりであった。

表2 支援対象者の状況

	全体	0～3歳	4～6歳	小学生	中学生
支援実施件数	623	19	138	317	149
体調の変化					
改善	119 (21.8)	3 (18.8)	24 (19.5)	59 (21.5)	33 (24.8)
変化なし	216 (39.6)	7 (43.7)	49 (39.9)	105 (38.4)	55 (41.3)
悪化	24 (4.4)	0 (0.0)	3 (2.4)	16 (5.8)	5 (3.8)
以前から問題なし	187 (34.2)	6 (37.5)	47 (38.2)	94 (34.3)	40 (30.1)
不明	77 -	3 -	15 -	43 -	16 -
睡眠状況					
改善	60 (11.7)	2 (13.3)	14 (11.9)	25 (9.8)	19 (15.2)
変化なし	186 (36.2)	6 (40.0)	40 (33.9)	84 (32.8)	56 (44.8)
悪化	10 (1.9)	0 (0.0)	2 (1.7)	4 (1.6)	4 (3.2)
以前から問題なし	258 (50.2)	7 (46.7)	62 (52.5)	143 (55.8)	46 (36.8)
不明	109 -	4 -	20 -	61 -	24 -
通院先状況					
精神科/心療内科等	50 (10.1)	0 (0.0)	16 (14.3)	20 (7.9)	14 (10.9)
精神科以外	105 (21.3)	2 (100.0)	24 (21.4)	58 (23.0)	21 (16.4)
無	339 (68.6)	0 (0.0)	72 (64.3)	174 (69.1)	93 (72.7)
不明	129 -	17 -	26 -	65 -	21 -
相談機関の有無					
あり	112 (24.1)	9 (69.2)	25 (24.8)	43 (18.5)	35 (29.7)
なし	353 (75.9)	4 (30.8)	76 (75.2)	190 (81.5)	83 (70.3)
不明	158 -	6 -	37 -	84 -	31 -
気分の落ち込み					
あり	99 (20.8)	0 (0.0)	9 (9.0)	48 (20.0)	42 (34.1)
なし	376 (79.2)	12 (100.0)	91 (91.0)	192 (80.0)	81 (65.9)
不明	148 -	7 -	38 -	77 -	26 -
地震への反応					
強い	72 (16.0)	1 (8.3)	26 (24.8)	35 (15.8)	10 (9.0)
弱い	126 (28.0)	1 (8.3)	33 (31.4)	70 (31.5)	22 (19.8)
なし	252 (56.0)	10 (83.4)	46 (43.8)	117 (52.7)	79 (71.2)
不明	173 -	7 -	33 -	95 -	38 -
学校への適応					
適応	467 (90.0)	4 (80.0)	102 (95.3)	254 (93.7)	107 (78.7)
不適応	52 (10.0)	1 (20.0)	5 (4.7)	17 (6.3)	29 (21.3)
不明	104 -	14 -	31 -	46 -	13 -

表中の値はn(%)

「不明」は、電話支援時に話題に挙がらず確認できなかったもの
括弧内の割合については、「不明」を除外した合計に対する割合

1年前と比較した「体調の変化」について尋ねた結果、改善した者が119人(21.8%)、変化がなかった者が216人(39.6%)、悪化した者が24人(4.4%)、以前から問題がなかった者が187人(34.2%)であった。

1年前と比較した「睡眠状況」について尋ねた結果、改善した者が60人(11.7%)、変化がなかった者が186人(36.2%)、悪化した者が10人(1.9%)、以前から問題がなかった者が258人(50.2%)であった。

「通院先状況」は精神科や心療内科等へ通院している者が50人(10.1%)、精神科や心療内科等以外の診療科へ通院している者が105人(21.3%)、通院をしていない者が339人(68.6%)であった。

3) 電話支援結果

子どもの支援の結果については、平成24年度も平成23年度と同様、「経過観察」の分類を行った。表3の支援実施件数は「経過観察1」「経過観察2」「経過観察3」「支援希望なし」の合計数である。さらに、「経過観察2」と判断した理由をより明確化するため、判断理由も分類した。判断理由の件数は延べ数であり、割合は「経過観察2」の件数に対するものである。

表3 子ども支援結果内訳

	全体	0~3歳	4~6歳	小学生	中学生
支援実施件数	623	19	138	317	149
経過観察1	528 (84.7)	19 (100.0)	128 (92.8)	267 (84.2)	114 (76.5)
経過観察2	82 (13.2)	0 (0.0)	9 (6.5)	41 (12.9)	32 (21.5)
経過観察3	7 (1.1)	0 (0.0)	1 (0.7)	5 (1.6)	1 (0.7)
支援希望なし	6 (1.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (1.3)	2 (1.3)
支援後の対応					
要フォロー	27 (4.3)	0 (0.0)	6 (4.3)	10 (3.2)	11 (7.4)
市町村連絡	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
紹介状送付	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
県内登録医師一覧送付	6 (1.0)	0 (0.0)	1 (0.7)	3 (0.9)	2 (1.3)
県外医療機関資料送付	3 (0.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (2.0)
他部門の対応	5 (0.8)	1 (5.3)	0 (0.0)	2 (0.6)	2 (1.3)

表中の値はn(%)

表4 子ども「経過観察2」の判断理由内訳(延べ数)

	全体	0~3歳	4~6歳	小学生	中学生
件数	82	0	9	41	32
体調不良(身体)	16 (19.5)	0 (0.0)	2 (22.2)	7 (17.1)	7 (21.9)
体調不良(精神)	47 (57.3)	0 (0.0)	4 (44.4)	23 (56.1)	20 (62.5)
災害後遺症	11 (13.4)	0 (0.0)	2 (22.2)	3 (7.3)	6 (18.8)
学校不応	27 (32.9)	0 (0.0)	2 (22.2)	9 (22.0)	16 (50.0)
孤立	10 (12.2)	0 (0.0)	2 (22.2)	5 (12.2)	3 (9.4)

表中の値はn(%)

数は延べ数

電話支援の結果、「経過観察1」と分類された者は528人(84.7%)、「経過観察2」と分類された者は82人(13.2%)、「経過観察3」と分類された者は7人(1.1%)、「支援希望なし」と分類された者は6人(1.0%)であった。支援後の対応は、「要フォロー」が27人、「県内登録医師一覧送付」が6人、「県外医療機関資料送付」が3人、「他部門の対応」が5人であった(表3)。

「経過観察2」と判断した理由は「体調不良(身体)」が16人、「体調不良(精神)」が47人、「災害後遺症」が11人、「学校不応」が27人、「孤立」が10人であった(表4)。

4) 対象者を取り巻く問題

福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センターにおける平成23年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」での支援より、電話支援記録から帰納法的分析手法を用いて対象者を取り巻く問題の 카테고리分類を行った。その結果、『子どもの反応』『保護者・家庭の問題』『学校・近隣等の関係』『環境』の4つの大カテゴリーに分類され、『子どもの反応』『保護者・家庭の問題』の2カテゴリーに関しては、さらに小カテゴリーに分類された。それらを「対象者を取り巻く問題」として概念図化し、平成24年度支援において一部改変したものを図2に示す。

平成24年度調査における支援では、平成23年度支援の結果作成された、対象者を取り巻く問題のカテゴリーに沿って、支援の中で語られる内容を分類した。『子どもの反応』においては、「地震・放射線への反応」「学校生活への影響」、『保護者・家庭の問題』においては、「保護者自身」、「家族内関係」が語られた。

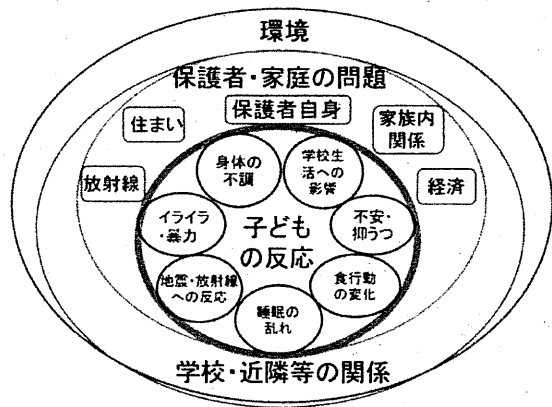


図2 対象者を取り巻く問題の概念図(子ども)

4. 結果 一般

1) 支援対象者の基本属性

ア) 電話支援対象者

電話支援対象者は、尺度による支援の対象者 4,130 人と尺度以外の項目による支援の対象者 1,944 人の計 6,074 人であった。尺度による支援の対象者のうち、男性が 1,595 人(38.6%)、女性が 2,535 人(61.4%)であった。尺度以外の項目による支援の対象者のうち、男性が 688 人(35.4%)、女性が 1,256 人(64.6%)であった(表5)。このうち、電話支援を実施できたものは 5,324 人(87.7%)であった。支援実施者の居住地は、県内が 4,277 人(80.3%)、県外が 1,047 人(19.7%)であった(表6)。

表5 電話支援対象者の性別および年齢の分布

年代	尺度による支援			尺度以外の項目による支援		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
10代	82	33 (40.2)	49 (59.8)	36	12 (33.3)	24 (66.7)
20代	191	65 (34.0)	126 (66.0)	128	33 (25.8)	95 (74.2)
30代	366	142 (38.8)	224 (61.2)	273	75 (27.5)	198 (72.5)
40代	344	148 (43.0)	196 (57.0)	239	89 (37.2)	150 (62.8)
50代	550	219 (39.8)	331 (60.2)	365	127 (34.8)	238 (65.2)
60代	893	376 (42.1)	517 (57.9)	442	185 (41.9)	257 (58.1)
70代	1,125	423 (37.6)	702 (62.4)	286	106 (37.1)	180 (62.9)
80代以上	579	189 (32.6)	390 (67.4)	175	61 (34.9)	114 (65.1)
合計	4,130	1,595 (38.6)	2,535 (61.4)	1,944	688 (35.4)	1,256 (64.6)

表中の値はn(%)
平成24年4月1日時点年齢
10代は15歳から19歳

表6 電話支援対象者の居住地状況(県内外)

居住地	支援実施件数		尺度による支援		尺度以外の項目による支援	
	5,324		3,629		1,695	
県内	4,277	(80.3)	2,912	(80.2)	1,365	(80.5)
県外	1,047	(19.7)	717	(19.8)	330	(19.5)

表中の値はn(%)
居住地区分は電話支援済みの方のみを集計対象者とした。

イ) 文書支援対象者

文書支援対象者のうち、電話支援の対象となった者は、尺度による支援の対象者 535 人と尺度以外の項目による支援の対象者 166 人の計 701 人であった。尺度による支援の対象者のうち、男性が 242 人(45.2%)、女性が 293 人(54.8%)であった。尺度以外の項目による支援の対象者のうち、男性が 92 人(55.4%)、女性が 74 人(44.6%)であった(表 7)。このうち、電話支援を実施できたものは 667 人(95.1%)であった。支援実施者の居住地は、県内が 533 人(79.9%)、県外が 134 人(20.1%)であった(表 8)。

表 7 文書支援対象者の性別および年齢の分布

年代	尺度による支援			尺度以外の項目による支援		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
10代	1	1 (100.0)	0 (0.0)	1	1 (100.0)	0 (0.0)
20代	14	4 (28.6)	10 (71.4)	2	1 (50.0)	1 (50.0)
30代	33	12 (36.4)	21 (63.6)	12	6 (50.0)	6 (50.0)
40代	35	11 (31.4)	24 (68.6)	20	7 (35.0)	13 (65.0)
50代	53	27 (50.9)	26 (49.1)	24	15 (62.5)	9 (37.5)
60代	127	59 (46.5)	68 (53.5)	47	29 (61.7)	18 (38.3)
70代	180	88 (48.9)	92 (51.1)	36	21 (58.3)	15 (41.7)
80代以上	92	40 (43.5)	52 (56.5)	24	12 (50.0)	12 (50.0)
合計	535	242 (45.2)	293 (54.8)	166	92 (55.4)	74 (44.6)

表中の値はn(%)
平成24年4月1日時点年齢
10代は15歳から19歳

表 8 文書支援対象者の居住地状況(県内外)

居住地	支援実施件数		尺度による支援		尺度以外の項目による支援	
	全体	割合	全体	割合	全体	割合
	667		507		160	
県内	533	(79.9)	403	(79.5)	130	(81.2)
県外	134	(20.1)	104	(20.5)	30	(18.8)

表中の値はn(%)
居住地区分は電話支援済みの方のみを集計対象とした。

2) 支援対象者の状況

ア) 電話支援対象者

電話支援時に支援対象者から聞き取った「体調の変化」「睡眠状況」「通院先状況」などの頻度を表 9 に示す。

表 9 支援対象者の状況

支援実施件数	全体		尺度による支援		尺度以外の項目による支援	
	全体	割合	全体	割合	全体	割合
支援実施件数	5,324		3,629		1,695	
体調の変化						
改善	1,095	(21.3)	630	(18.0)	465	(28.3)
変化なし	2,982	(58.0)	2,105	(60.3)	877	(53.3)
悪化	686	(13.4)	570	(16.3)	116	(7.1)
以前から問題なし	373	(7.3)	187	(5.4)	186	(11.3)
不明	188	-	137	-	51	-
睡眠状況						
改善	1,076	(21.4)	673	(19.8)	403	(25.0)
変化なし	3,241	(64.6)	2,279	(67.0)	962	(59.5)
悪化	265	(5.3)	212	(6.2)	53	(3.3)
以前から問題なし	436	(8.7)	239	(7.0)	197	(12.2)
不明	306	-	226	-	80	-
通院先状況						
精神科/心療内科等	555	(11.1)	442	(13.0)	113	(7.1)
精神科以外	3,346	(67.1)	2,426	(71.3)	920	(57.9)
無	1,090	(21.8)	534	(15.7)	556	(35.0)
不明	333	-	227	-	106	-
相談機関の有無						
あり	859	(21.5)	370	(13.6)	489	(38.8)
なし	3,130	(78.5)	2,359	(66.4)	771	(61.2)
不明	1,335	-	900	-	435	-
気持ちの落ち込み						
あり	2,025	(42.0)	1,658	(50.6)	367	(23.8)
なし	2,793	(58.0)	1,620	(49.4)	1,173	(76.2)
不明	506	-	351	-	155	-
地震への反応						
強い	211	(5.4)	176	(6.7)	35	(2.7)
弱い	578	(14.8)	480	(18.3)	98	(7.7)
なし	3,120	(79.8)	1,973	(75.0)	1,147	(89.6)
不明	1,415	-	1,000	-	415	-

表中の値はn(%)
「不明」は、電話支援時に話題に挙がらず確認できなかったもの
括弧内の割合については、「不明」を除外した合計に対する割合

1年前と比較した「体調の変化」について尋ねた結果、改善した者が1,095人(21.3%)、変化がなかった者が2,982人(58.0%)、悪化した者が686人(13.4%)、以前から問題がなかった者が373人(7.3%)であった。

1年前と比較した「睡眠状況」について尋ねた結果、改善した者が1,076人(21.4%)、変化がなかった者が3,241人(64.6%)、悪化した者が265人(5.3%)、以前から問題がなかった者が436人(8.7%)であった。

「通院先状況」は精神科や心療内科等へ通院している者が555人(11.1%)、精神科や心療内科等以外の診療科へ通院している者が3,346人(67.1%)、通院をしていない者が1,090人(21.8%)であった。

イ) 文書支援対象者

電話支援時に支援対象者から聞き取った「体調の変化」「睡眠状況」「通院先状況」などの頻度を表10に示す。

表10 支援対象者の状況

支援実施件数	全体		尺度による支援		尺度以外の項目による支援	
	667		507		160	
体調の変化						
改善	103	(16.2)	70	(14.7)	33	(20.8)
変化なし	387	(61.0)	301	(63.2)	86	(54.0)
悪化	100	(15.7)	77	(16.2)	23	(14.5)
以前から問題なし	45	(7.1)	28	(5.9)	17	(10.7)
不明	32	-	31	-	1	-
睡眠状況						
改善	77	(12.8)	55	(12.4)	22	(14.2)
変化なし	428	(71.4)	325	(73.0)	103	(66.5)
悪化	24	(4.0)	19	(4.3)	5	(3.2)
以前から問題なし	71	(11.8)	46	(10.3)	25	(16.1)
不明	67	-	62	-	5	-
通院先状況						
精神科/心療内科等	49	(7.8)	43	(9.2)	6	(3.8)
精神科以外	457	(73.2)	367	(78.2)	90	(57.7)
無	119	(19.0)	59	(12.6)	60	(38.5)
不明	42	-	38	-	4	-
相談機関の有無						
あり	99	(24.7)	41	(15.7)	58	(41.4)
なし	302	(75.3)	220	(84.3)	82	(58.6)
不明	266	-	246	-	20	-
気持ちの落ち込み						
あり	152	(27.1)	122	(29.8)	30	(19.9)
なし	408	(72.9)	287	(70.2)	121	(80.1)
不明	107	-	98	-	9	-
地震への反応						
強い	10	(2.2)	8	(2.5)	2	(1.6)
弱い	40	(8.8)	37	(11.4)	3	(2.3)
なし	403	(89.0)	279	(86.1)	124	(96.1)
不明	214	-	183	-	31	-

表中の値はn(%)

「不明」は、電話支援時に話題に挙がらず確認できなかったもの
括弧内の割合については、「不明」を除外した合計に対する割合

1年前と比較した「体調の変化」について尋ねた結果、改善した者が103人(16.2%)、変化がなかった者が387人(61.0%)、悪化した者が100人(15.7%)、以前から問題がなかった者が45人(7.1%)であった。

1年前と比較した「睡眠状況」について尋ねた結果、改善した者が77人(12.8%)、変化がなかった者が428人(71.4%)、悪化した者が24人(4.0%)、以前から問題がなかった者が71人(11.8%)であった。

「通院先状況」は精神科や心療内科等へ通院している者が49人(7.8%)、精神科や心療内科等以外の診療科へ通院している者が457人(73.2%)、通院をしていない者が119人(19.0%)であった。

3) 電話支援結果

電話支援の結果については、平成24年度も平成23年度と同様に、「経過観察」の分類を行った。支援実施件数は「経過観察1」「経過観察2」「経過観察3」「支援希望なし」の合計数である。さらに、「経過観察2」と判断した理由をより明確化するため、判断理由も分類した。判断理由の件数は延べ数であり、割合は「経過観察2」の件数に対するものである。

ア) 電話支援対象者

表11 電話支援結果

	全体	尺度による支援	尺度以外の項目による支援
支援実施件数	5,324	3,629	1,695
経過観察1	4,277 (80.3)	2,829 (78.0)	1,448 (85.4)
経過観察2	866 (16.3)	660 (18.2)	206 (12.2)
経過観察3	138 (2.6)	106 (2.9)	32 (1.9)
支援希望なし	43 (0.8)	34 (0.9)	9 (0.5)
支援後の対応			
要フォロー	200 (3.8)	136 (3.7)	64 (3.8)
市町村連絡	67 (1.3)	53 (1.5)	14 (0.8)
紹介状送付	1 (0.0)	1 (0.0)	0 (0.0)
県内登録医師一覧送付	45 (0.8)	32 (0.9)	13 (0.8)
県外医療機関資料等送付	12 (0.2)	10 (0.3)	2 (0.1)
他部門の対応	19 (0.4)	10 (0.3)	9 (0.5)

表中の値はn(%)

表12 「経過観察2」の判断理由内訳(延べ数)

	全体	尺度による支援	尺度以外の項目による支援
件数	866	660	206
体調不良(身体)	723 (83.5)	579 (87.7)	144 (69.9)
体調不良(精神)	690 (79.7)	531 (80.5)	159 (77.2)
災害後遺症	113 (13.0)	98 (14.8)	15 (7.3)
社会不適合	66 (7.6)	60 (9.1)	6 (2.9)
孤立	128 (14.8)	103 (15.6)	25 (12.1)

表中の値はn(%)

電話支援の結果、「経過観察1」と分類された者は4,277人(80.3%)であり、「経過観察2」と分類された者は866人(16.3%)であり、「経過観察3」と分類された者は138人(2.6%)であり、「支援希望なし」と分類された者は43人(0.8%)であった(表11)。支援後の対応は、「要フォロー」が200人、「市町村連絡」が67人、「紹介状送付」が1人、「県内登録医師一覧送付」が45人、「県外医療機関資料送付」が12人、「他部門の対応」が19人であった(表11)。

「経過観察2」と判断した理由は「体調不良(身体)」が723人、「体調不良(精神)」が690人、「災害後遺症」が113人、「社会不適応」が66人、「孤立」が128人であった(表12)。

イ) 文書支援対象者

文書において電話支援希望の有無を確認し、支援希望と記載された者、もしくは文書の返信内容から、支援が必要と判断された者に対して電話支援を行った。

表13 電話支援結果

	全体	尺度による支援	尺度以外の項目による支援
支援実施件数	667	507	160
経過観察1	559 (83.9)	413 (81.4)	146 (91.3)
経過観察2	89 (13.3)	77 (15.2)	12 (7.5)
経過観察3	18 (2.7)	17 (3.4)	1 (0.6)
支援希望なし	1 (0.1)	0 (0.0)	1 (0.6)
支援後の対応			
要フォロー	20 (3.0)	19 (3.7)	1 (0.6)
市町村連絡	9 (1.3)	9 (1.8)	0 (0.0)
紹介状送付	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
県内登録医師一覧送付	2 (0.3)	1 (0.2)	1 (0.6)
県外医療機関資料送付	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
他部門の対応	3 (0.4)	3 (0.6)	0 (0.0)

表中の値はn(%)

表14 「経過観察2」の判断理由内訳(延べ数)

	全体	尺度による支援	尺度以外の項目による支援
件数	89	77	12
体調不良(身体)	85 (95.5)	74 (96.1)	11 (91.7)
体調不良(精神)	57 (64.0)	51 (66.2)	6 (50.0)
災害後遺症	16 (18.0)	16 (20.8)	0 (0.0)
社会不適応	3 (3.4)	3 (3.9)	0 (0.0)
孤立	17 (19.1)	15 (19.5)	2 (16.7)

表中の値はn(%)

電話支援の結果、「経過観察1」と分類された者は559人(83.9%)であり、「経過観察2」と分類された者は89人(13.3%)であり、「経過観察3」と分類された者は18人(2.7%)であり、「支援希望なし」と分類された者は1人(0.1%)であった(表13)。支援後の対応は、「要フォロー」が20人、「市町村連絡」が9人、「県内登録医師一覧送付」が2人、「他部門の対応」が3人であった(表13)。

「経過観察2」と判断した理由は「体調不良(身体)」が85人、「体調不良(精神)」が57人、「災害後遺症」が16人、「社会不適応」が3人、「孤立」が17人であった(表14)。

4) 対象者を取り巻く問題

福島県立医科大学放射線医学県健康管理センターにおける平成23年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」での支援より、電話支援記録から帰納法的分析手法を用いて相談中に聞かれた訴えの 카테고리分類を行った。その結果、『自身の反応』『家庭内の問題』『社会生活における問題』『風土・文化的背景に関すること』の4つの大カテゴリーに分類され、『自身の反応』『家庭内の問題』『社会生活における問題』の3カテゴリーに関しては、さらに小カテゴリーに分類された。それらを「対象者を取り巻く問題」として概念図化し、平成24年度支援において一部改変したものを図3に示した。

平成24年度調査における支援では、平成23年度支援の結果作成された、対象者を取り巻く問題のカテゴリーに沿って、支援の中で語られる内容を分析した。その結果、平成24年度では、『自身の反応』については、「身体の不調」「睡眠の乱れ」、「家庭内の問題」については、「日常生活習慣の変更」、「社会生活における問題」については「行政政策への不満・補償問題」が語られた。

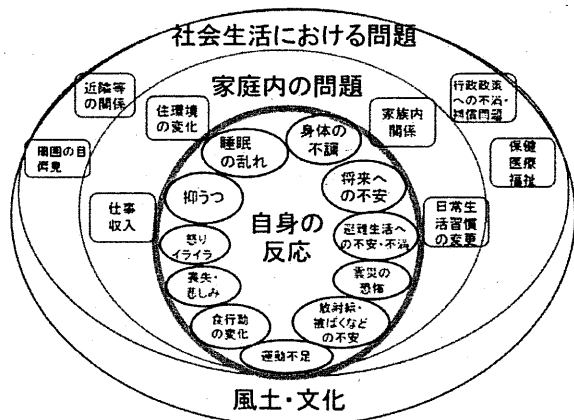


図3 対象者を取り巻く問題の概念図(一般)

5. まとめ

平成24年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」の回答者のうち、子どもの支援対象者は1,474人、一般の支援対象者は16,242人であった。CAGE(アルコール依存尺度)の基準のみに該当した支援対象者は2,657人であった。子どもの支援対象者の内訳は、電話による支援の対象者674人、文書による支援の対象者800人であり、そのうち返信内容から電話による支援が必要と判断された者は41人であった。一般の支援対象者の内訳は、電話による支援の対象者6,074人、文書による支援の対象者10,168人であり、そのうち返信内容から電話による支援が必要と判断された者は701人であった。支援対象者のうち死亡以外で、不在等で電話支援が実施できなかった者には、こころの健康、生活習慣、介護予防に関するパンフレットを送付し、情報提供を行った。また、CAGEの基準のみに該当した支援対象者には、飲酒とこころの健康に関するパンフレットを送付して情報提供を行った。

子どもへの電話支援では、528人(84.7%)が「経過観察1^{※1}」に分類され、82人(13.2%)が「経過観察2^{※2}」に分類された。また、「対象者を取り巻く問題のカテゴリー」に沿って支援の中で語られる内容を分類すると、『子どもの反応』においては「地震・放射線への反応」「学校生活への影響」が語られ、『保護者・家庭の問題』においては「保護者自身」「家族内関係」が語られた。

一般への電話支援では、電話支援対象者については、4,277人(80.3%)が「経過観察1」に分類され、866人(16.3%)が「経過観察2」に分類された。文書支援対象者については、559人(83.9%)が「経過観察1」に分類され、89人(13.3%)が「経過観察2」に分類された。「対象者を取り巻く問題のカテゴリー」に沿って支援の中で語られる内容を分類すると、『自身の反応』については「身体の不調」「睡眠の乱れ」が語られ、『家庭内の問題』については「日常生活習慣の変更」が語られ、『社会生活における問題』については「行政政策への不満・補償問題」が語られた。

今後も、市町村やふくしま心のケアセンター等と連携し、継続した支援を提供していくことが必要である。

※1 経過観察1: 体調や環境の面で状態の改善が確認できた場合や、サポート資源利用の有無が確認できた場合などご自身で対処がなされていると判断できるもの。

※2 経過観察2: 体調不良や災害後遺症が強い者、社会・学校不応や孤立されている者など、やや心配が残ると判断されるもの。